

平成 26 年度
県民アンケート調査
報告書

平成 26 年 11 月

奈 良 県

— 目 次 —

第1章 調査の実施概要	1
1 調査の目的	3
2 調査の設計	3
3 調査票の配付・回収の状況	3
4 標本抽出計画と集計にあたっての整理事項	3
5 回答者の状況	6
6 本報告書における集計方法、数値の取り扱いについて	9
第2章 調査結果の分析	11
1 県民の生活全般について	
1-1 現在の暮らし向きの実感	13
1-2 1年前と比較した暮らし向きの実感	18
1-3 1年前と比較して暮らし向きの実感が「とても苦しくなった」または「少し苦しくなった」と答えた理由	23
1-4 日頃の生活での悩みや不安の有無	26
1-5 日頃の生活での悩みや不安の内容	31
1-6 奈良県の住みやすさの評価	33
1-7 将来の奈良県での定住意向	38
1-8 将来的に奈良県に「住みたくない」または「わからない」と答えた理由	43
2 県民の身近な生活に関する項目の重要度・満足度について	
2-1 県全体の重要度・満足度・ニーズ得点の順位	46
2-2 県全体の重要度と満足度の関係	49
2-3 地域別の重要度と満足度の関係および経年比較	62
2-4 県全体の属性別の重要度・満足度の傾向の比較	74
3 県民の生活に関する意識やニーズについて	
3-1 県内消費の拡大について	92
3-2 観光の振興について	107
3-3 農林業の振興について	111
3-4 健康づくりの推進やスポーツの振興について	118
3-5 医療・福祉の充実について	123
3-6 こども支援の充実について	137
3-7 学びの支援について	138
3-8 文化の振興について	145
3-9 回答者に関すること	149
資料 使用した調査票	153

第 1 章 調査の実施概要

1. 調査の目的

県民にとって身近な生活に関する事柄についての重要度・満足度のほか、「県内消費の拡大」、「観光の振興」や「農林業の振興」等に関する意識やニーズを把握し、今後の県政運営の基礎資料とすることを目的に、アンケート調査を実施しました。

2. 調査の設計

- 調査地域 奈良県全域
- 調査対象 県内在住の満20歳以上の男女・個人
- 調査標本数 5,000人
- 調査抽出法 層化二段無作為抽出法
- 調査方法 郵送配付・郵送回収。調査期間内に、はがきによるお礼状兼督促状の配付1回
- 調査時期 平成26年5月20日～6月6日

3. 調査票の配付・回収の状況

- 調査票配付件数 5,000件 →
- | | |
|------------|---------------|
| 回収数（率） | 2,833件（56.7%） |
| 有効回答数（率）※1 | 2,684件（53.7%） |

4. 標本抽出計画と集計にあたっての整理事項

（1）標本抽出計画と集計母数（集計対象数）

今回の調査では、標本数（アンケート送付数）を県下39市町村の母集団構成比（人口比率）に応じて配分しました。ただし、人口が少ない町村については「目標精度15%、信頼度85%」を確保するための最低必要数を考慮して標本抽出率を決定しました。

	標本抽出計画				有効回答	
	母集団※2	母集団構成比	抽出標本数	標本構成比	回収数	構成比
地域1（北部）	570,726	49.5%	2,300	46.0%	1,296	48.3%
地域2（西部）	120,006	10.4%	483	9.7%	270	10.1%
地域3（中部）	311,932	27.0%	1,262	25.2%	627	23.4%
地域4（東部）	81,948	7.1%	387	7.7%	209	7.8%
地域5（南東部）	36,581	3.2%	375	7.5%	188	7.0%
地域6（南西部）	32,656	2.8%	193	3.9%	94	3.5%
合計	1,153,849	100.0%	5,000	100.0%	2,684	100.0%

※1 「有効回答数」は、「回収数」から白票、調査期間中に県外へ転居された方の回答票、居住市町村不明・無回答の回答票など無効票149件を除いた集計母数対象件数。「有効回答率」は、調査票配付件数に対する「有効回答数」の比率。

※2 平成25年3月31日現在の住民基本台帳登録人口（20歳以上）

(2) 地域別、ライフステージ別、旧住民・新住民別、奈良での就労別の集計区分について

調査結果の集計・分析は、県民にとって身近な生活に関する事柄の重要度と満足度のほか、「県内消費の拡大」、「観光の振興」や「農林業の振興」等について、「地域別」での傾向、回答者の年代や家族構成等の要素に基づく「ライフステージ別」での傾向、出生時から現在までの奈良県での在住状況に基づく「旧住民・新住民別」での傾向、就労地域に基づく「奈良での就労別」での傾向を明らかにすることを特に重視しています。地域別の集計については、39 市町村個々の結果を 39 市町村間で比較することは困難なため、標本抽出計画で設定した 6 地域ごとに比較を行っています。また、ライフステージ別や旧住民・新住民別、奈良での就労別の集計についても、以下のように集計区分を整理・集約して行っています。

地域の区分

地域 1（北部）・・・奈良市・大和郡山市・天理市・生駒市・山添村・川西町・三宅町・田原本町
地域 2（西部）・・・平群町・三郷町・斑鳩町・安堵町・上牧町・王寺町・河合町
地域 3（中部）・・・大和高田市・橿原市・御所市・香芝市・葛城市・高取町・明日香村・広陵町
地域 4（東部）・・・桜井市・宇陀市・曽爾村・御杖村
地域 5（南東部）・・・吉野町・大淀町・下市町・黒滝村・天川村・下北山村・上北山村・川上村・東吉野村
地域 6（南西部）・・・五條市・野迫川村・十津川村

ライフステージの区分と区分の設定条件

若者・・・20～29 歳で、夫婦のみの世帯以外の世帯の回答者
夫婦・・・20～64 歳で、夫婦のみの世帯の回答者
育児期・・・小学校入学前の子供がいる世帯の回答者
教育期前期・・・小・中学生・高校生・高専生の子どもがいる世帯の回答者
教育期後期・・・専門学校生・短大生・予備校生・大学生（院生）の子どもがいる世帯の回答者
単身高齢者・・・65 歳以上の単身世帯の回答者
高齢者夫婦・・・65 歳以上の夫婦のみの世帯の回答者

旧住民・新住民の区分と区分の設定条件

旧住民（奈良県にずっと住んでいる人）・・・生まれたときから奈良県に住んでいる回答者
新住民（奈良県に新しくきた人）・・・生まれたときは奈良県に住んでおらず、移住してきた回答者

奈良での就労の区分と区分の設定条件

奈良県内で働いている人・・・就労場所が奈良県内の回答者
奈良県外で働いている人・・・就労場所が奈良県外の回答者

【県地域区分図】



(3) 調査結果の精度

今回の調査は標本調査のため、調査結果（標本測定値）から母集団の意識や課題、要望を推定することができます。ただ、標本（調査対象）抽出の際に生じる標本誤差を考慮したうえで調査結果を分析し、また母集団の意識や課題、要望を推定する必要があります。

世論調査では、信頼度 95%（同じ調査で標本（調査対象）を変えて行った場合、100 回中 95 回までは同様の結果が得られる（5 回程度は異なる結果が出ることは許容される）と考えてもよい）の水準を求めるのが一般的とされています。

これに基づき、今回の調査における標本測定値の標本誤差は以下の数式で求められます。

$$\varepsilon = \pm 1.96 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(1-P)}{n}}$$

ε：標本誤差

±1.96：信頼度 95%の時の信頼係数

N：母集団数（本調査では 1,153,849 人）

n：標本数（回収数。本調査では有効回答数 2,684 件）

P：標本測定値（50%のときに最大）

上記の式に必要な数値をあてはめて計算すると、「ε（標本誤差）=1.89」（小数第 3 位四捨五入）という数値が得られます。このことから、今回と同じ調査を調査対象を変えて行った場合、ある設問のある選択肢の回答比率が 50%であった場合、その回答比率の誤差は±1.89%（48.1%～51.9%）の範囲内であると考えても間違いのないといえることができます。

5. 回答者の状況

属性ごとの有効回答者数と構成比は以下の通りです。

(1) 地域

地域名	当該市町村	H26		H25	
		有効 回答数	構成比	有効 回答数	構成比
地域1(北部)	奈良市・大和郡山市・天理市・生駒市・山添村・川西町・三宅町・田原本町	1,296	48.3%	1,342	48.4%
地域2(西部)	平群町・三郷町・斑鳩町・安堵町・上牧町・王寺町・河合町	270	10.1%	249	9.0%
地域3(中部)	大和高田市・橿原市・御所市・香芝市・葛城市・高取町・明日香村・広陵町	627	23.4%	713	25.7%
地域4(東部)	桜井市・宇陀市・曽爾村・御杖村	209	7.8%	194	7.0%
地域5(南東部)	吉野町・大淀町・下市村・黒滝村・天川村・下北山村・上北山村・川上村・東吉野村	188	7.0%	178	6.4%
地域6(南西部)	五條市・野迫川村・十津川村	94	3.5%	98	3.5%
合計		2,684	100.0%	2,774	100.0%

(2) 性

	H26		H25	
	有効 回答数	構成比	有効 回答数	構成比
男性	1,179	43.9%	1,308	47.2%
女性	1,492	55.6%	1,464	52.8%
無回答	13	0.5%	2	0.1%
県全体	2,684	100.0%	2,774	100.0%

(3) 年齢

1) 10歳区分

	H26					H25	
	有効回答数				構成比	有効 回答数	構成比
	男性	女性	無回答				
20歳代	183	81	101	1	6.8%	141	5.1%
30歳代	279	130	149	0	10.4%	354	12.8%
40歳代	421	155	264	2	15.7%	435	15.7%
50歳代	462	176	283	3	17.2%	477	17.2%
60歳代	663	319	344	0	24.7%	679	24.5%
70歳代以上	663	314	344	5	24.7%	680	24.5%
無回答	13	4	7	2	0.5%	8	0.3%
県全体	2,684	1,179	1,492	13	100.0%	2,774	100.0%

2) 5歳区分

	H26					H25	
	有効回答数				構成比	有効 回答数	構成比
	男性	女性	無回答				
20～24歳	77	35	41	1	2.9%	54	1.9%
25～29歳	106	46	60	0	3.9%	87	3.1%
30～34歳	109	46	63	0	4.1%	150	5.4%
35～39歳	170	84	86	0	6.3%	204	7.4%
40～44歳	202	64	136	2	7.5%	247	8.9%
45～49歳	219	91	128	0	8.2%	188	6.8%
50～54歳	217	83	133	1	8.1%	238	8.6%
55～59歳	245	93	150	2	9.1%	239	8.6%
60～64歳	344	164	180	0	12.8%	346	12.5%
65～69歳	319	155	164	0	11.9%	333	12.0%
70歳代以上	663	314	344	5	24.7%	680	24.5%
無回答	13	4	7	2	0.5%	8	0.3%
県全体	2,684	1,179	1,492	13	100.0%	2,774	100.0%

(4) 婚姻状況

	H26					H25	
	有効回答数				構成比	有効 回答数	構成比
	男性	女性	無回答				
未婚	362	171	190	1	13.5%	337	12.1%
既婚	1,959	902	1,052	5	73.0%	2,078	74.9%
離婚・死別	340	96	241	3	12.7%	328	11.8%
無回答	23	10	9	4	0.9%	31	1.1%
県全体	2,684	1,179	1,492	13	100.0%	2,774	100.0%

(5) 世帯構成

	H26		H25	
	有効 回答数	構成比	有効 回答数	構成比
単身	263	9.8%	245	8.8%
夫婦のみ	700	26.1%	731	26.4%
2世代家族	1,319	49.1%	1,360	49.0%
3世代家族	324	12.1%	358	12.9%
その他	49	1.8%	61	2.2%
無回答	29	1.1%	19	0.7%
県全体	2,684	100.0%	2,774	100.0%

(6) 勤め先の所在地 ※1

	H26		H25	
	有効 回答数	構成比	有効 回答数	構成比
県内(奈良県内で働いている人)	1,092	40.7%	1,049	37.8%
県外(奈良県外で働いている人)	392	14.6%	409	14.7%
非該当又は無回答	1,200	44.7%	1,316	47.4%
県全体	2,684	100.0%	2,774	100.0%

(7) 子どもの成長段階(複数回答)

	H26		H25	
	有効 回答数	構成比	有効 回答数	構成比
3歳以下	157	5.8%	184	6.6%
4歳以上で小学校入学前	109	4.1%	140	5.0%
小学生	253	9.4%	316	11.4%
中学生	206	7.7%	214	7.7%
高校生・高専生	189	7.0%	212	7.6%
専門学校生・短大生・予備校生・大学生(院生)	237	8.8%	237	8.5%
非該当又は無回答	1,894	70.6%	1,471	53.0%
県全体	2,684	100.0%	2,774	100.0%

(8) ライフステージ(複数回答) ※2

	H26		H25	
	有効 回答数	構成比	有効 回答数	構成比
若者	83	3.1%	137	4.9%
夫婦	237	8.8%	276	9.9%
育児期	208	7.7%	234	8.4%
教育期前期	449	16.7%	431	15.5%
教育期後期	226	8.4%	124	4.5%
単身高齢者	163	6.1%	131	4.7%
高齢者夫婦	418	15.6%	433	15.6%
非該当又は無回答	1,067	39.8%	1,008	36.3%
県全体	2,684	100.0%	2,774	100.0%

(9) 旧住民・新住民別

	H26		H25	
	有効 回答数	構成比	有効 回答数	構成比
旧住民(奈良県にずっと住んでいる人)	1,255	46.8%	1,381	49.8%
新住民(奈良県に新しくきた人)	1,379	51.4%	1,314	47.4%
無回答	50	1.9%	79	2.8%
県全体	2,684	100.0%	2,774	100.0%

(注) ※1 平成25年度調査については「県内(奈良県内で働いている人)」「(現在のお住まいの市町村(奈良県内で働いている人) + 「県内の他の市町村(奈良県内で働いている人)」)で再集計している。

※2 「単身高齢者」、「高齢者夫婦」でいう「高齢者」とは、65歳以上の回答者を指す。
65歳以上の実有効回答者数は982人、構成比は36.6%である。

6. 本報告書における集計方法、数値の取り扱いについて

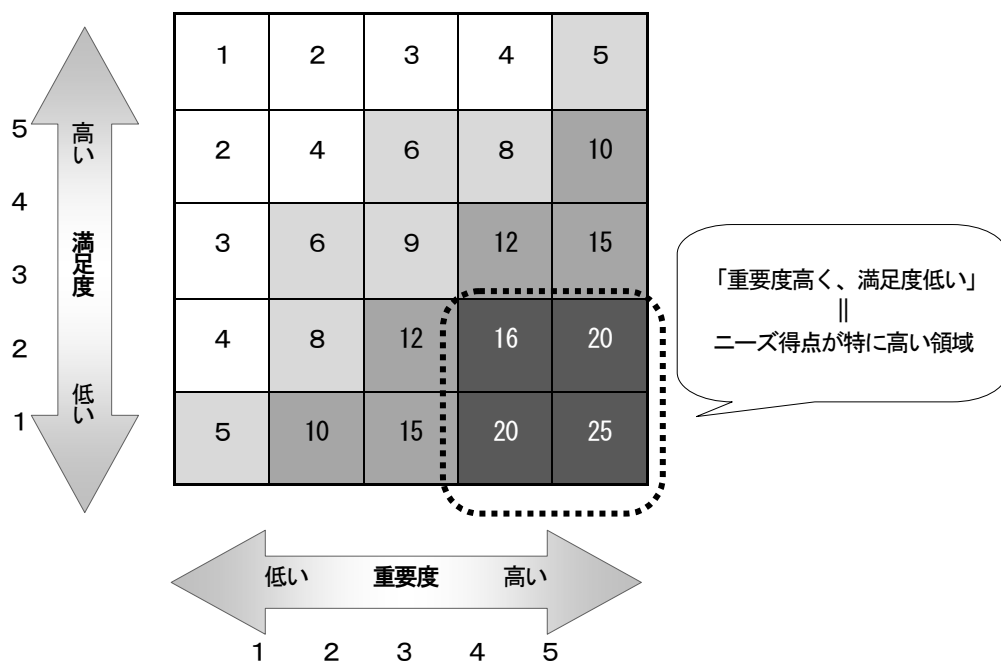
- 経年比較、前年度比較を行った図表にて、四捨五入等の関係上、本報告書に記載した数値と昨年度以前の報告書に記載した数値が一致しない場合があります。
- 問1～問8、問10～問50（設問番号は、巻末「参考資料 使用した調査票」参照）は百分率（％）による集計で、小数第2位を四捨五入しています。単数回答設問は当該設問の回答比率の合計は、四捨五入の関係で100.0%にならない場合があります。また、複数回答設問は当該設問に回答すべき人数を集計母数としており、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- 問9は加重平均（点）による集計で、小数第3位を四捨五入しています。加重平均は、「〈選択肢の回答者数〉×〈選択肢ごとの配点（5点～1点）〉 ÷ 〈無回答者を除く当該設問の回答者数〉」により求められます。

図表 加重平均の集計結果の見方

選択肢の配点		1点	2点	3点	4点	5点
設問番号・ 選択肢番号	問9-① 重要度	まったく重要 ではない	さほど重要 ではない	どちらとも いえない	かなり 重要	きわめて 重要
	問9-② 満足度	ほとんど 満たされていない	あまり 満たされていない	どちらとも いえない	かなり 満たされている	十分 満たされている

- 問9の重要度と満足度の関係を指標化し分析するため、「ニーズ得点」を算出しています。ニーズ得点は、「〈重要度〉×〈6-満足度〉」により求められます。ニーズ得点は重要度が高く、満足度の低い項目ほど高くなります（色の濃いエリア）。

図表 重要度と満足度からみたニーズ得点の配点



第2章 調査結果の分析

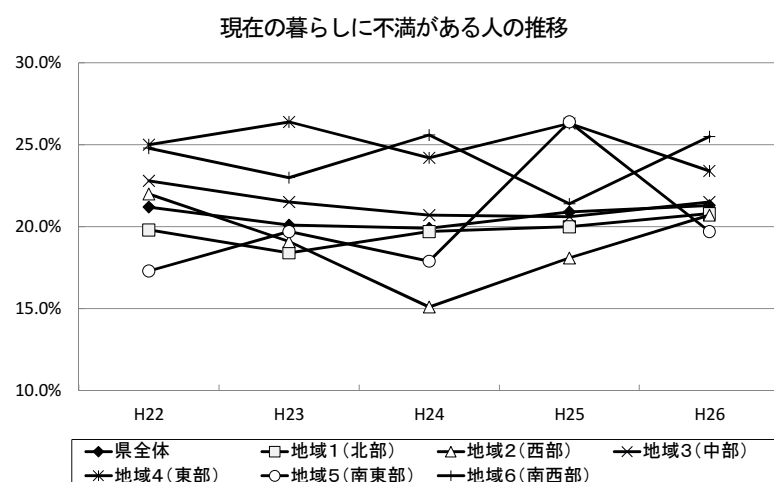
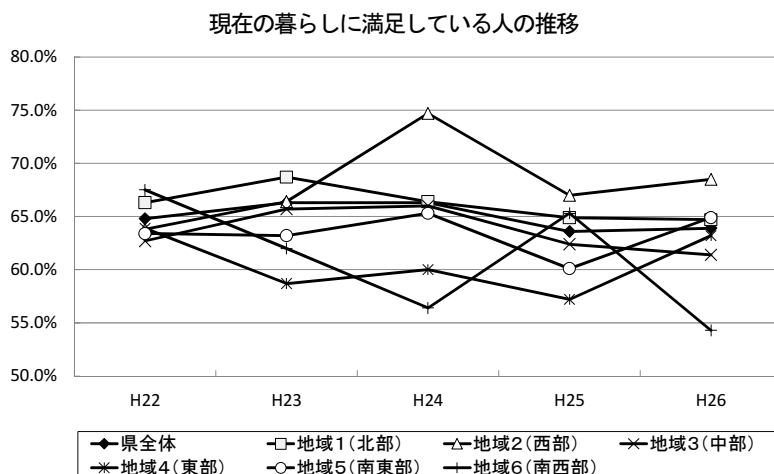
1. 県民の生活全般について

1-1 現在の暮らし向きの実感（問1）

（1）経年比較

図表 現在の暮らし向きの実感（経年比較／県全体、地域別）

		満足している	不満である
県全体	H22	64.8%	21.2%
	H23	66.3%	20.1%
	H24	66.3%	19.9%
	H25	63.6%	20.9%
	H26	63.9%	21.3%
地域1（北部）	H22	66.3%	19.8%
	H23	68.7%	18.4%
	H24	66.4%	19.7%
	H25	64.9%	20.0%
	H26	64.7%	20.8%
地域2（西部）	H22	63.8%	22.0%
	H23	66.4%	19.1%
	H24	74.7%	15.1%
	H25	67.0%	18.1%
	H26	68.5%	20.7%
地域3（中部）	H22	62.7%	22.8%
	H23	65.7%	21.5%
	H24	66.0%	20.7%
	H25	62.4%	20.6%
	H26	61.4%	21.5%
地域4（東部）	H22	63.9%	25.0%
	H23	58.7%	26.4%
	H24	60.0%	24.2%
	H25	57.2%	26.3%
	H26	63.2%	23.4%
地域5（南東部）	H22	63.4%	17.3%
	H23	63.2%	19.7%
	H24	65.3%	17.9%
	H25	60.1%	26.4%
	H26	64.9%	19.7%
地域6（南西部）	H22	67.5%	24.8%
	H23	62.0%	23.0%
	H24	56.4%	25.6%
	H25	65.3%	21.4%
	H26	54.3%	25.5%



(注) 上記図表は、問1を「満足している」「満足している」+「十分とはいえないが一応満足している」と「不満である」「やや不満である」+「不満である」に再集計した結果である。

母数については6～8ページの「5 回答者の状況」参照。

■県全体

現在の暮らし向きの実感について5ヵ年の調査結果を比較すると、「満足」している人は65%前後で推移しています。一方で「不満」を抱いている人は20%前後で推移しています。平成25年度と比較すると、「満足」している人は0.3ポイント増加している一方で「不満」を抱いている人も0.4ポイント増加しています。

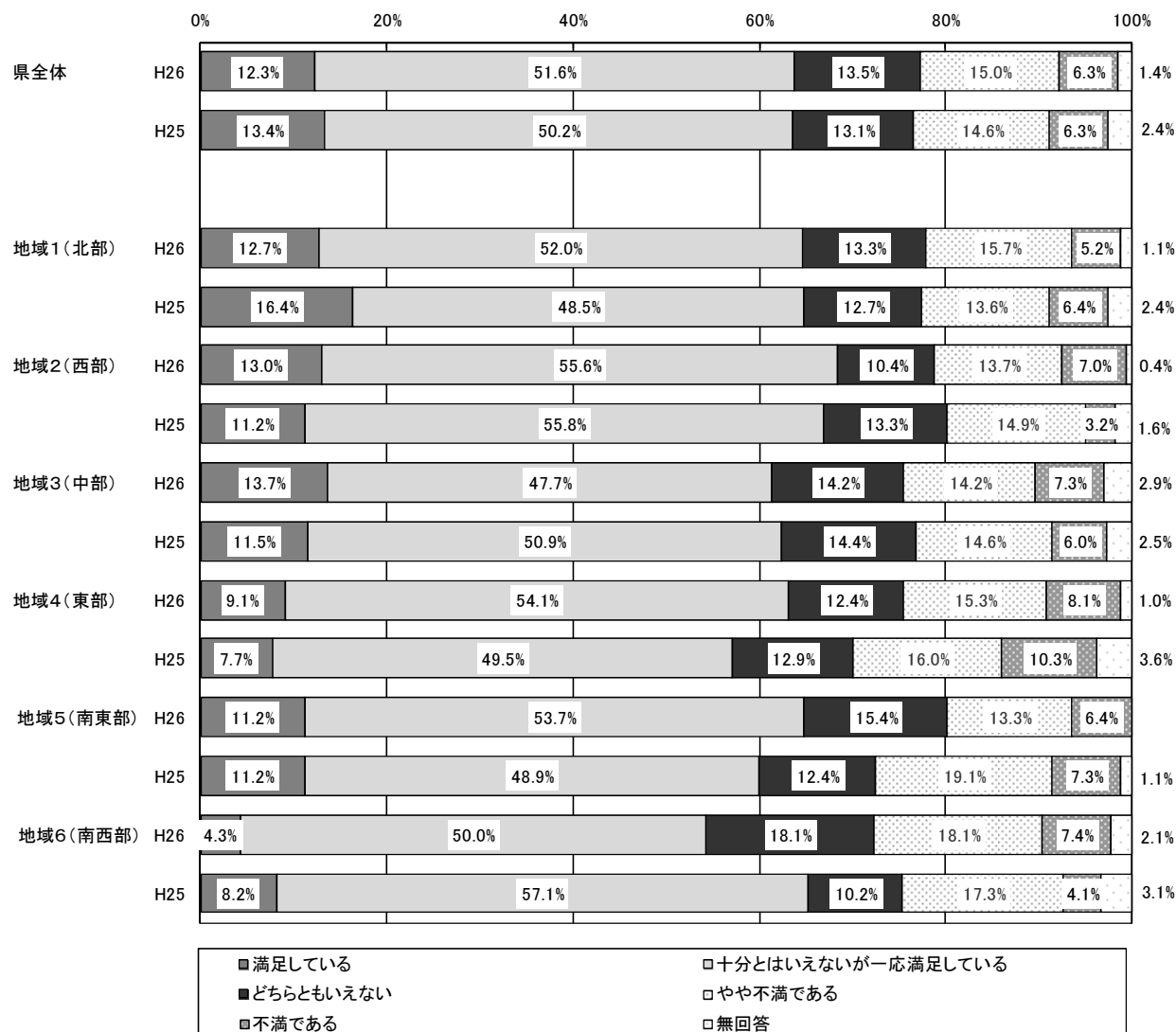
■地域別

「満足」している人は平成22年度と比較すると、『地域2（西部）』（4.7ポイント増）、『地域5（南東部）』（1.5ポイント増）で増加し、他の地域においては減少しています。平成25年度と比較すると、『地域4（東部）』（6.0ポイント増）で増加している一方で『地域6（南西部）』（11.0ポイント減）では減少しています。

「不満」を抱いている人は平成22年度と比較すると、『地域1（北部）』（1.0ポイント増）、『地域5（南東部）』（2.4ポイント増）、『地域6（南西部）』（0.7ポイント増）で増加し、他の地域においては減少しています。平成25年度と比較すると、『地域6（南西部）』（4.1ポイント増）で増加している一方で『地域5（南東部）』（6.7ポイント減）では減少しています。

(2) 今年度調査結果

図表 現在の暮らし向きの実感（単数回答／県全体、地域別）



(注) 母数については6～8ページの「5 回答者の状況」参照。

■県全体

現在の暮らし向きの実感について、63.9%の人が「満足」（「満足している」＋「十分とはいえないが一応満足している」）をしています。一方で 21.3%の人が「不満」（「やや不満である」＋「不満である」）を抱えています。

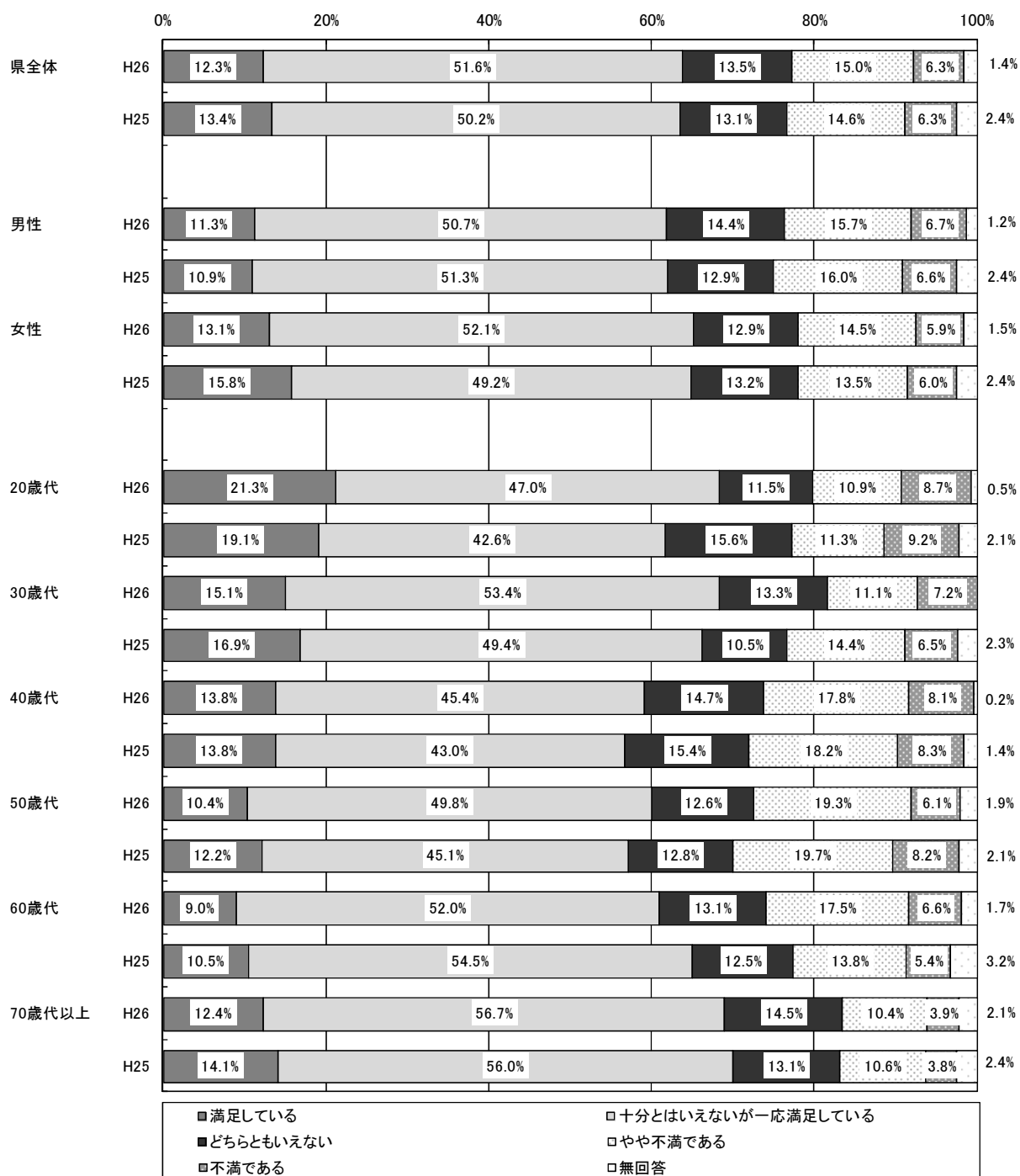
平成25年度と比較すると、「満足」している人は63.6%から0.3ポイント、「不満」を抱えている人は20.9%から0.4ポイントとそれぞれ増加していますが、大きな差はみられません。

■地域別

「満足」している人が最も多いのは、「地域2(西部)」(68.6%)で、「不満」を抱えている人が最も多いのは、「地域6(南西部)」(25.5%)となっています。

平成25年度と比較すると、「不満」を抱えている人は『地域5(南東部)』（6.7ポイント減）、『地域4(東部)』（2.9ポイント減）をのぞく他の地域で増加しています。

図表 現在の暮らし向きの実感（単数回答／県全体、性別、年齢別）



(注) 母数については6～8ページの「5 回答者の状況」参照。

■性別

「満足」している人は、『女性』（65.2%）が『男性』（62.0%）と比べ多くなっています。

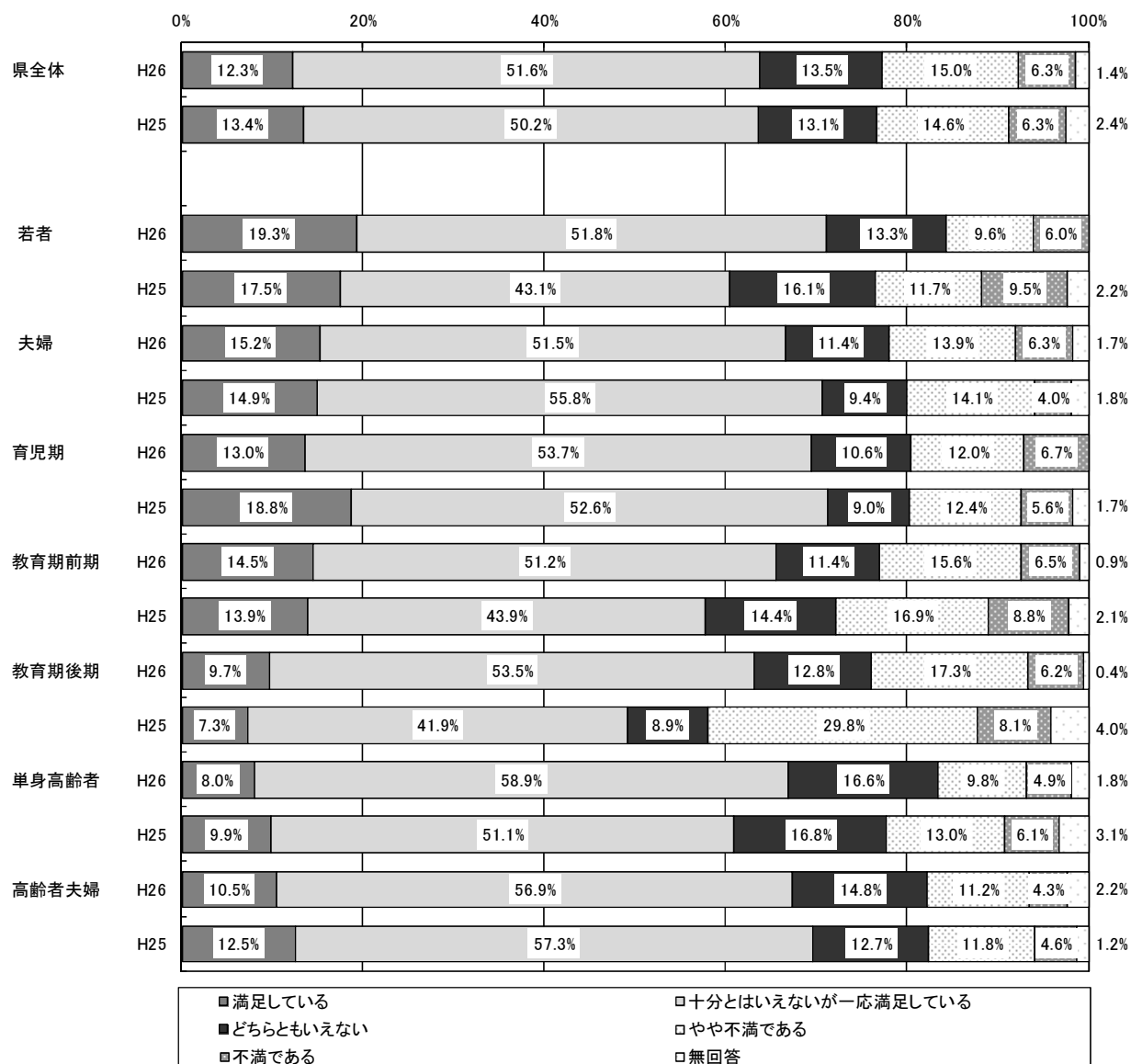
平成25年度と比較すると、「満足」している人は『男性』（0.2ポイント減）は減少している一方で『女性』（0.2ポイント増）は増加していますが、大きな差はありません。

■年齢別

「満足」している人が最も多いのは、『70歳代以上』（69.1%）、「不満」を抱いている人が最も多いのは、『40歳代』（25.9%）となっています。

平成25年度と比較すると、「満足」している人は『60歳代』、『70歳代以上』をのぞく他の年齢層で増加しています。「不満」を抱いている人は『60歳代』をのぞく他の年齢層で減少しています。

図表 現在の暮らし向きの実感（単数回答／県全体、ライフステージ別）



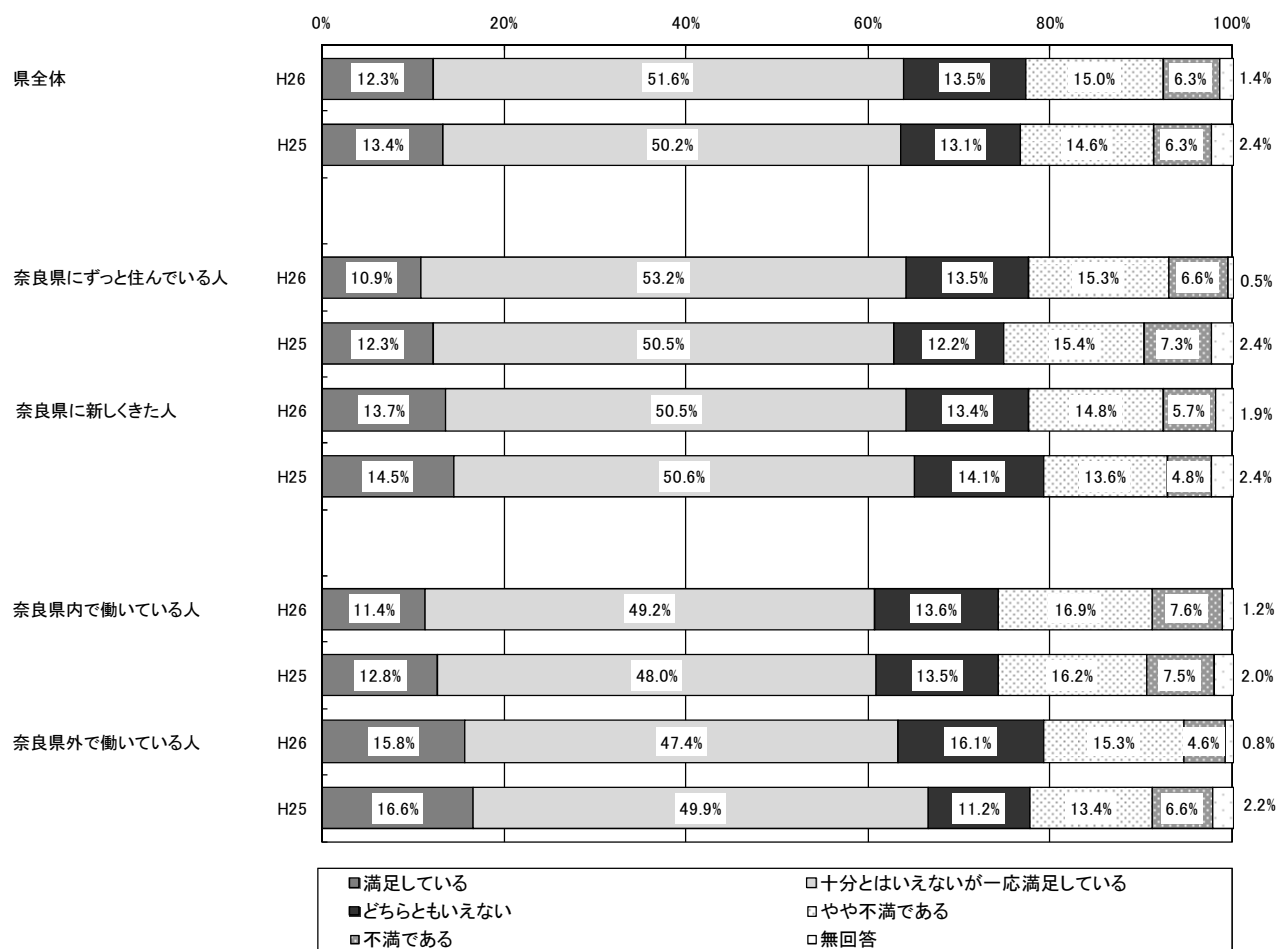
（注）母数については6～8ページの「5 回答者の状況」参照。

■ライフステージ別

「満足」している人が最も多いのは、『若者』（71.1%）となっています。一方で「不満」を抱いている人が最も多いのは、『教育期後期』（23.5%）となっています。

平成25年度と比較すると、「満足」している人は『育児期』（4.7ポイント減）、『夫婦』（4.0ポイント減）、『高齢者夫婦』（2.4ポイント減）で減少しています。「不満」を抱いている人は『夫婦』（2.1ポイント増）で最も増加しています。

図表 現在の暮らし向きの実感（単数回答／県全体、旧住民別・新住民別、奈良での就労別）



（注）母数については6～8ページの「5 回答者の状況」参照。

■旧住民・新住民別

「満足」している人は、『奈良県に新しくきた人』（64.2%）、『奈良県にずっと住んでいる人』（64.1%）とほぼ同様となっています。平成25年度と比較すると、「満足」している人は『奈良県にずっと住んでいる人』（1.3ポイント増）は増加していますが一方で『奈良県に新しくきた人』（0.9ポイント減）では減少しています。

■奈良での就労別

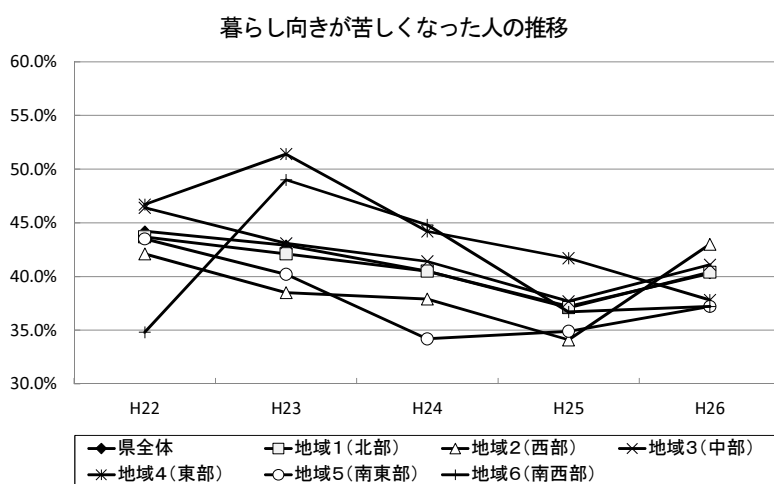
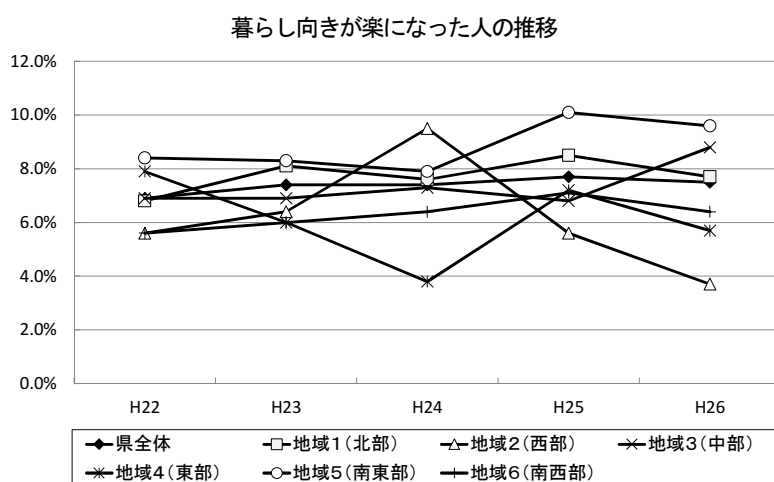
「満足」している人は、『奈良県外で働いている人』（63.2%）が、『奈良県内で働いている人』（60.6%）と比べ多くなっています。平成25年度と比較すると、「満足」している人は『奈良県内で働いている人』（0.2ポイント減）、『奈良県外で働いている人』（3.3ポイント減）とともに減少しています。

1-2 1年前と比較した暮らし向きの実感（問2）

（1）経年比較

図表 1年前と比較した暮らし向きの実感（経年比較／県全体、地域別）

		楽になった	苦しくなった
県全体	H22	6.9%	44.2%
	H23	7.4%	42.9%
	H24	7.4%	40.5%
	H25	7.7%	37.2%
	H26	7.5%	40.3%
地域1（北部）	H22	6.8%	43.7%
	H23	8.1%	42.1%
	H24	7.6%	40.5%
	H25	8.5%	37.1%
	H26	7.7%	40.4%
地域2（西部）	H22	5.6%	42.1%
	H23	6.4%	38.5%
	H24	9.5%	37.9%
	H25	5.6%	34.1%
	H26	3.7%	43.0%
地域3（中部）	H22	6.9%	46.4%
	H23	6.9%	43.1%
	H24	7.3%	41.4%
	H25	6.8%	37.7%
	H26	8.8%	41.1%
地域4（東部）	H22	7.9%	46.7%
	H23	6.0%	51.4%
	H24	3.8%	44.2%
	H25	7.2%	41.7%
	H26	5.8%	37.8%
地域5（南東部）	H22	8.4%	43.5%
	H23	8.3%	40.2%
	H24	7.9%	34.2%
	H25	10.1%	34.9%
	H26	9.6%	37.2%
地域6（南西部）	H22	5.6%	34.8%
	H23	6.0%	49.0%
	H24	6.4%	44.8%
	H25	7.1%	36.7%
	H26	6.4%	37.2%



（注）上記図表は、問2を「楽になった」（「とても楽になった」＋「少し楽になった」）と「苦しくなった」（「少し苦しくなった」＋「とても苦しくなった」）に再集計した結果である。
母数については6～8ページの「5 回答者の状況」参照。

■県全体

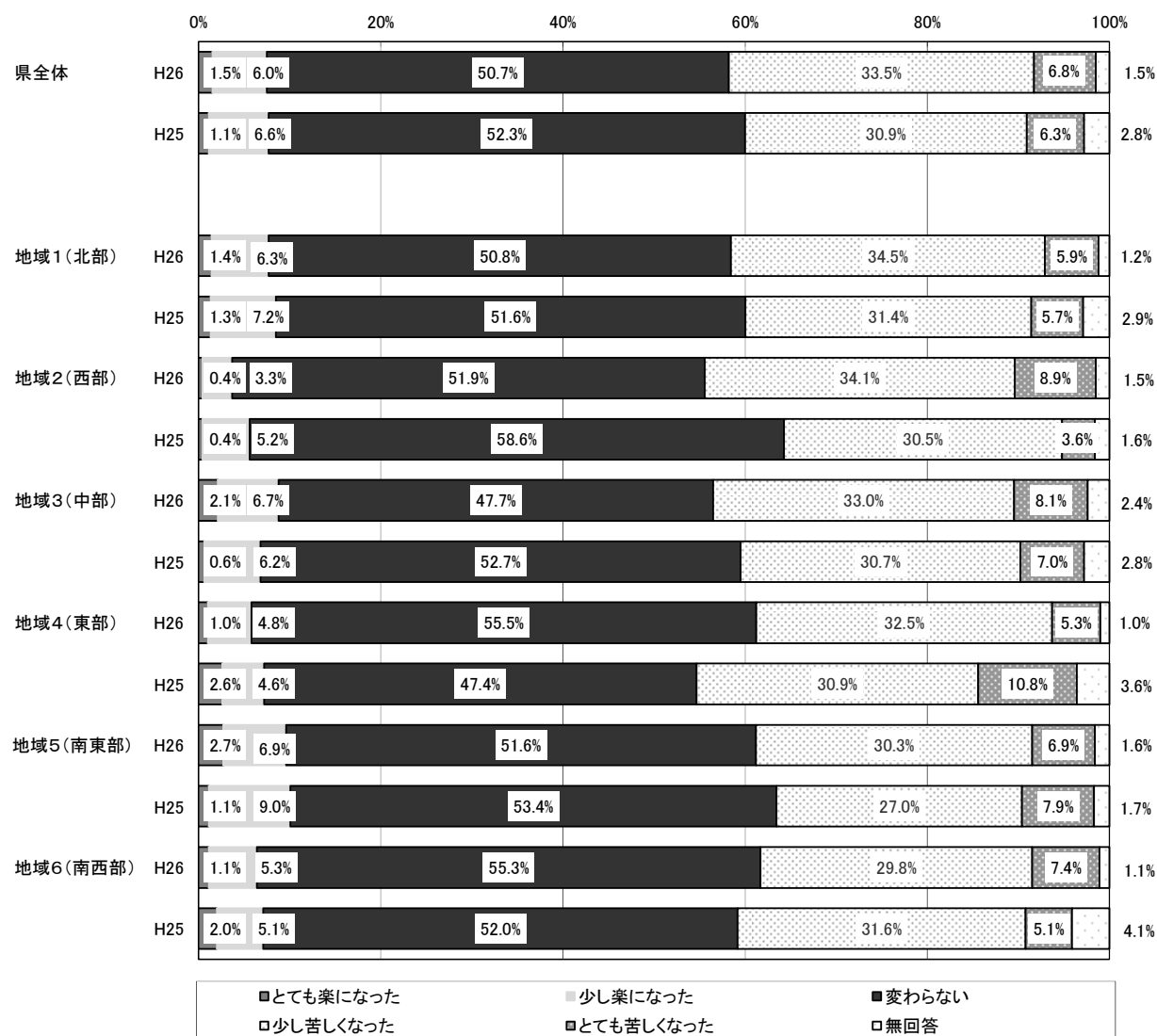
「楽になった」（「とても楽になった」＋「少し楽になった」）と感じている人は平成22年度から概ね増加傾向にあります。一方で「苦しくなった」（「少し苦しくなった」＋「とても苦しくなった」）と感じている人は昨年度までの減少傾向から今年度は増加となっています。平成25年度と比較すると、「楽になった」と感じている人は0.2ポイント減少し、「苦しくなった」と感じている人は3.1ポイント増加しています。

■地域別

「楽になった」と感じている人は平成22年度と比較すると、『地域2（西部）』（1.9ポイント減）、『地域4（東部）』（2.2ポイント減）をのぞく他の地域で増加しています。平成25年度と比較すると、『地域3（中部）』（2.0ポイント増）で増加している一方で『地域4（東部）』（1.5ポイント減）では減少しています。

「苦しくなった」と感じている人は平成22年度と比較すると、『地域2（西部）』（0.9ポイント増）、『地域6（南西部）』（2.4ポイント増）をのぞく他の地域で減少しています。平成25年度と比較すると、『地域4（東部）』（3.9ポイント減）をのぞく他の地域で増加しています。

図表 1年前と比較した暮らし向きの実感（経年比較／県全体、地域別）



(注) 母数については6～8ページの「5 回答者の状況」参照。

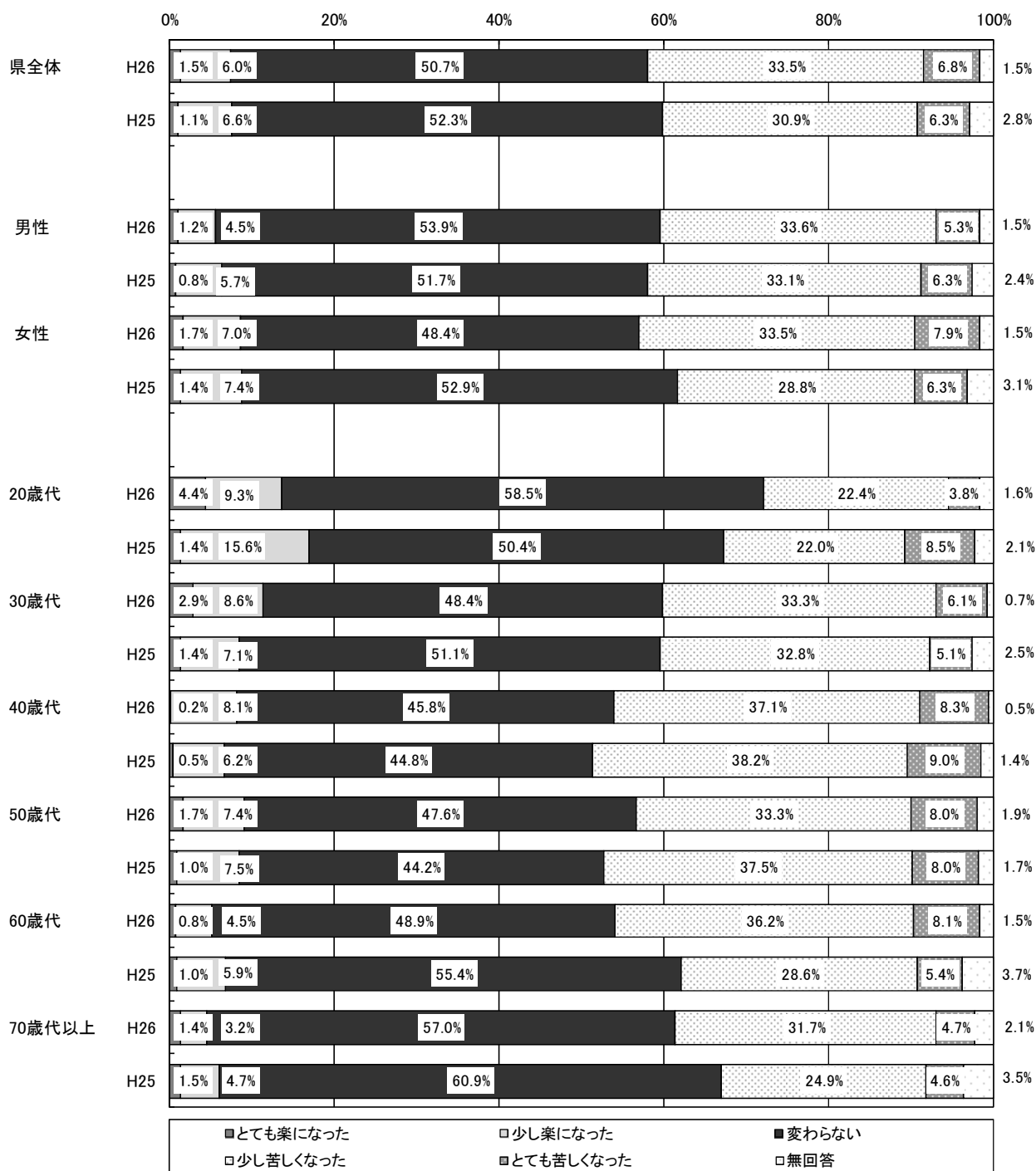
■県全体

1年前と比較した暮らし向きの実感について、40.3%の人が「苦しくなった」と感じています。平成25年度と比較すると、「苦しくなった」と感じている人は3.1ポイント増加しています。

■地域別

「苦しくなった」と感じている人が最も多いのは、『地域2(西部)』(43.0%)となっています。平成25年度と比較すると、「苦しくなった」と感じている人は『地域4(東部)』(3.9ポイント減)をのぞく他の地域で増加しています。

図表 1年前と比較した暮らし向きの実感（経年比較／県全体、性別、年齢別）



（注）母数については6～8ページの「5 回答者の状況」参照。

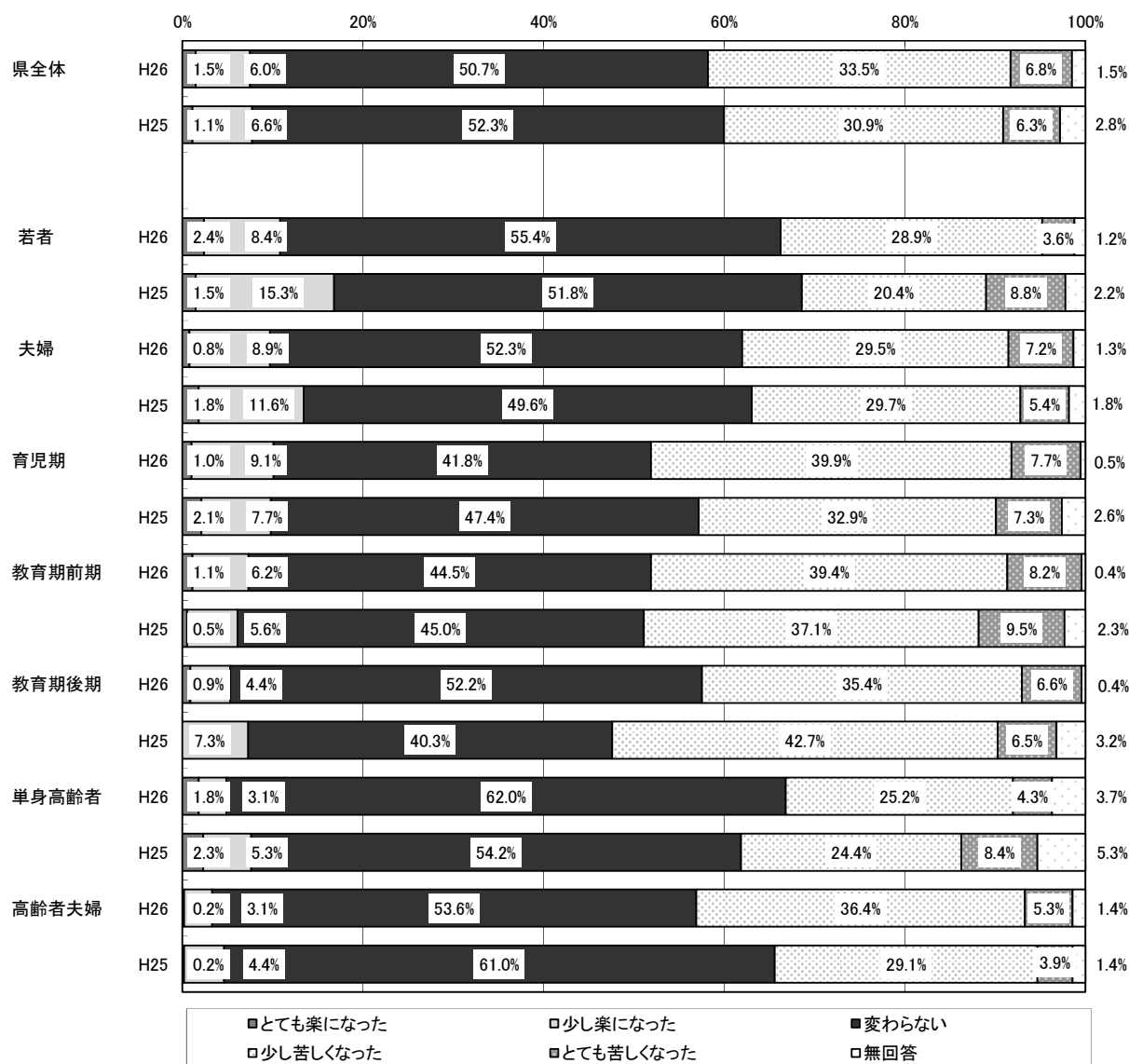
■性別

「苦しくなった」と感じている人は、『女性』（41.4%）が『男性』（38.9%）と比べ多くなっています。平成25年度と比較すると、「苦しくなった」と感じている人は、『女性』（6.3ポイント増）は増加している一方で『男性』（0.5ポイント減）は減少しています。

■年齢別

「苦しくなった」と感じている人は、『40歳代』（45.4%）が最も多く、次いで『60歳代』（44.3%）となっています。平成25年度と比較すると、「苦しくなった」と感じている人は、『20歳代』（4.3ポイント減）、『40歳代』（1.8ポイント減）、『50歳代』（4.2ポイント減）をのぞく他の年齢層では増加しています。

図表 1年前と比較した暮らし向きの実感（経年比較／県全体、ライフステージ別）

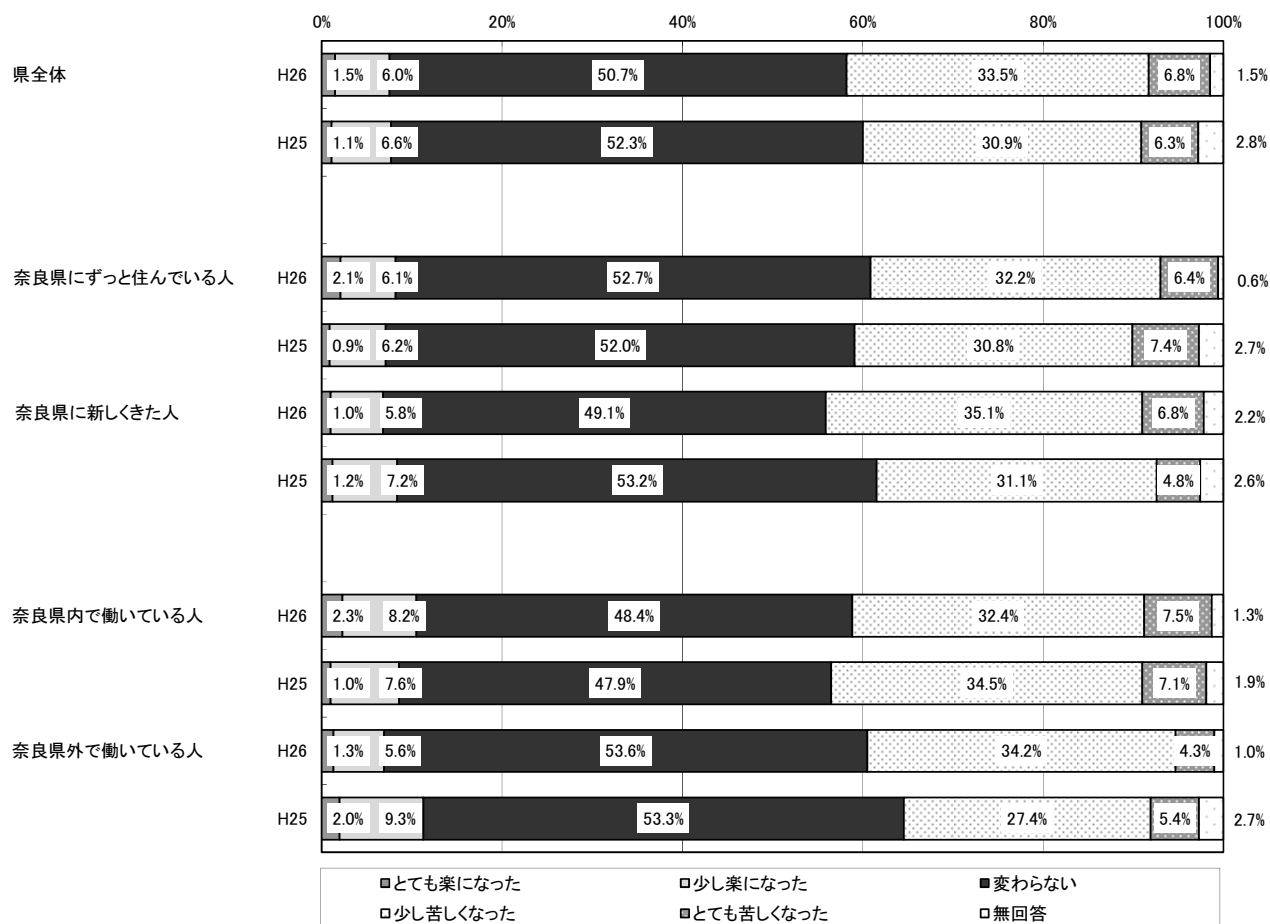


（注）母数については6～8ページの「5 回答者の状況」参照。

■ライフステージ別

「苦しくなった」と感じている人は、『育児期』、『教育期前期』（同率で47.6%）で他のライフステージに比べ多くなっています。平成25年度と比較すると、「苦しくなった」と感じている人は、『教育期後期』（7.2ポイント減）、『単身高齢者』（3.3ポイント減）をのぞく他のライフステージで増加しています。

図表 1年前と比較した暮らし向きの実感（経年比較／県全体、旧住民・新住民別、奈良での就労別）



（注）母数については6～8ページの「5 回答者の状況」参照。

■旧住民・新住民別

「苦しくなった」と感じている人は、『奈良県に新しくきた人』（41.9%）が『奈良県にずっと住んでいる人』（38.6%）と比べ多くなっています。平成25年度と比較すると、「苦しくなった」と感じている人は、『奈良県にずっと住んでいる人』（0.4ポイント増）、『奈良県に新しくきた人』（6.0ポイント増）とともに増加しています。

■奈良での就労別

「苦しくなった」と感じている人は、『奈良県内で働いている人』（39.9%）が、『奈良県外で働いている人』（38.5%）と比べ多くなっています。平成25年度と比較すると、「苦しくなった」と感じている人は『奈良県内で働いている人』（1.7ポイント減）は減少している一方で『奈良県外で働いている人』（5.7ポイント増）では増加しています。

1-3 1年前と比較して暮らし向きの実感が「とても苦しくなった」または「少し苦しくなった」と答えた理由（問3）

（1）今年度調査結果

図表 1年前と比較して暮らし向きの実感が「とても苦しくなった」または「少し苦しくなった」と答えた理由（複数回答／県全体、地域別、性別、年齢別、ライフステージ別、旧住民・新住民別、奈良での就労別）
（上段：平成26年度結果、下段：前年度からの増減）

		た給 は料 減や 少益 した が増 えない 、ま	え税 た金 や保 険料 の支 払い が増	ど家 族の 毎日の 生や 活物 価が 増え たな	か家 や自 動車 、家 電な どに か	教 育に かか る費 用が 増え た	金 率 の低 下な どに より 預貯	失 業、 退職、 病 気な どで 働	な結 婚、 出 産、 病 気な ど特 別	業家 経業 費や 商 売な どに かか る営	そ 他	無 回 答
	県全体	66.0% ▲ 1.5	48.7% ▲ 7.4	42.2% ▲ 12.4	31.0% ▲ 3.8	18.9% ▲ 4.5	18.7% ▲ 3.5	16.2% ▲ 3.9	15.5% ▲ 3.5	5.1% ▲ 1.7	9.2% ▲ 0.0	1.0% ▲ 0.5
地域別	地域1（北部）	65.0% ▲ 0.5	53.3% ▲ 13.9	42.1% ▲ 13.0	31.7% ▲ 5.8	21.6% ▲ 3.9	18.0% ▲ 2.5	14.3% ▲ 6.0	16.6% ▲ 3.9	4.8% ▲ 1.0	9.4% ▲ 0.6	1.1% ▲ 0.1
	地域2（西部）	67.2% ▲ 2.5	44.8% ▲ 10.5	42.2% ▲ 11.6	22.4% ▲ 8.2	14.7% ▲ 12.4	18.1% ▲ 5.2	11.2% ▲ 1.8	20.7% ▲ 4.2	2.6% ▲ 2.1	10.3% ▲ 6.8	0.9% ▲ 1.5
	地域3（中部）	67.8% ▲ 2.4	45.3% ▲ 4.0	43.0% ▲ 13.3	30.6% ▲ 7.2	17.8% ▲ 3.4	22.1% ▲ 6.9	19.0% ▲ 2.2	14.0% ▲ 3.5	5.0% ▲ 0.6	8.9% ▲ 0.3	0.8% ▲ 0.7
	地域4（東部）	72.2% ▲ 8.0	44.3% ▲ 0.1	38.0% ▲ 7.1	31.6% ▲ 9.1	19.0% ▲ 3.0	20.3% ▲ 0.5	19.0% ▲ 8.2	8.9% ▲ 13.3	6.3% ▲ 3.6	3.8% ▲ 3.6	1.3% ▲ 1.3
	地域5（南東部）	64.3% ▲ 3.4	41.4% ▲ 2.7	45.7% ▲ 5.4	41.4% ▲ 0.5	11.4% ▲ 11.2	12.9% ▲ 1.6	21.4% ▲ 1.2	14.3% ▲ 1.8	5.7% ▲ 5.6	12.9% ▲ 0.0	0.0% ▲ 4.8
	地域6（南西部）	51.4% ▲ 1.4	40.0% ▲ 6.7	40.0% ▲ 23.3	28.0% ▲ 20.3	14.3% ▲ 5.1	14.3% ▲ 0.4	22.9% ▲ 9.0	11.4% ▲ 2.5	14.3% ▲ 5.1	8.6% ▲ 5.3	2.9% ▲ 0.1
性別	男性	64.9% ▲ 2.3	52.3% ▲ 10.1	41.4% ▲ 13.7	32.5% ▲ 5.2	14.8% ▲ 4.8	18.5% ▲ 5.3	13.9% ▲ 6.4	14.2% ▲ 1.9	6.1% ▲ 2.8	9.8% ▲ 1.3	0.4% ▲ 1.2
	女性	67.0% ▲ 5.3	46.1% ▲ 5.8	43.0% ▲ 11.1	30.1% ▲ 3.1	21.8% ▲ 5.4	18.8% ▲ 1.5	18.0% ▲ 1.6	16.7% ▲ 5.3	4.4% ▲ 0.3	8.7% ▲ 1.2	1.3% ▲ 0.1
年齢別	20歳代	66.7% ▲ 5.4	47.9% ▲ 0.9	43.8% ▲ 1.9	33.3% ▲ 10.0	12.5% ▲ 1.5	10.4% ▲ 5.7	18.8% ▲ 0.2	20.8% ▲ 9.4	2.1% ▲ 0.2	4.2% ▲ 2.8	0.0% ▲ 2.3
	30歳代	71.8% ▲ 4.3	53.6% ▲ 2.9	62.7% ▲ 20.2	35.5% ▲ 0.3	32.7% ▲ 3.1	8.2% ▲ 0.7	9.1% ▲ 3.6	18.2% ▲ 6.4	4.5% ▲ 2.3	4.5% ▲ 2.2	0.0% ▲ 0.0
	40歳代	80.6% ▲ 8.4	51.8% ▲ 16.2	48.7% ▲ 15.0	36.6% ▲ 13.7	58.1% ▲ 4.4	8.4% ▲ 3.3	9.4% ▲ 2.3	7.3% ▲ 2.5	5.2% ▲ 0.7	6.8% ▲ 0.0	0.5% ▲ 1.0
	50歳代	80.1% ▲ 5.4	47.1% ▲ 9.8	41.9% ▲ 17.5	25.1% ▲ 4.9	19.9% ▲ 8.7	13.6% ▲ 1.2	18.8% ▲ 2.2	15.2% ▲ 4.2	5.2% ▲ 2.6	6.8% ▲ 2.2	0.5% ▲ 0.0
	60歳代	64.3% ▲ 5.4	47.6% ▲ 3.0	38.4% ▲ 10.4	33.0% ▲ 5.3	2.7% ▲ 1.2	22.4% ▲ 2.9	24.1% ▲ 14.4	17.7% ▲ 2.6	5.8% ▲ 3.7	9.5% ▲ 0.5	1.7% ▲ 0.4
	70歳代以上	42.7% ▲ 0.2	46.5% ▲ 7.0	34.0% ▲ 9.0	26.6% ▲ 3.6	1.2% ▲ 1.8	32.8% ▲ 8.3	12.9% ▲ 3.1	17.4% ▲ 3.1	5.0% ▲ 2.5	14.1% ▲ 3.9	1.7% ▲ 1.8
ライフステージ別	若者	74.1% ▲ 0.9	51.9% ▲ 4.4	40.7% ▲ 4.3	29.6% ▲ 7.1	7.4% ▲ 7.6	7.4% ▲ 2.4	18.5% ▲ 1.0	22.2% ▲ 5.3	3.7% ▲ 1.2	0.0% ▲ 7.5	0.0% ▲ 2.5
	夫婦	75.8% ▲ 5.8	59.8% ▲ 13.4	36.8% ▲ 20.3	36.8% ▲ 11.0	4.6% ▲ 4.7	20.7% ▲ 1.1	18.4% ▲ 13.6	23.0% ▲ 6.9	4.6% ▲ 3.6	3.4% ▲ 2.8	0.0% ▲ 0.0
	育児期	63.6% ▲ 6.6	57.6% ▲ 7.6	79.8% ▲ 26.6	41.4% ▲ 4.2	42.4% ▲ 4.4	7.1% ▲ 1.4	5.1% ▲ 8.7	30.3% ▲ 2.6	7.1% ▲ 2.8	5.1% ▲ 1.3	0.0% ▲ 1.1
	教育期前期	74.8% ▲ 4.2	56.1% ▲ 21.3	51.4% ▲ 18.1	35.0% ▲ 8.1	61.2% ▲ 6.5	12.6% ▲ 5.6	9.8% ▲ 0.6	9.3% ▲ 3.1	5.6% ▲ 2.6	4.7% ▲ 0.2	0.5% ▲ 0.5
	教育期後期	62.1% ▲ 13.3	51.6% ▲ 15.5	41.1% ▲ 13.2	27.4% ▲ 4.4	50.5% ▲ 11.8	9.5% ▲ 0.3	14.7% ▲ 3.2	16.8% ▲ 7.0	4.2% ▲ 0.7	4.2% ▲ 0.9	0.0% ▲ 0.0
	単身高齢者	62.5% ▲ 32.3	41.7% ▲ 9.1	25.0% ▲ 1.7	18.8% ▲ 4.8	6.3% ▲ 6.3	18.8% ▲ 9.1	10.4% ▲ 10.5	12.5% ▲ 6.1	0.0% ▲ 0.0	12.5% ▲ 8.4	8.3% ▲ 3.6
	高齢者夫婦	46.0% ▲ 2.3	44.8% ▲ 3.5	34.5% ▲ 12.1	29.3% ▲ 1.3	0.0% ▲ 0.7	32.2% ▲ 7.7	14.9% ▲ 2.6	18.4% ▲ 2.6	2.3% ▲ 6.8	13.2% ▲ 5.7	0.6% ▲ 2.9
新旧住民別	奈良県にずっと住んでいる人	68.0% ▲ 0.2	47.3% ▲ 4.5	41.9% ▲ 12.0	33.1% ▲ 5.3	18.8% ▲ 3.2	17.4% ▲ 1.1	14.7% ▲ 4.6	14.7% ▲ 3.7	6.4% ▲ 3.1	8.9% ▲ 1.3	0.6% ▲ 0.5
	奈良県に新しくきた人	64.7% ▲ 3.8	49.3% ▲ 9.6	42.4% ▲ 11.8	28.9% ▲ 2.4	19.4% ▲ 6.3	19.4% ▲ 6.9	17.1% ▲ 4.1	16.4% ▲ 2.9	4.0% ▲ 0.2	9.7% ▲ 0.9	1.2% ▲ 0.3
奈良での就労別	奈良県内で働いている人	78.9% ▲ 5.8	50.9% ▲ 11.3	42.7% ▲ 15.1	32.3% ▲ 10.7	25.2% ▲ 7.6	14.0% ▲ 2.8	13.5% ▲ 2.9	13.5% ▲ 3.8	8.5% ▲ 1.8	5.3% ▲ 5.1	0.5% ▲ 1.0
	奈良県外で働いている人	72.2% ▲ 8.1	50.3% ▲ 10.5	49.0% ▲ 19.0	30.5% ▲ 1.7	28.5% ▲ 2.6	9.9% ▲ 1.1	10.6% ▲ 1.1	13.9% ▲ 2.8	2.6% ▲ 8.4	7.3% ▲ 0.7	0.0% ▲ 0.2

（注）集計結果は「県全体」の平成26年度の結果が多い項目順（「その他」を除く）に並べている。太字は「その他」を除いた平成26年度の結果の各属性区分の上位3項目を示し、下線を付した数値は最多項目を示している。また、網掛けは平成25年度よりも5ポイント以上増えた項目を示している。母数は「苦しくなった」と回答している人数であり、6～8ページの「5 回答者の状況」とは異なる。

■県全体

1年前と比較して暮らし向きの実感が「とても苦しくなった」または「少し苦しくなった」と感じている人に対してその理由を尋ねたところ、「給料や収益が増えない、または減少した」(66.0%)が最も多く、次いで「税金や保険料の支払いが増えた」(48.7%)、「家族の増加や物価の上昇などで毎日の生活費が増えた」(42.2%)が多く挙げられており、また平成25年度と比較するとこれらの項目で増加しています。

■地域別

すべての地域で「給料や収益が増えない、または減少した」が最も多く、次いで『地域5(南東部)』をのぞく他の地域では「税金や保険料の支払いが増えた」、『地域5(南東部)』では「家族の増加や物価の上昇などで毎日の生活費が増えた」が挙げられています。平成25年度と比較すると、『地域6(南西部)』では「家族の増加や物価の上昇などで毎日の生活費が増えた」が23.3ポイント大幅な増加をしています、一方で『地域4(東部)』で「結婚、出産、病気など特別な出費があった」が13.3ポイント大幅に減少しています。

■性別

『男性』、『女性』ともに「給料や収益が増えない、または減少した」が最も多く、次いで「税金や保険料の支払いが増えた」、「家族の増加や物価の上昇などで毎日の生活費が増えた」が挙げられています。平成25年度と比較すると、『男性』、『女性』ともに「家族の増加や物価の上昇などで毎日の生活費が増えた」は10ポイント以上増加しています。

■年齢別

『70歳代以上』をのぞく他の年齢層では「給料や収益が増えない、または減少した」が最も多く、『70歳代以上』では「税金や保険料の支払いが増えた」が最も多く挙げられています。平成25年度と比較すると、『30歳代』で「家族の増加や物価の上昇などで毎日の生活費が増えた」が20.2ポイント大幅に増加しています。

■ライフステージ別

『育児期』をのぞく他のライフステージで「給料や収益が増えない、または減少した」が最も多く挙げられています。『育児期』では「家族の増加や物価の上昇などで毎日の生活費が増えた」が最も多くあげられています。平成25年度と比較すると、『単身高齢者』で「給料や収益が増えない、または減少した」が32.3ポイント大幅に増加しています。

■旧住民・新住民別

どちらの住民においても、「給料や収益が増えない、または減少した」が最も多く挙げられています、『奈良県にずっと住んでいる人』(68.0%)が『奈良県に新しくきた人』(64.7%)と比べて多くなっています。平成25年度と比較すると、『奈良県にずっと住んでいる人』で「家族の増加や物価の上昇などで毎日の生活費が増えた」が12.0ポイント増加しています。

■奈良での就労別

どちらの就労状況においても、「給料や収益が増えない、または減少した」が最も多く挙げられています、『奈良県内で働いている人』(78.9%)が『奈良県外で働いている人』(72.2%)と比べて多くなっています。平成25年度と比較すると、『奈良県外で働いている人』で「家族の増加や物価の上昇などで毎日の生活費が増えた」が19.0ポイント増加しています。

(2) 暮らし向きの悪化の程度とその理由 (問2×問3)

図表 暮らし向きの悪化の程度とその理由 (設問間クロス／県全体)

			問2 暮らし向きの変化		
順位	項目番号	問3 暮らし向き悪化理由	計	少し苦しくなった	とても苦しくなった
1	1	給料や収益が増えない、または減少した	713 66.0%	582 64.7%	131 72.0%
2	4	家族の増加や物価の上昇などで毎日の生活費が増えた	86 8.0%	76 8.5%	10 5.5%
3	2	失業、退職、病気などで働き手が減った	85 7.9%	69 7.7%	16 8.8%
4	3	利率の低下などにより預貯金が目減りした	61 5.6%	56 6.2%	5 2.7%
5	8	税金や保険料の支払いが増えた	32 3.0%	26 2.9%	6 3.3%
6	6	教育にかかる費用が増えた	21 1.9%	21 2.3%	0 0.0%
7	5	結婚出産、病気など特別な出費があった	18 1.7%	17 1.9%	1 0.5%
8	7	家や自動車、家電などにかかる支出が増えた	15 1.4%	13 1.4%	2 1.1%
9	9	家業や商売などにかかる営業経費が増えた	5 0.5%	4 0.4%	1 0.5%
10	10	その他	34 3.1%	25 2.8%	9 4.9%
11	11	無回答	11 1.0%	10 1.1%	1 0.5%
合計			1,081 100.0%	899 100.0%	182 100.0%

(注) 上記図表は暮らし向きが「少し悪くなった」または「とても苦しくなった」と感じている回答者がどのような理由で暮らし向きが悪化したのかを把握するため、問2と問3のクロス集計を行った結果である。

なお、対象者数は、問2で現在の暮らし向きが「少し苦しくなった」、「とても苦しくなった」と回答した人数である。

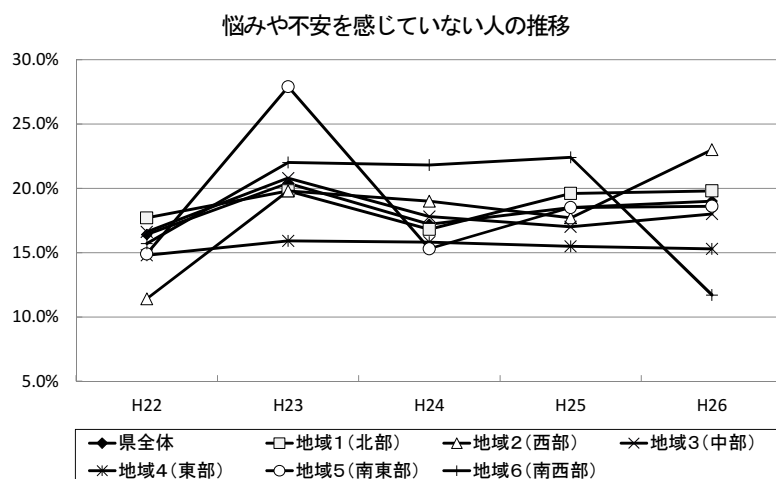
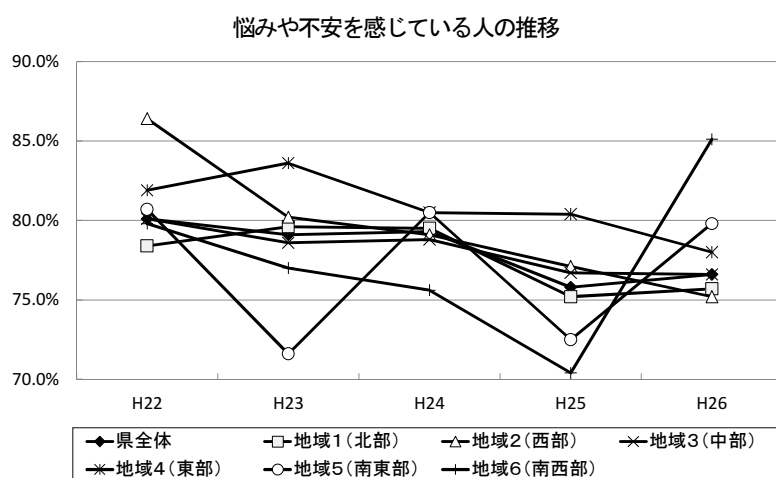
暮らし向きが「とても苦しくなった」と答えた人は、「給料や収益が増えない、または減少した」(7.3ポイント増)を理由に挙げた人が5ポイント以上多くなっています。

1-4 日頃の生活での悩みや不安の有無（問4）

（1）経年比較

図表 日頃の生活での悩みや不安の有無（経年比較／県全体、地域別）

		悩みや不安を感じている	悩みや不安を感じていない
県全体	H22	80.1%	16.4%
	H23	79.1%	20.4%
	H24	79.3%	17.2%
	H25	75.8%	18.5%
	H26	76.6%	19.0%
地域1（北部）	H22	78.4%	17.7%
	H23	79.6%	19.8%
	H24	79.5%	16.8%
	H25	75.2%	19.6%
	H26	75.7%	19.8%
地域2（西部）	H22	86.4%	11.4%
	H23	80.2%	19.8%
	H24	79.1%	19.0%
	H25	77.1%	17.7%
	H26	75.2%	23.0%
地域3（中部）	H22	80.1%	16.6%
	H23	78.6%	20.8%
	H24	78.8%	17.8%
	H25	76.7%	17.0%
	H26	76.6%	18.0%
地域4（東部）	H22	81.9%	14.8%
	H23	83.6%	15.9%
	H24	80.5%	15.8%
	H25	80.4%	15.5%
	H26	78.0%	15.3%
地域5（南東部）	H22	80.7%	14.9%
	H23	71.6%	27.9%
	H24	80.5%	15.3%
	H25	72.5%	18.5%
	H26	79.8%	18.6%
地域6（南西部）	H22	79.8%	15.7%
	H23	77.0%	22.0%
	H24	75.6%	21.8%
	H25	70.4%	22.4%
	H26	85.1%	11.7%



（注）母数については6～8ページの「5 回答者の状況」参照。

■県全体

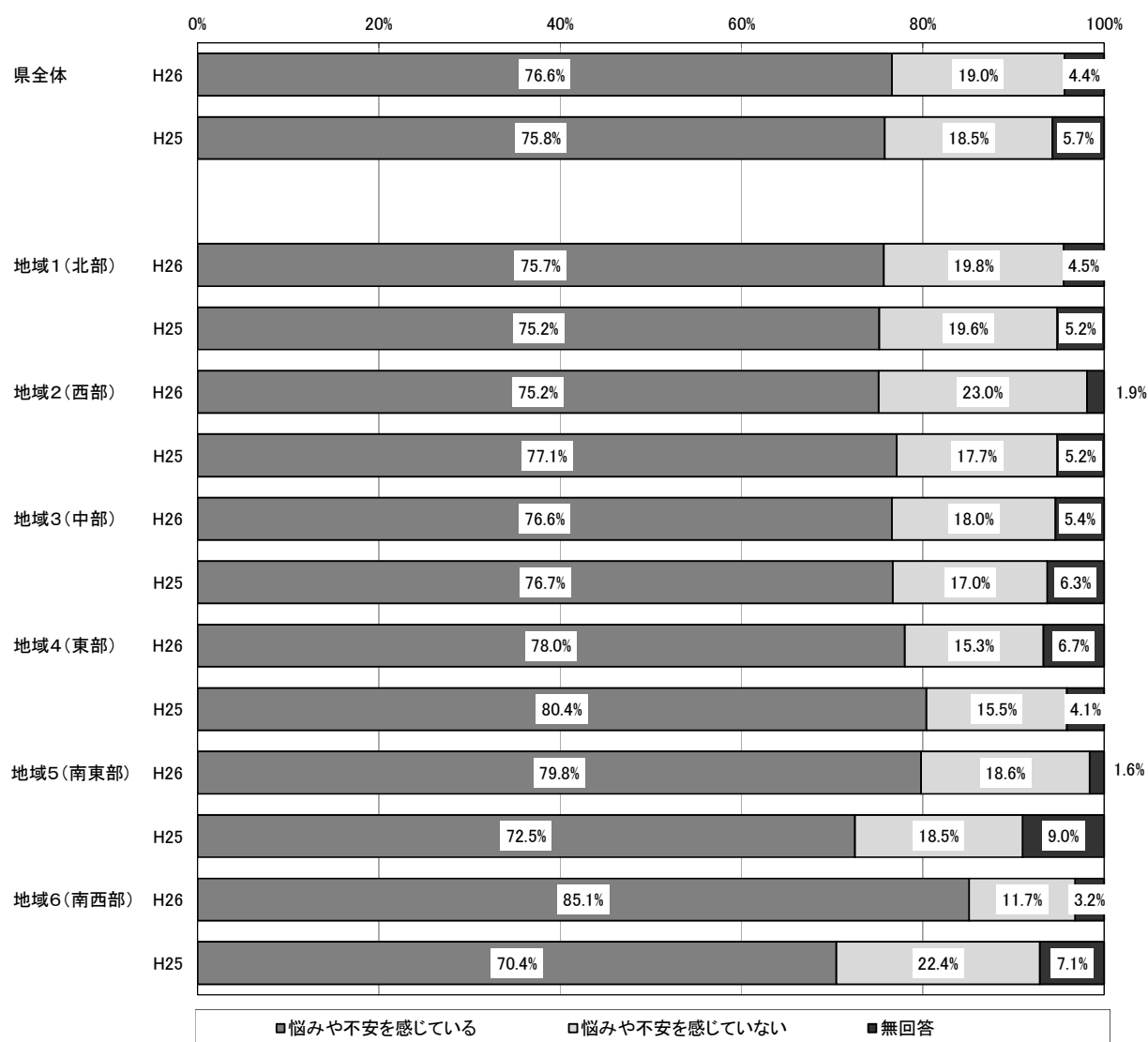
「悩みや不安を感じている」と答えた人は、平成22年度から概ね減少傾向にあります。平成25年度と比較すると、「悩みや不安を感じている」と答えた人は0.8ポイント増加し、「悩みや不安を感じていない」と答えた人も0.5ポイント増加しています。

■地域別

「悩みや不安を感じている」と答えた人は、平成22年度と比較すると、『地域6（南西部）』（5.3ポイント増）をのぞく他の地域で減少しています。平成25年度と比較すると、『地域2（西部）』（1.9ポイント減）、『地域3（中部）』（0.1ポイント減）、『地域4（東部）』（2.4ポイント減）をのぞく他の地域で増加しています。

(2) 今年度調査結果

図表 日頃の生活での悩みや不安の有無（経年比較／県全体、地域別）



(注) 母数については6～8ページの「5 回答者の状況」参照。

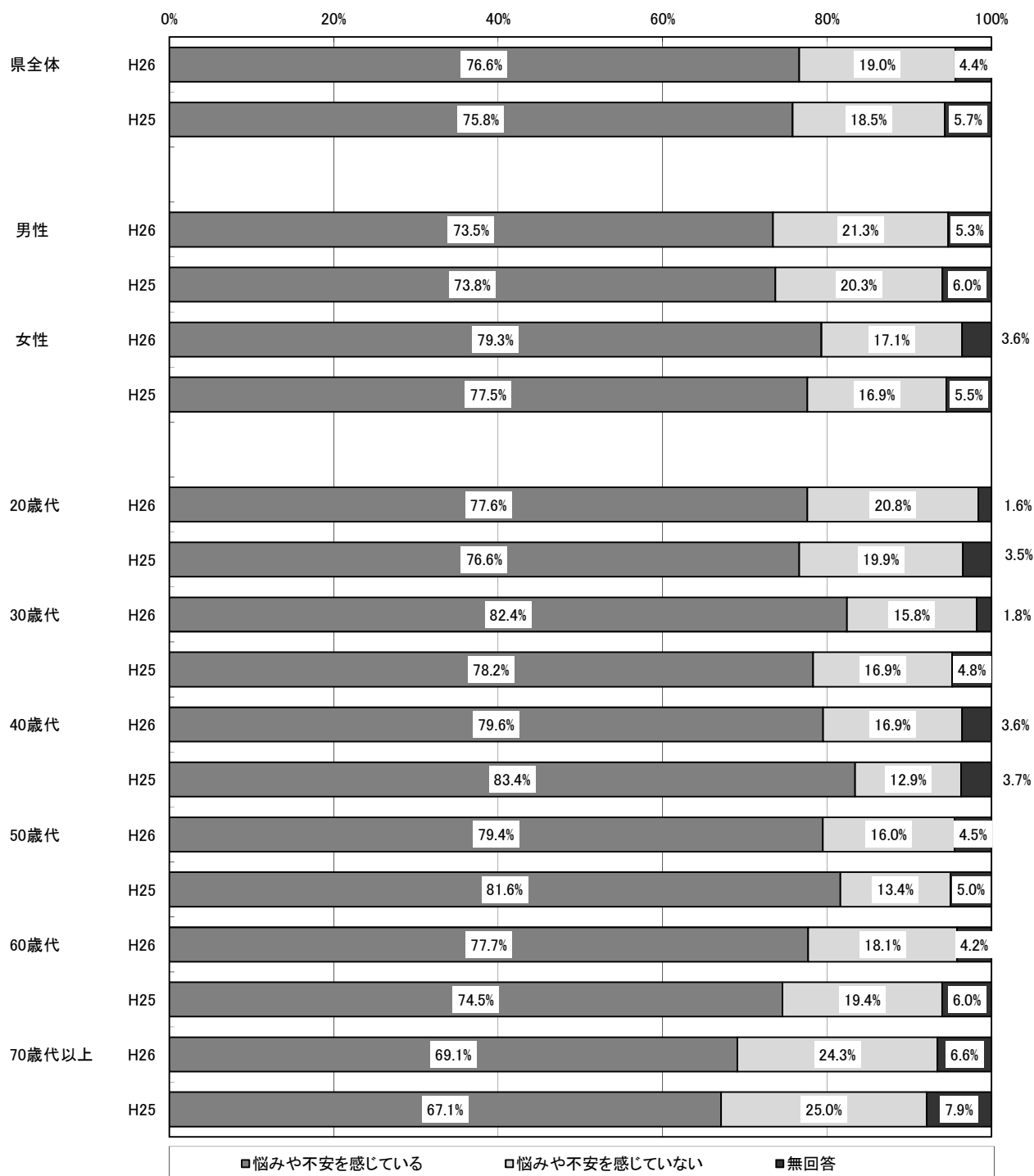
■県全体

「悩みや不安を感じている」と答えた人は76.6%で、平成25年度と比べ0.8ポイント増加しています。

■地域別

「悩みや不安を感じている」と答えた人は、『地域6(南西部)』(85.1%)で他の地域に比べ多くなっています。平成25年度と比較すると、「悩みや不安を感じている」と答えた人は、いずれの地域においても『県全体』の傾向と概ね同様となっています。

図表 日頃の生活での悩みや不安の有無（経年比較／県全体、性別、年齢別）



（注）母数については6～8ページの「5 回答者の状況」参照。

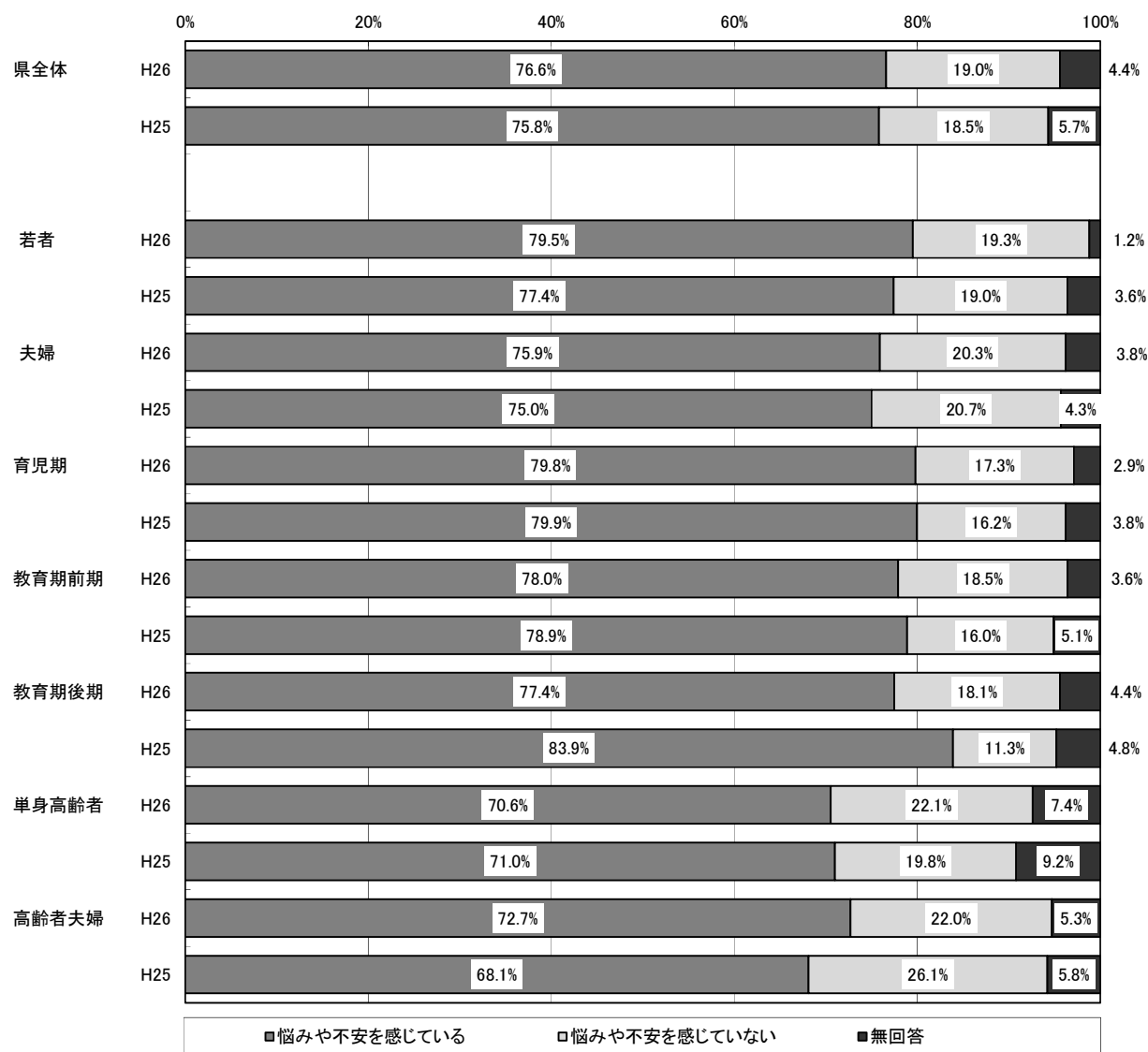
■性別

「悩みや不安を感じている」と答えた人は、『女性』（79.3%）が『男性』（73.5%）と比べ多くなっています。平成25年度と比較すると、「悩みや不安を感じている」と答えた人は、『女性』（1.8ポイント増）で増加している一方で『男性』（0.3ポイント減）は減少しています。

■年齢別

「悩みや不安を感じている」と答えた人は、『30歳代』（82.4%）で他の年齢層と比べ多くなっています。平成25年度と比較すると、『40歳代』（3.8ポイント減）、『50歳代』（2.2ポイント減）で減少しています。

図表 日頃の生活での悩みや不安の有無（経年比較／県全体、ライフステージ別）

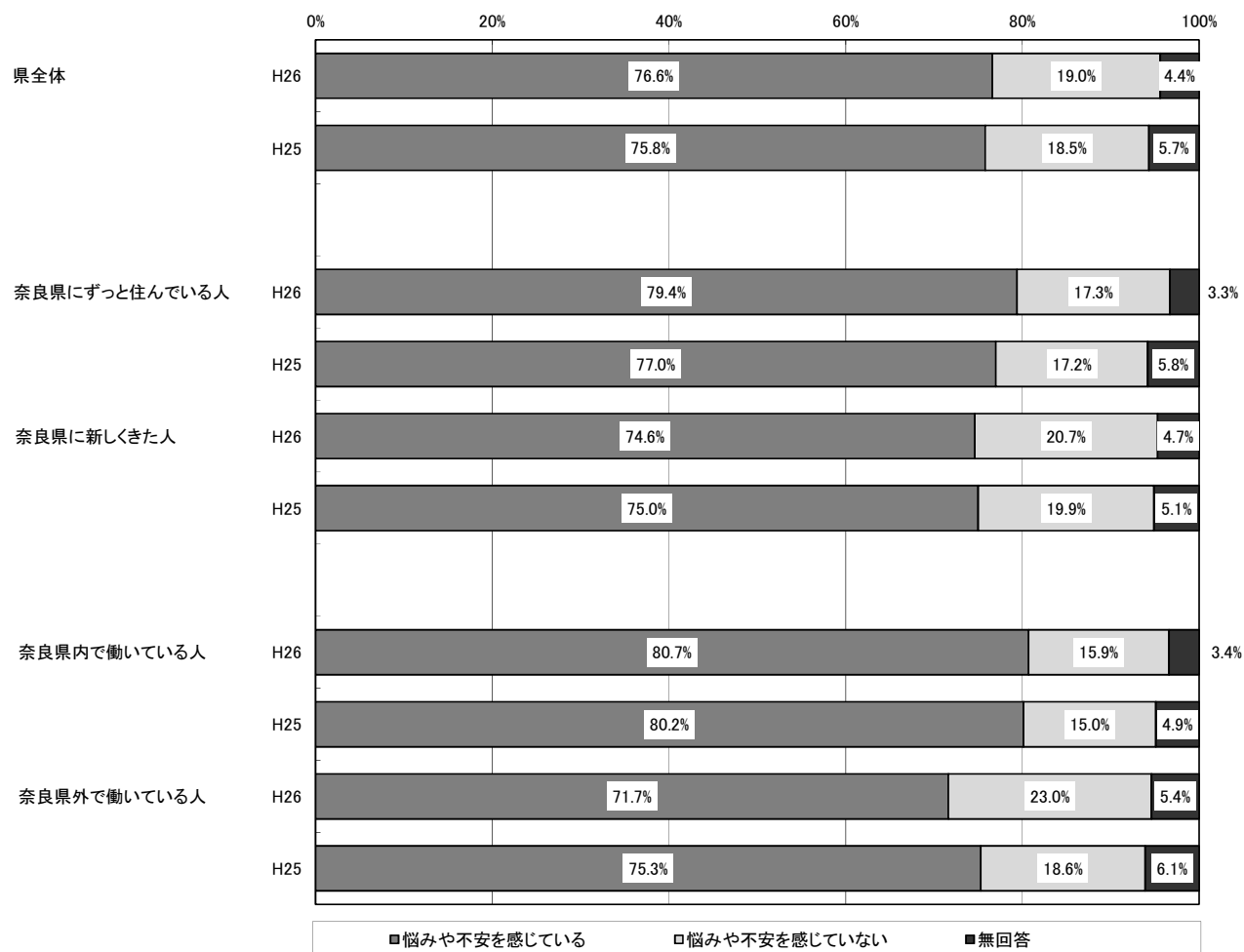


（注）母数については6～8ページの「5 回答者の状況」参照。

■ライフステージ別

「悩みや不安を感じている」と答えた人は、『育児期』（79.8%）で他のライフステージと比べ多くなっています。平成25年度と比較すると、『若者』（2.1ポイント増）、『夫婦』（0.9ポイント増）、『高齢者夫婦』（4.6ポイント増）で増加しています。

図表 日頃の生活での悩みや不安の有無（経年比較／県全体、旧住民・新住民、奈良での就労別）



（注）母数については6～8ページの「5 回答者の状況」参照。

■旧住民・新住民別

「悩みや不安を感じている」と答えた人は『奈良県にずっと住んでいる人』（79.4%）が『奈良県に新しくきた人』（74.6%）と比べ多くなっています。平成25年度と比較すると、『奈良県にずっと住んでいる人』は2.4ポイント増加しています。

■奈良での就労別

「悩みや不安を感じている」と答えた人は『奈良県内で働いている人』（80.7%）が『奈良県外で働いている人』（71.7%）と比べ多くなっています。平成25年度と比較すると、『奈良県内で働いている人』は0.5ポイント増加しています。

1-5 日頃の生活での悩みや不安の内容（問5）

図表 日頃の生活での悩みや不安の内容（複数回答／県全体、地域別、性別、年齢別、ライフステージ別、旧住民・新住民別、奈良での就労別）

（上段：平成26年度結果、下段：前年度からの増減）

		老後の生活設計について	自分の健康について	家族の健康について	今後の収入や資産の見通し	現在の収入や資産について	学業・就職・結婚などの進捗	家族・親族間の人間関係	勤務先での仕事や人間関係	学業・就職・結婚などの進捗	近隣・地域との関係について	事業や家業の経営上の問題	その他	無回答
地域別	県全体	63.5% 2.5	59.1% ▲ 1.0	55.6% 1.9	51.2% 1.0	41.9% 1.4	25.5% 1.1	11.7% ▲ 0.3	10.4% ▲ 0.1	9.9% 0.1	9.2% 1.0	7.0% ▲ 0.3	3.3% 0.6	0.8% ▲ 0.2
	地域1（北部）	64.3% 4.2	60.3% 0.6	54.9% 3.3	54.1% 2.9	43.7% 3.6	27.6% 2.2	10.8% ▲ 0.8	10.3% ▲ 0.4	9.6% ▲ 1.3	8.0% 0.4	7.3% 0.5	3.1% 0.8	0.5% ▲ 0.2
	地域2（西部）	61.0% ▲ 0.4	57.0% ▲ 2.3	53.1% 7.9	50.7% 4.3	39.4% ▲ 2.3	26.1% 7.3	12.8% ▲ 0.7	7.4% ▲ 0.9	7.9% 1.6	8.9% 2.1	4.4% ▲ 3.9	4.4% ▲ 2.4	1.0% 0.0
	地域3（中部）	63.8% 3.5	58.3% ▲ 0.6	55.6% ▲ 2.2	50.4% ▲ 0.8	41.7% 0.0	24.8% ▲ 1.3	14.2% 1.8	11.9% 1.1	11.5% 0.7	10.2% 3.3	6.3% ▲ 0.6	3.1% 0.4	1.0% 0.3
	地域4（東部）	62.6% ▲ 0.2	58.3% 0.6	55.2% 1.4	46.6% ▲ 6.0	43.6% 3.2	23.3% 2.1	14.1% 5.1	8.6% ▲ 4.2	8.6% 0.9	12.3% 4.6	9.8% 5.3	1.2% ▲ 0.1	0.0% ▲ 2.6
	地域5（南東部）	60.7% ▲ 2.1	54.7% ▲ 16.6	56.7% 1.7	44.7% ▲ 0.3	36.7% ▲ 1.3	18.0% ▲ 4.5	9.3% ▲ 7.8	8.7% ▲ 2.2	10.7% 2.9	12.0% ▲ 6.6	8.7% ▲ 0.6	4.0% 1.7	1.3% ▲ 0.3
	地域6（南西部）	63.8% ▲ 5.8	61.3% ▲ 1.0	49.8% 0.3	42.5% ▲ 1.0	32.5% ▲ 5.2	20.0% ▲ 1.7	3.8% ▲ 4.9	16.3% 10.5	10.0% 4.2	8.8% ▲ 4.2	6.3% ▲ 9.6	6.3% 4.9	3.8% 2.4
性別	男性	61.5% 0.7	58.5% ▲ 1.8	52.5% 1.4	53.0% 0.0	42.8% ▲ 1.6	22.6% 1.9	9.6% 0.2	11.0% ▲ 1.3	8.8% ▲ 1.5	9.5% 2.7	9.4% 0.3	3.1% 0.8	0.7% ▲ 0.3
	女性	65.1% 4.0	59.3% ▲ 0.6	57.9% 2.0	49.6% 2.2	41.2% 4.0	27.6% 0.1	13.2% ▲ 1.0	9.9% 0.9	10.7% 1.2	9.0% ▲ 0.3	5.4% ▲ 0.3	3.4% 0.3	0.9% 0.0
年齢別	20歳代	31.7% 5.8	28.9% ▲ 4.4	37.3% 4.0	62.7% 6.2	54.9% 4.9	15.5% 0.7	9.9% 2.5	28.9% 3.9	57.0% 6.1	4.2% ▲ 6.0	3.5% ▲ 2.1	1.4% ▲ 1.4	0.7% 0.7
	30歳代	42.6% ▲ 1.8	32.6% ▲ 1.7	46.5% 1.4	63.9% ▲ 2.2	52.2% ▲ 0.9	27.8% 7.2	9.1% ▲ 2.5	23.0% 3.5	26.1% ▲ 1.0	7.8% ▲ 4.5	6.5% ▲ 1.8	3.9% 2.5	1.3% 0.6
	40歳代	64.5% 7.2	48.7% 8.5	52.8% 8.4	61.8% ▲ 2.1	54.0% 6.1	39.1% ▲ 3.6	11.6% ▲ 0.8	15.5% ▲ 1.3	11.9% ▲ 1.0	7.8% 1.2	10.1% 1.6	2.4% ▲ 0.1	0.3% ▲ 1.1
	50歳代	76.8% 6.4	56.7% ▲ 2.9	58.6% 5.4	60.2% 3.9	42.8% 0.4	33.8% 0.9	13.6% 3.3	11.2% ▲ 4.2	4.1% ▲ 0.5	7.1% 2.2	9.3% 0.8	2.5% ▲ 0.3	0.5% ▲ 1.0
	60歳代	73.8% ▲ 0.7	69.1% ▲ 6.0	61.4% ▲ 2.0	48.9% 3.4	38.3% 1.7	24.9% 3.4	12.8% ▲ 1.0	4.1% 0.7	1.0% ▲ 0.2	10.7% 2.6	7.0% ▲ 1.3	3.1% 0.3	0.6% ▲ 0.4
	70歳代以上	60.7% 1.3	79.3% ▲ 2.3	58.3% ▲ 2.4	29.5% 1.0	27.3% ▲ 0.1	11.1% 0.8	10.9% ▲ 1.8	1.1% 0.7	0.4% ▲ 0.9	12.4% 2.8	4.6% 0.7	5.0% 1.7	1.5% 1.1
ライフステージ別	若者	30.3% 4.8	28.8% ▲ 5.2	34.8% 1.8	57.6% 1.0	53.0% 3.0	10.6% ▲ 4.5	9.1% 1.6	34.8% 9.3	59.1% 8.2	4.5% ▲ 4.9	3.0% ▲ 2.7	4.5% 1.7	0.0% 0.0
	夫婦	74.4% ▲ 1.4	58.9% ▲ 10.2	61.1% ▲ 4.1	58.3% ▲ 0.6	47.8% 5.3	14.4% 6.2	10.6% ▲ 2.4	11.1% 1.9	2.8% ▲ 0.1	8.3% 2.0	8.3% 1.1	2.2% ▲ 1.2	2.2% 1.7
	育児期	48.8% 6.0	33.7% ▲ 1.6	48.2% 4.9	65.1% ▲ 2.3	49.4% ▲ 4.6	31.3% ▲ 0.3	14.5% 4.9	16.3% ▲ 0.3	9.0% 1.0	9.0% ▲ 4.4	4.2% ▲ 2.2	4.8% 2.7	0.6% ▲ 0.5
	教育期前期	57.7% 1.8	45.7% 3.3	48.0% 2.7	58.9% ▲ 0.8	53.1% 6.3	49.7% ▲ 2.7	10.6% ▲ 2.3	11.7% ▲ 2.4	6.3% ▲ 1.1	6.6% 0.1	10.0% 2.1	2.6% ▲ 0.6	0.3% ▲ 0.9
	教育期後期	69.7% 3.4	58.3% 7.3	55.4% 6.4	53.1% ▲ 0.7	40.6% ▲ 7.5	48.6% ▲ 3.3	12.6% ▲ 1.8	8.6% ▲ 2.0	1.7% 0.7	8.6% 3.8	12.6% 1.1	0.6% ▲ 2.3	0.6% ▲ 2.3
	単身高齢者	64.3% 6.2	76.5% ▲ 11.7	22.6% 7.5	29.6% 5.9	21.7% ▲ 8.4	7.0% 0.5	10.4% ▲ 4.7	4.3% 0.0	0.9% ▲ 2.3	17.4% 7.7	3.5% 1.3	3.5% ▲ 3.0	1.7% 1.7
	高齢者夫婦	66.8% ▲ 2.4	79.7% ▲ 7.0	72.0% ▲ 0.5	33.9% ▲ 1.4	26.3% ▲ 7.6	9.5% 4.1	10.5% 0.7	1.0% 0.0	0.0% ▲ 0.3	12.2% 0.0	3.3% ▲ 1.4	6.3% 3.2	2.0% 1.3
	新旧住民別・奈良での就労別	奈良県にずっと住んでいる人 2.7	61.6% ▲ 1.6	54.7% 1.5	50.9% 1.3	43.2% 0.5	25.0% 1.4	11.5% ▲ 0.6	12.4% 0.5	11.9% 0.5	9.5% ▲ 0.3	7.7% ▲ 1.2	2.1% 0.3	0.7% ▲ 0.2
	奈良県内に新しくきた人 1.9	64.8% ▲ 0.1	59.9% ▲ 0.1	56.8% 2.5	51.6% 0.3	40.4% 2.2	26.0% 0.1	12.1% 0.3	8.3% ▲ 0.7	8.0% ▲ 0.3	8.7% 2.1	6.1% 0.9	4.5% 0.8	1.0% 0.2
	奈良県内で働いている人 4.7	63.5% ▲ 0.1	53.2% 8.1	51.5% 4.4	58.3% ▲ 0.8	49.1% 7.2	28.3% 3.6	9.4% 1.9	16.8% ▲ 3.7	12.7% ▲ 4.2	6.0% 1.1	11.2% 4.4	2.5% ▲ 0.7	0.8% 0.2
	奈良県外で働いている人 2.3	62.0% ▲ 6.0	46.3% ▲ 2.4	52.3% 2.4	59.8% 2.7	46.3% 0.8	30.6% 2.8	10.0% ▲ 1.9	18.5% 1.4	16.4% 5.8	7.5% 0.2	6.4% ▲ 5.5	3.2% 1.7	0.4% ▲ 0.3

（注）集計結果は「県全体」の平成26年度の結果が多い項目順（「その他」を除く）に並べている。太字は「その他」を除いた平成26年度の結果の各属性区分の上位3項目を示し、下線と付した数値は最多項目を示している。また、網掛けは平成25年度よりも5ポイント以上増えた項目を示している。母数は「苦しくなった」と回答している人数であり、6～8ページの「5 回答者の状況」とは異なる。

■県全体

日頃の生活で「悩みや不安を感じている」人に対してその理由を尋ねたところ、「老後の生活設計について」(63.5%)が最も多く、次いで「自分の健康について」(59.1%)、「家族の健康について」(55.6%)が多く挙げられています。

■地域別

『地域2(西部)』をのぞくすべての地域で「老後の生活設計について」が最も多く挙げられています。『地域2(西部)』では「家族の健康について」が最も多く挙げられています。平成25年度と比較すると、『地域6(南西部)』で「勤務先での仕事や人間関係について」(10.5ポイント増)が大幅な増加をしている一方で『地域5(南東部)』では「自分の健康について」(16.6ポイント減)が大幅に減少しています。

■性別

『男性』『女性』とともに「老後の生活設計について」を理由に挙げる人が多く60.0%以上となっています。次いで「自分の健康について」が多く挙げられています。平成25年度と比較すると、『女性』で「老後の生活設計について」、「現在の収入や資産について」(ともに4.0ポイント増)が増加しています。

■年齢別

『40歳代』『50歳代』『60歳代』では「老後の生活設計について」が最も多く挙げられている一方で『20歳代』『30歳代』では「今後の収入や資産の見通しについて」、「70歳代以上」は「自分の健康について」が最も多く挙げられています。平成25年度と比較すると、『20歳代』では上位2項目「今後の収入や資産の見通しについて」、「自分の生活上の問題(進学、就職、結婚など)の問題について」で5ポイント以上増加しています。

■ライフステージ別

『夫婦』『教育期後期』では「老後の生活設計について」が最も多く挙げられている一方で『単身高齢者』『高齢者夫婦』では「自分の健康について」、「育児期』『教育期前期』は「今後の収入や資産の見通しについて」、「若者」は「自分の生活上の問題(進学、就職、結婚など)の問題について」が最も多く挙げられています。平成25年度と比較すると、『若者』で「勤務先での仕事や人間関係について」(9.3ポイント増)が増加している一方で『単身高齢者』では「自分の健康について」(11.7ポイント減)が減少しています。

■旧住民・新住民別

どちらの住民においても、「老後の生活設計について」が最も多く挙げられています。『奈良県に新しくきた人』(64.8%)が『奈良県にずっと住んでいる人』(61.6%)と比べて多くなっています。平成25年度と比較すると、それらの項目においても増加しています。

■奈良での就労別

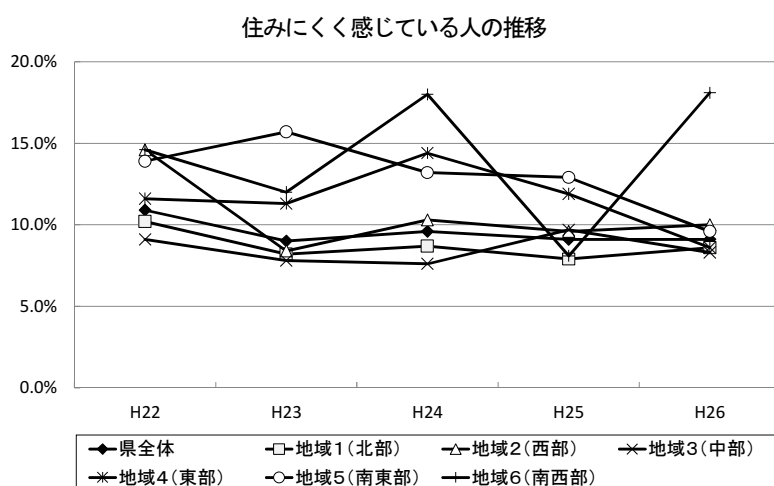
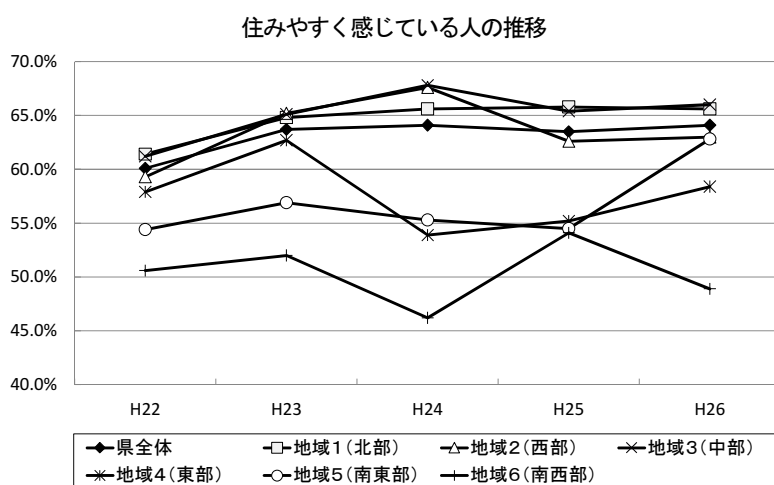
どちらの就労状況においても、「老後の生活設計について」が最も多く挙げられています。『奈良県内で働いている人』(63.5%)が『奈良県外で働いている人』(62.6%)と比べて多くなっています。平成25年度と比較すると、それらの項目においても増加しています。

1-6 奈良県の住みやすさの評価（問6）

（1）経年比較

図表 奈良県の住みやすさの評価（経年比較／県全体、地域別）

		住 み や す い	住 み に く い
県全体	H22	60.1%	10.9%
	H23	63.7%	9.0%
	H24	64.1%	9.6%
	H25	63.5%	9.1%
	H26	64.1%	9.1%
地域1（北部）	H22	61.4%	10.2%
	H23	64.8%	8.2%
	H24	65.6%	8.7%
	H25	65.8%	7.9%
	H26	65.6%	8.6%
地域2（西部）	H22	59.3%	14.6%
	H23	65.2%	8.4%
	H24	67.6%	10.3%
	H25	62.6%	9.6%
	H26	63.0%	10.0%
地域3（中部）	H22	61.2%	9.1%
	H23	65.1%	7.8%
	H24	67.8%	7.6%
	H25	65.4%	9.7%
	H26	66.0%	8.3%
地域4（東部）	H22	57.9%	11.6%
	H23	62.7%	11.3%
	H24	53.9%	14.4%
	H25	55.2%	11.9%
	H26	58.4%	8.6%
地域5（南東部）	H22	54.4%	13.9%
	H23	56.9%	15.7%
	H24	55.3%	13.2%
	H25	54.5%	12.9%
	H26	62.8%	9.6%
地域6（南西部）	H22	50.6%	14.6%
	H23	52.0%	12.0%
	H24	46.2%	18.0%
	H25	54.1%	8.1%
	H26	48.9%	18.1%



（注）上記図表は、問6を「住みやすい」（「とても住みやすい」＋「どちらかといえば住みやすい」）と「住みにくい」（「どちらかといえば住みにくい」＋「とても住みにくい」）に再集計した結果である。

母数については6～8ページの「5 回答者の状況」参照。

■県全体

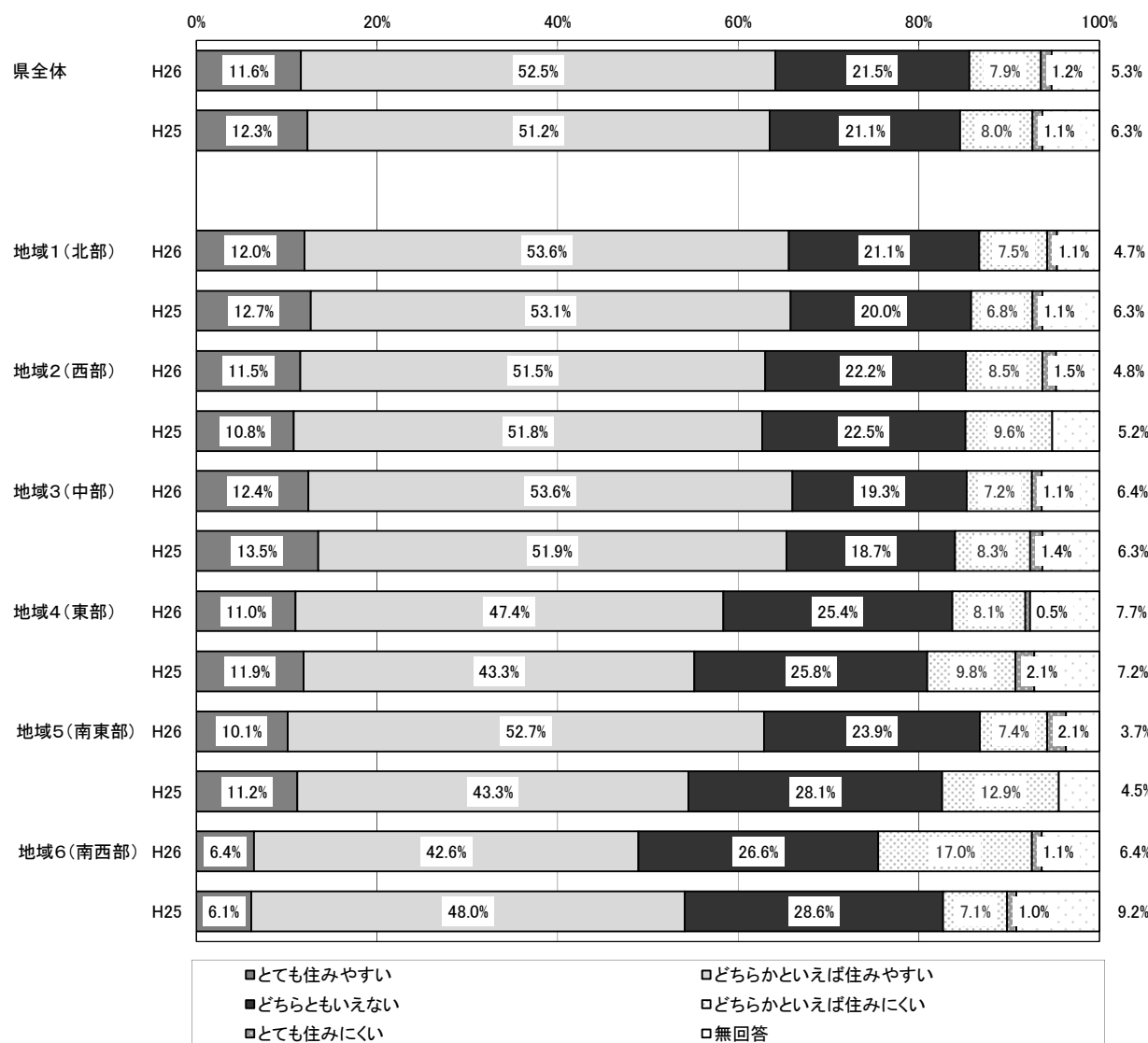
「住みやすい」と感じている人は、平成22年度と比較すると概ね増加傾向にあります。平成25年度と比較すると「住みやすい」と感じている人は0.6ポイント増加しています。

■地域別

「住みやすい」と感じている人は、平成22年度と比較すると『地域6（南西部）』をのぞくすべての地域で増加傾向にあります。平成25年度と比較すると『地域1（北部）』（0.2ポイント減）、『地域6（南西部）』（5.2ポイント減）で減少している一方で他の地域では増加しています。

(2) 今年度調査結果

図表 奈良県の住みやすさの評価（経年比較／県全体、地域別）



(注) 母数については6～8ページの「5 回答者の状況」参照。

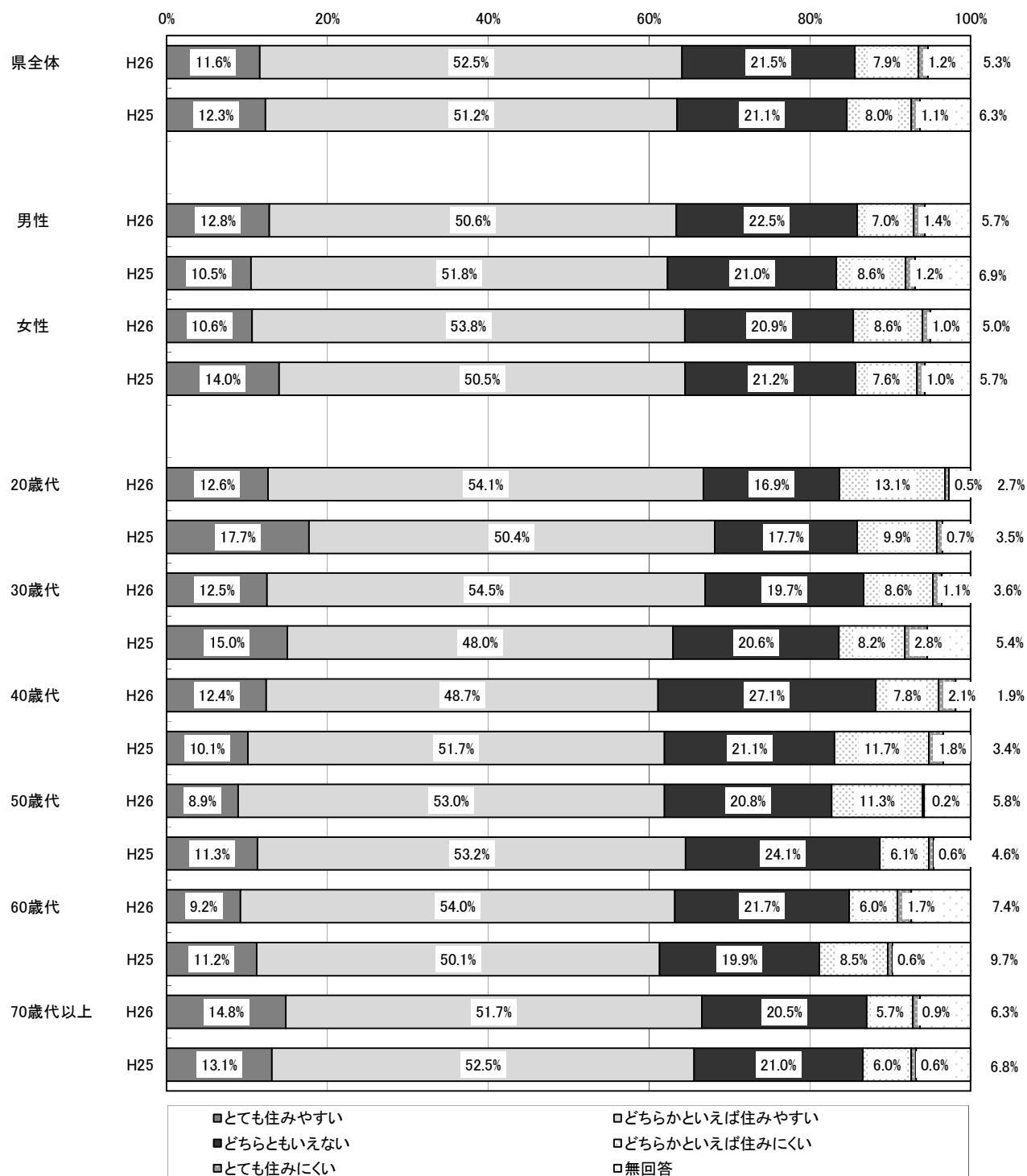
■県全体

奈良県での住みやすさの評価について、64.1%の人が「住みやすい」（「とても住みやすい」＋「どちらかといえば住みやすい」）と感じており、「住みにくい」（「どちらかといえば住みにくい」＋「とても住みにくい」）と感じている人は、9.1%となっています。平成25年度と比較すると、「住みやすい」と感じている人は、0.6ポイント増加しています。

■地域別

「住みやすい」と感じている人が最も多いのは、『地域3(中部)』（66.0%）となっています。平成25年度と比較すると、「住みやすい」と感じている人は『地域5(南東部)』（8.3ポイント増）が最も多く、次いで『地域4(東部)』（3.2ポイント増）となっています。

図表 奈良県の住みやすさの評価（経年比較／県全体、性別、年齢別）



（注）母数については6～8ページの「5 回答者の状況」参照。

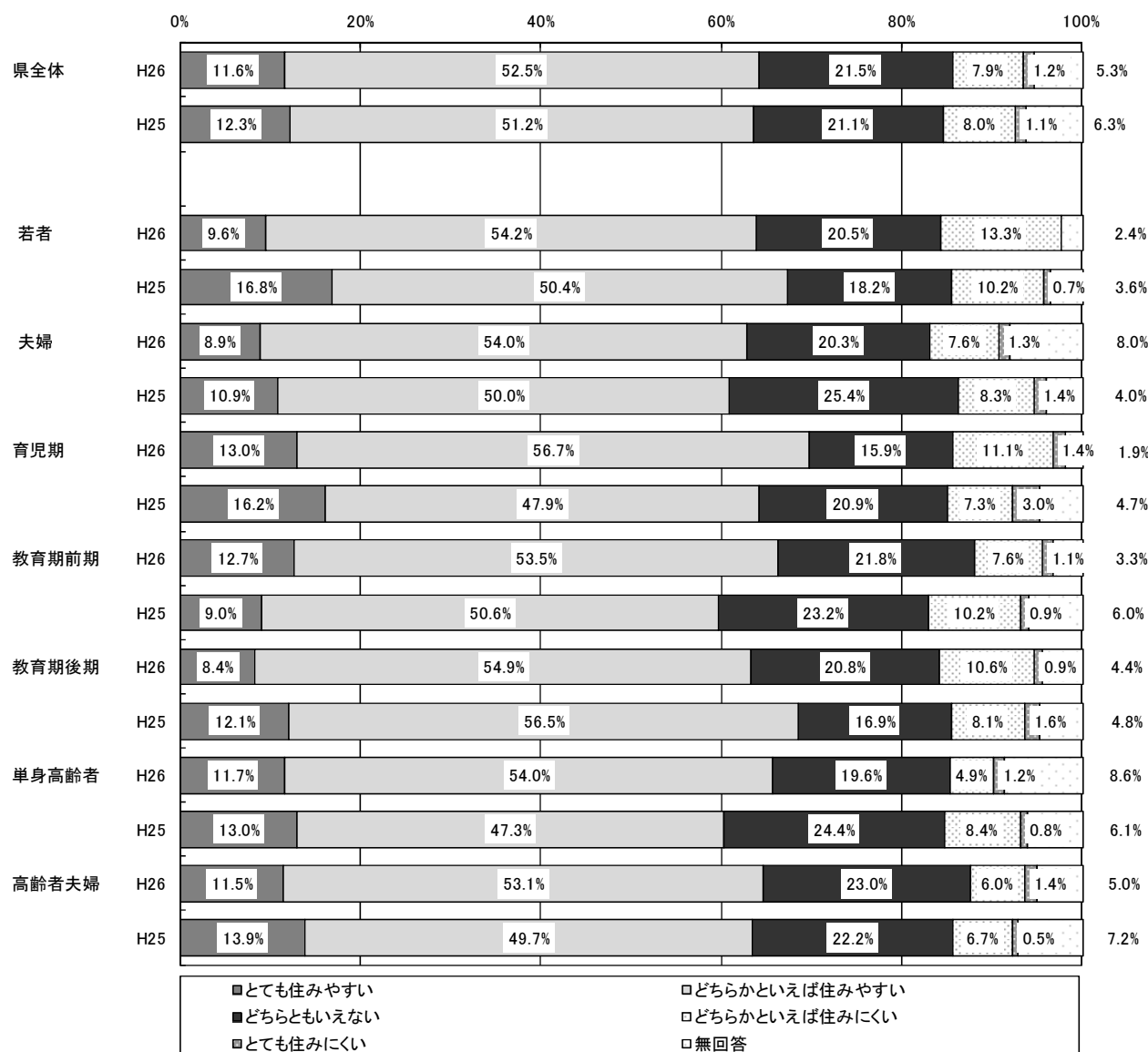
■性別

「住みやすい」と感じている人は、『女性』（64.4%）が『男性』（63.4%）と比べ多くなっています。平成25年度と比較すると、「住みやすい」と感じている人は『男性』は1.1ポイント増加している一方で『女性』では0.1ポイント減少しています。

■年齢別

「住みやすい」と感じている人が最も多いのは、『30歳代』（67.0%）となっています。平成25年度と比較すると、「住みやすい」と感じている人は『30歳代』（4.0ポイント増）が最も多く、次いで『60歳代』（1.9ポイント増）の年齢層で増加しています。

図表 奈良県の住みやすさの評価（経年比較／県全体、ライフステージ別）

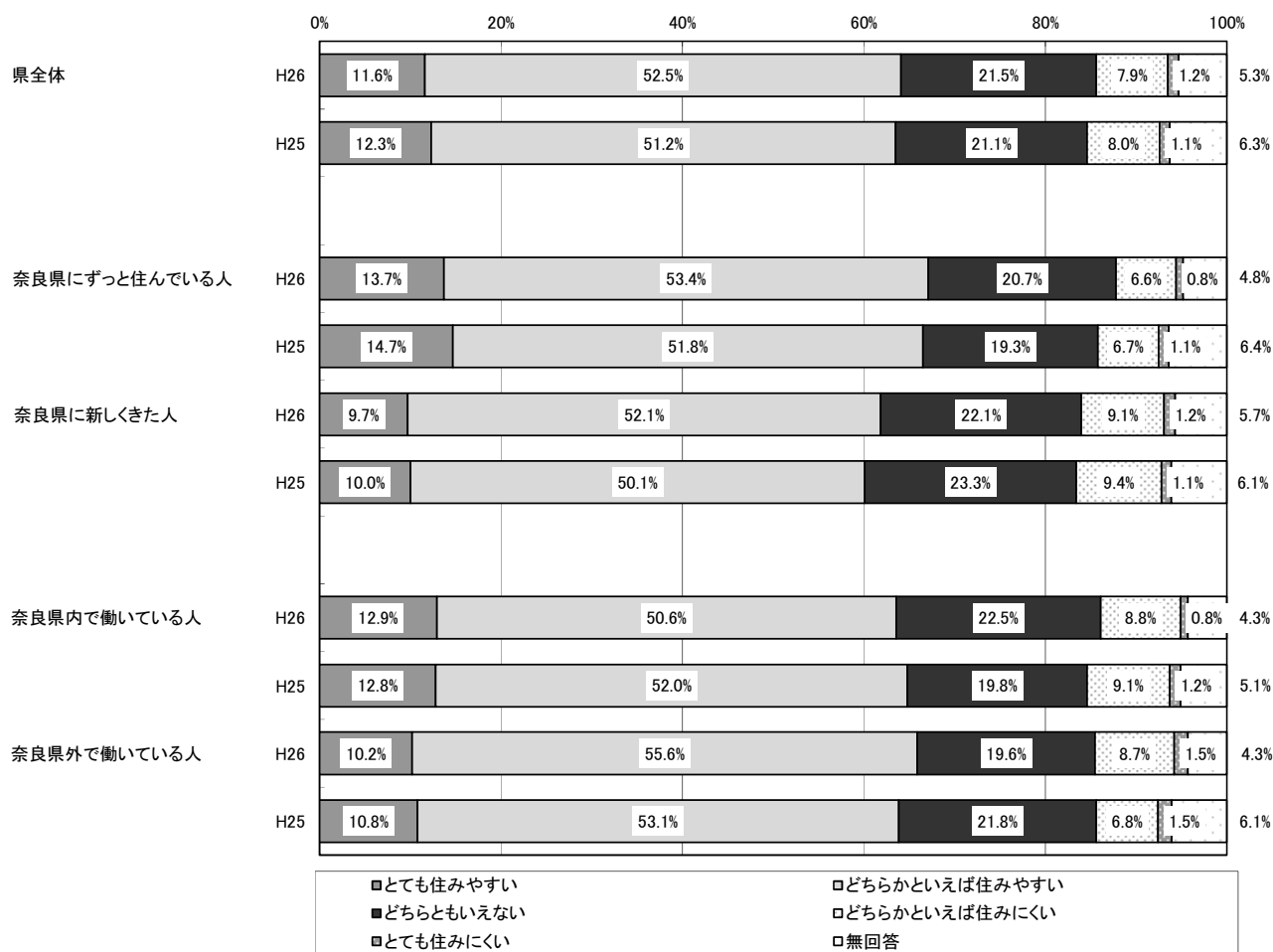


(注) 母数については6～8ページの「5 回答者の状況」参照。

■ライフステージ別

「住みやすい」と感じている人が最も多いのは、『育児期』（69.7%）となっています。平成25年度と比較すると、「住みやすい」と感じている人は『教育期前期』（6.6ポイント増）が最も増加しています。

図表 奈良県の住みやすさの評価（経年比較／県全体、旧住民・新住民、奈良での就労別）



（注）母数については6～8ページの「5 回答者の状況」参照。

■旧住民・新住民別

「住みやすい」と感じている人は、『奈良県にずっと住んでいる人』（67.1%）が『奈良県に新しくきた人』（61.8%）と比べ多くなっています。平成25年度と比較するとそれらの項目についても増加しています。

■奈良での就労別

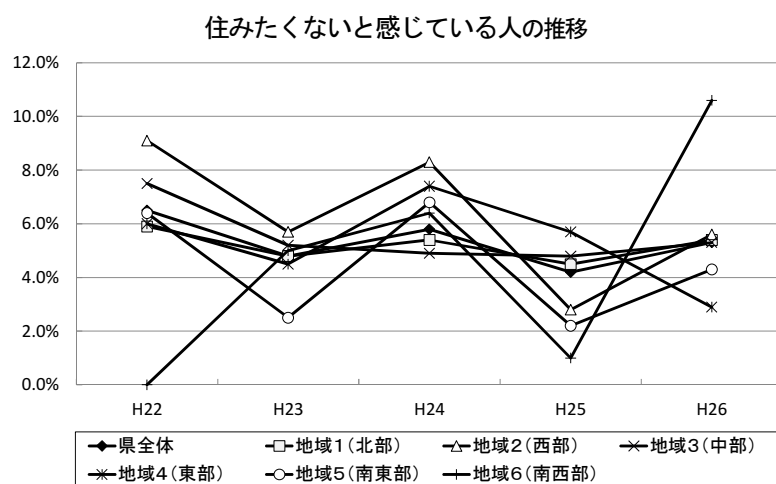
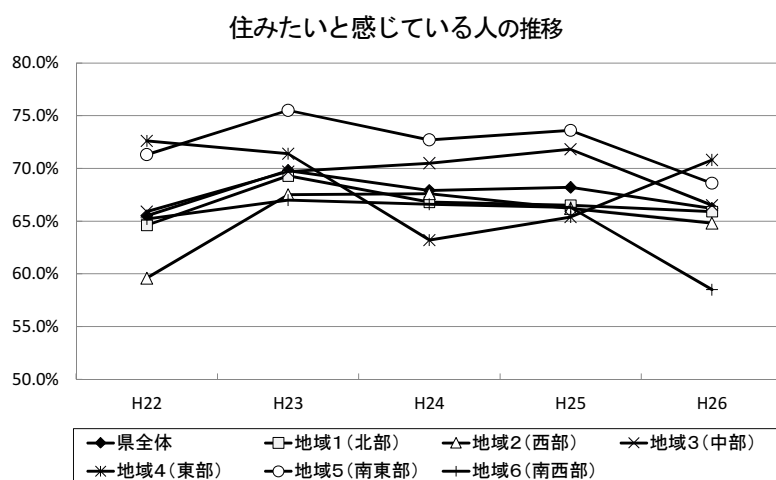
「住みやすい」と感じている人は、『奈良県外で働いている人』（65.8%）が『奈良県内で働いている人』（63.5%）と比べ多くなっています。平成25年度と比較すると、『奈良県外で働いている人』は1.9ポイント増加しています。

1-7 将来の奈良県での定住意向（問7）

（1）経年比較

図表 将来の奈良県での定住意向（単数回答／県全体、地域別）

		住 み た い	住 み た く な い
県全体	H22	65.5%	6.5%
	H23	69.8%	4.8%
	H24	67.9%	5.8%
	H25	68.2%	4.2%
	H26	66.2%	5.3%
地域1（北部）	H22	64.6%	5.9%
	H23	69.3%	4.8%
	H24	66.8%	5.4%
	H25	66.5%	4.5%
	H26	65.9%	5.4%
地域2（西部）	H22	59.6%	9.1%
	H23	67.5%	5.7%
	H24	67.6%	8.3%
	H25	66.2%	2.8%
	H26	64.8%	5.6%
地域3（中部）	H22	65.9%	7.5%
	H23	69.7%	5.2%
	H24	70.5%	4.9%
	H25	71.8%	4.8%
	H26	66.5%	5.3%
地域4（東部）	H22	72.6%	6.0%
	H23	71.4%	4.5%
	H24	63.2%	7.4%
	H25	65.4%	5.7%
	H26	70.8%	2.9%
地域5（南東部）	H22	71.3%	6.4%
	H23	75.5%	2.5%
	H24	72.7%	6.8%
	H25	73.6%	2.2%
	H26	68.6%	4.3%
地域6（南西部）	H22	65.2%	0.0%
	H23	67.0%	5.0%
	H24	66.6%	6.4%
	H25	66.3%	1.0%
	H26	58.5%	10.6%



（注）上記図表は、問7を「住みたい」（「ずっと住みたい」＋「一度は県外へ出ても、奈良県に戻って住みたい」）に再集計した結果である。母数については6～8ページの「5 回答者の状況」参照。

■県全体

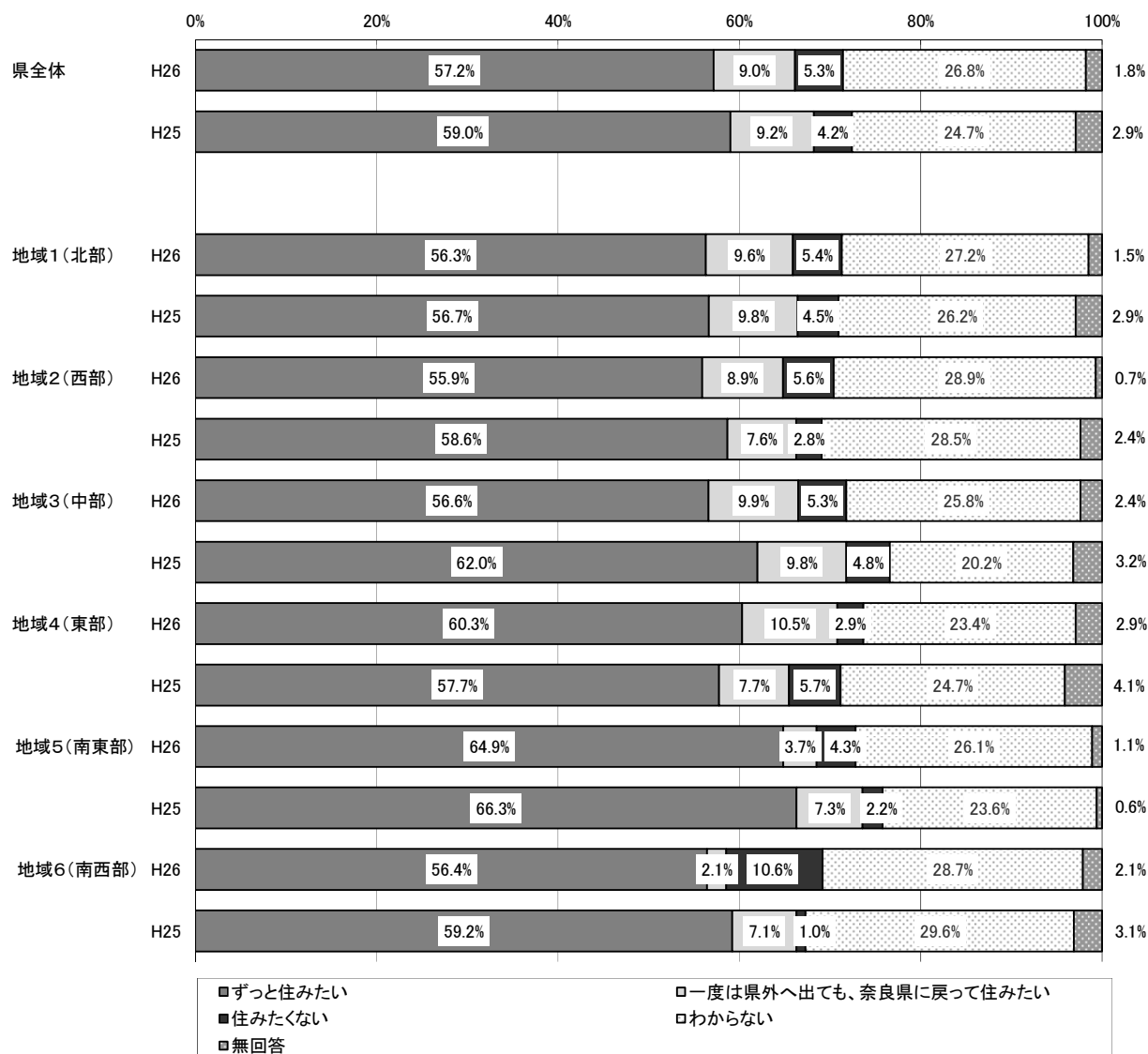
奈良県に「住みたい」と考えている人は、67%前後で推移しています。平成25年度と比較すると奈良県に「住みたい」と考えている人は、2.0ポイント減少しています。

■地域別

奈良県に「住みたい」と考えている人は、平成22年度と比較すると『地域4（東部）』、『地域5（南東部）』、『地域6（南西部）』をのぞくすべての地域で概ね増加傾向にあります。平成25年度と比較すると『地域4（東部）』（5.4ポイント増）で増加している一方で他の地域では減少しています。

(2) 今年度調査結果

図表 将来の奈良県での定住意向（経年比較／県全体、地域別）



(注) 母数については6～8ページの「5 回答者の状況」参照。

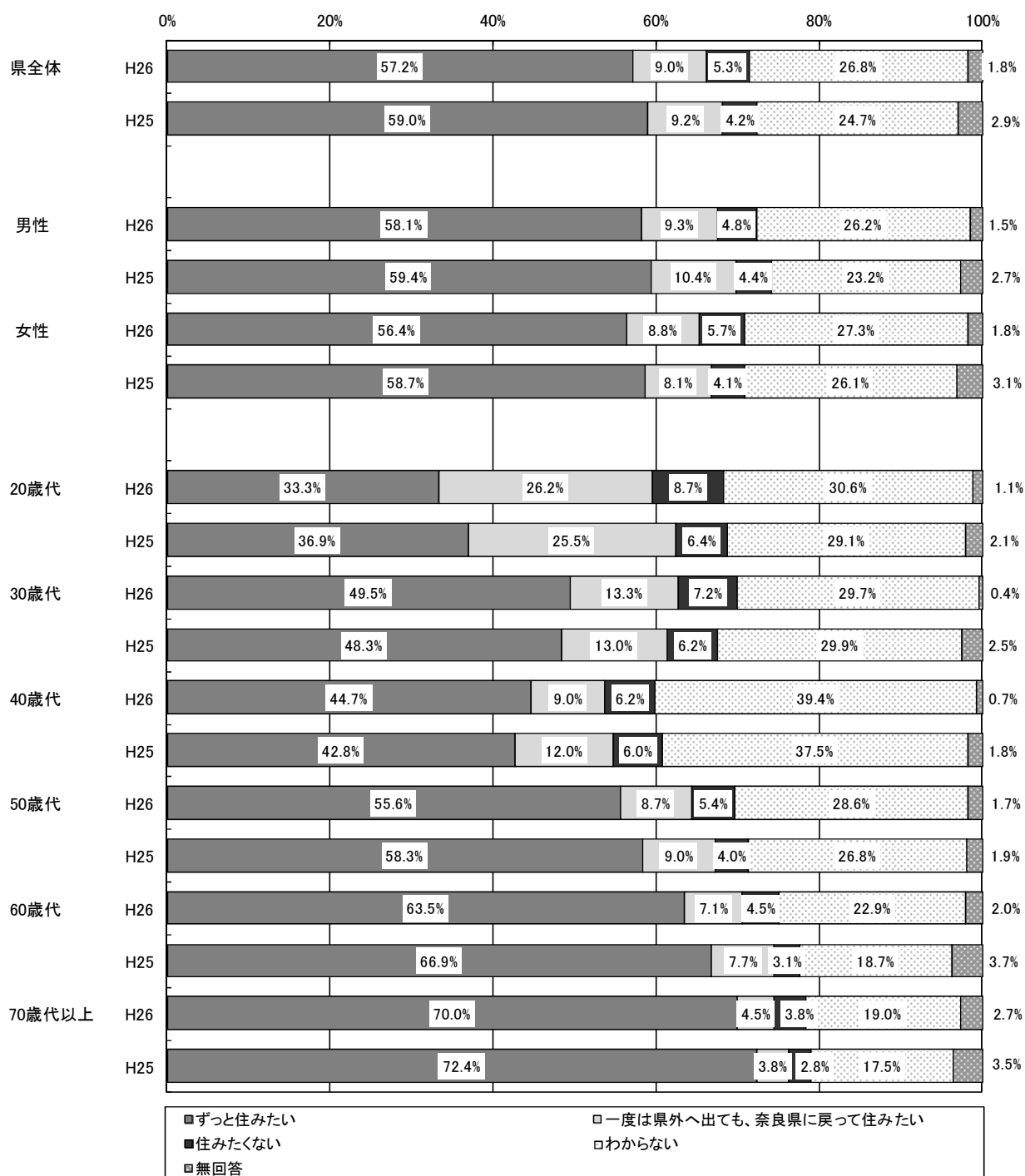
■県全体

将来の奈良県での定住意向について、57.2%の人が「ずっと住みたい」と考えています。「一度は県外へ出ても、奈良県に戻って住みたい」と考えている人を合わせると、66.2%の人が「住みたい」と考えています。一方で「わからない」と答えた人は26.8%となっています。平成25年度と比較すると「ずっと住みたい」と考えている人は1.8ポイント減少している一方で「一度は県外へ出ても奈良県に戻って住みたい」と考えている人も0.2ポイント減少しています。

■地域別

「ずっと住みたい」と考えている人が最も多いのは『地域5(南東部)』(64.9%)となっています。平成25年度と比較すると、「住みたい」と考えている人は『地域4(東部)』(5.4ポイント増)で増加している一方で他の地域では減少しています。

図表 将来の奈良県での定住意向（経年比較／県全体、性別、年齢別）



（注）母数については6～8ページの「5 回答者の状況」参照。

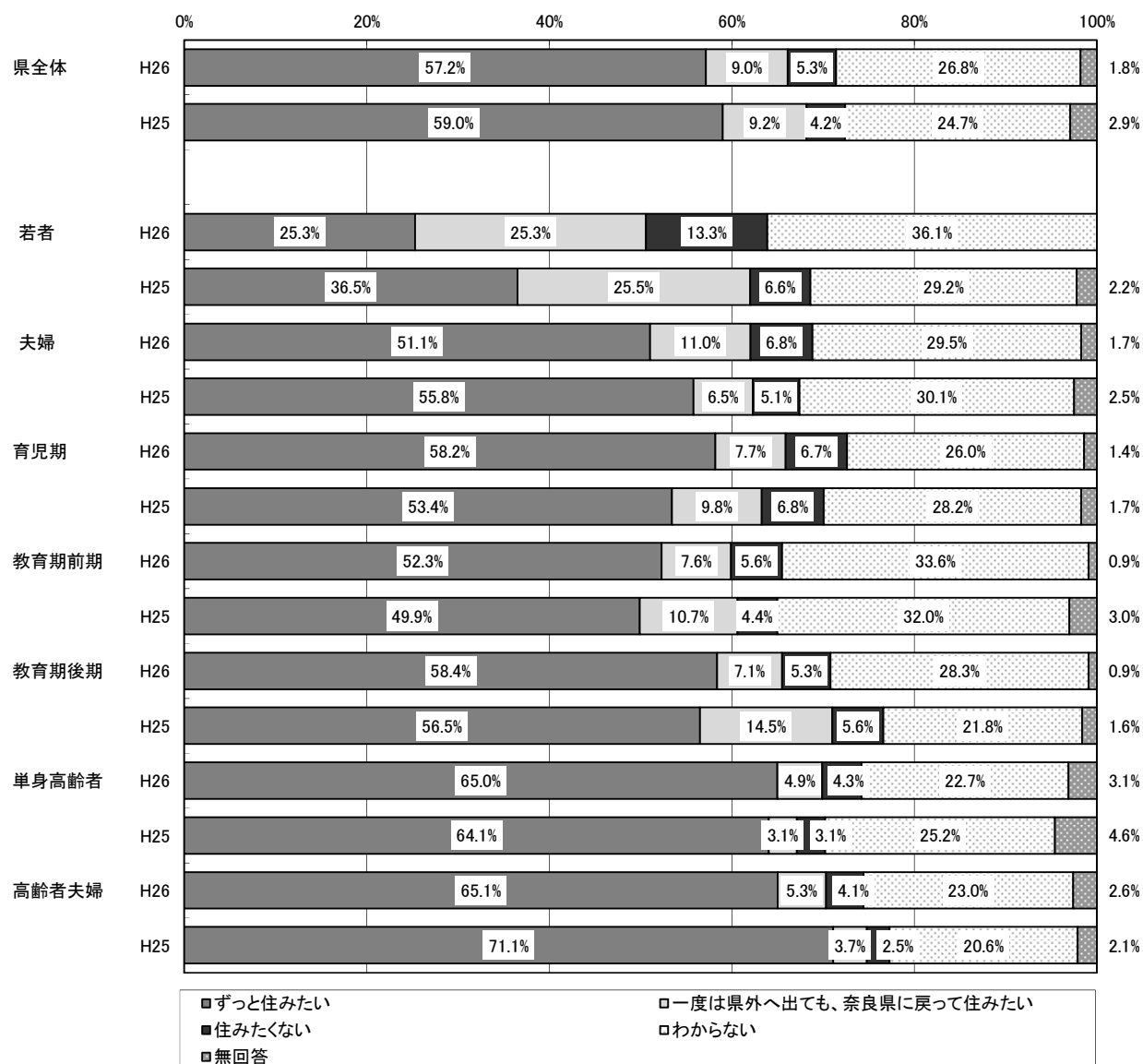
■性別

奈良県に「住みたい」と考えている人は、『男性』（67.4%）が『女性』（65.2%）と比べ多くなっています。平成25年度と比較すると、『男性』、『女性』ともに「住みたい」と考えている人は減少しています。

■年齢別

奈良県に「ずっと住みたい」と考えている人が最も多いのは『70歳代以上』（70.0%）となっています。「一度は県外へ出ても、奈良県に戻って住みたい」と考えている人が最も多いのは『20歳代』（26.2%）で年齢層が低くなるにつれ多くなっています。平成25年度と比較すると、「住みたい」と考えている人は『30歳代』（1.5ポイント増）で増加している一方で他の年齢層では減少しています。

図表 将来の奈良県での定住意向（経年比較／県全体、ライフステージ別）

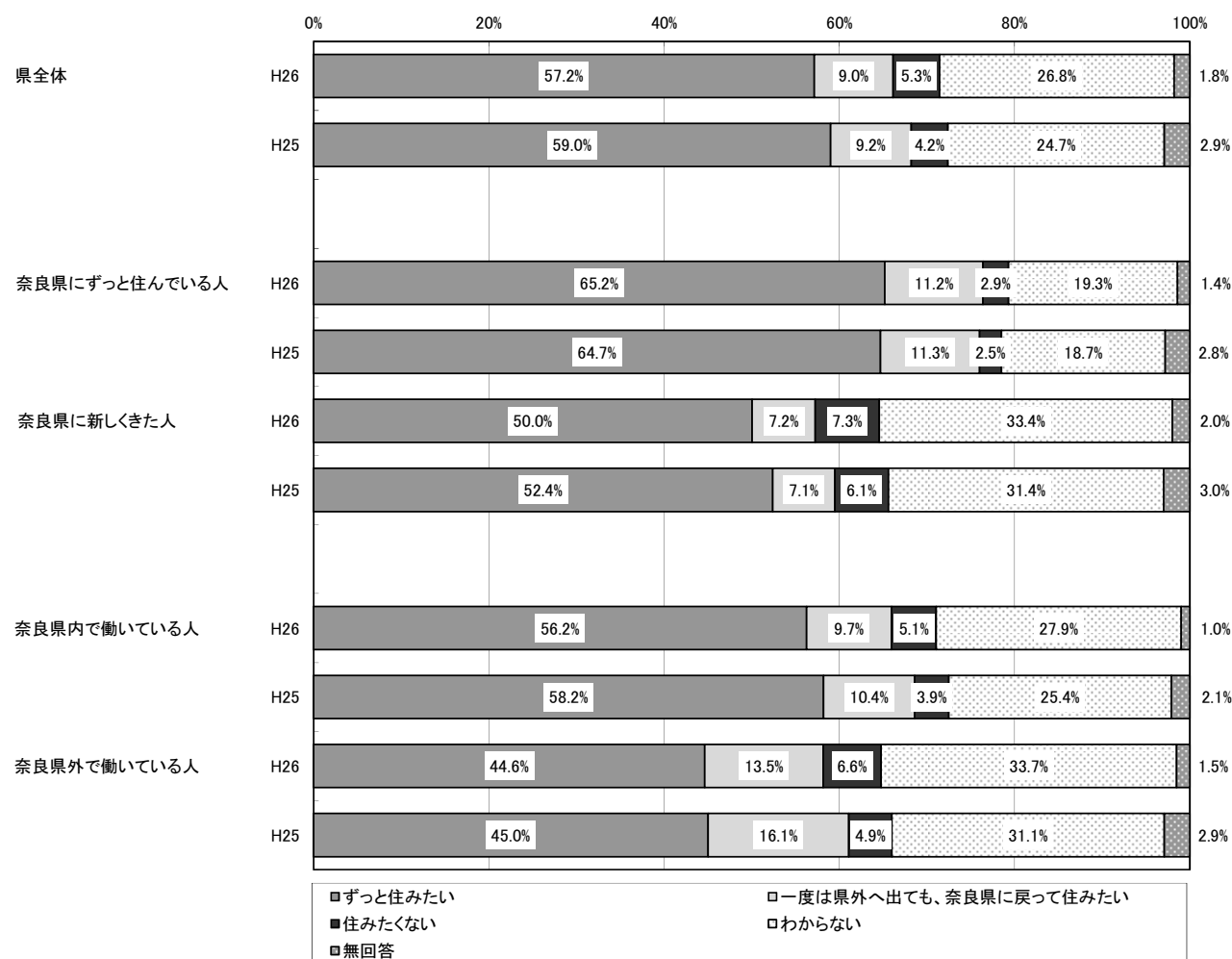


（注）母数については6～8ページの「5 回答者の状況」参照。

■ライフステージ別

奈良県に「ずっと住みたい」と考えている人が最も多いのは『高齢者夫婦』（65.1%）、最も少ないのは『若者』（25.3%）となっています。一方で「一度は県外へ出ても、奈良県に戻って住みたい」と考えている人が最も多いのは『若者』（25.3%）となっています。平成25年度と比較すると、「住みたい」と考えている人は『若者』（11.4ポイント減）が他のライフステージと比べて大幅に減少しています。

図表 将来の奈良県での定住意向（経年比較／県全体、旧住民・新住民、奈良での就労別）



（注）母数については6～8ページの「5 回答者の状況」参照。

■旧住民・新住民別

奈良県に「ずっと住みたい」と考えている人は、『奈良県にずっと住んでいる人』（65.2%）が『奈良県に新しくきた人』（50.0%）と比べ多くなっています。一方で「一度は県外へ出ても、奈良県に戻って住みたい」と考えている人は『奈良県にずっと住んでいる人』（11.2%）が『奈良県に新しくきた人』（7.2%）と比べ多くなっています。平成25年度と比較すると「住みたい」と考えている人は『奈良県にずっと住んでいる人』（0.4ポイント増）が増加しています。

■奈良での就労別

奈良県に「ずっと住みたい」と考えている人は、『奈良県内で働いている人』（56.2%）が『奈良県外で働いている人』（44.6%）と比べ多くなっています。平成25年度と比較すると「住みたい」と考えている人はどちらの就労別においても減少しています。

1-8 将来的に奈良県に「住みたくない」または「わからない」と答えた理由（問8）

図表 将来的に奈良県に「住みたくない」または「わからない」と答えた理由

（複数回答／県全体、地域別、性別、年齢別、ライフステージ別、旧住民・新住民別、奈良での就労別）

（上段：平成26年度結果、下段：前年度からの増減）

		医療が充実していない	整った物など日常生活環境が	通勤・通学に不便	福祉サービスが充実していない	身近に文化やスポーツに親しめる場が少ない	奈良県や身近な地域に愛着を感じない	災害を防ぐための対策が不十分	教育環境が充実していない	治安を守るための対策が不十分	家賃など住居費が高い	騒音・振動・大気汚染など周辺環境がよいくない	緑などの自然環境がよいくない	その他	無回答
地域別	県全体	41.5% 0.9	38.4% 0.0	33.7% 1.4	30.1% ▲2.3	23.5% 3.8	19.4% ▲2.7	18.4% 3.6	12.9% 0.3	10.6% ▲0.4	8.7% 1.5	4.5% ▲1.2	3.5% 1.0	21.0% ▲4.1	3.7% 1.0
	地域1（北部）	38.8% 0.8	34.0% 1.4	29.1% 2.1	29.1% ▲3.5	26.5% 6.1	22.9% 0.3	15.1% 2.2	13.7% 2.5	9.9% ▲0.1	9.7% 2.6	5.2% 0.8	5.0% 3.1	22.2% ▲7.0	3.8% 1.1
	地域2（西部）	47.3% 6.3	36.6% ▲1.9	31.2% 1.7	26.9% ▲5.2	22.6% 3.4	21.5% ▲5.4	19.4% 13.0	6.5% ▲7.6	10.8% ▲5.9	5.4% 1.6	7.5% ▲1.5	4.3% 1.7	24.7% ▲4.8	1.1% ▲5.3
	地域3（中部）	33.3% ▲3.2	29.2% ▲8.4	32.3% ▲2.0	31.3% 0.4	17.9% ▲0.6	19.0% ▲8.5	19.0% 2.1	12.3% ▲1.2	15.4% ▲1.5	9.2% 0.2	4.6% ▲2.7	1.0% ▲4.6	22.1% 0.2	5.6% 4.5
	地域4（東部）	50.0% 5.1	52.7% 3.5	52.7% 10.3	34.5% ▲6.2	20.0% ▲7.1	10.9% ▲2.7	27.3% 12.0	16.4% 1.1	10.9% 7.5	14.5% 7.7	1.8% ▲3.3	3.6% 3.6	14.5% 0.9	3.6% 0.2
	地域5（南東部）	61.4% 3.8	75.4% 10.2	50.0% ▲1.3	31.6% 5.5	22.8% 14.1	7.0% ▲1.7	24.6% 10.2	17.5% 2.3	3.5% 1.3	3.5% ▲7.4	0.0% ▲4.3	0.0% 0.0	14.0% ▲1.2	3.5% 1.3
	地域6（南西部）	56.8% 3.5	62.2% 2.2	45.9% ▲4.1	35.1% 1.8	27.0% 7.0	8.1% 1.4	27.0% 7.0	10.8% ▲2.5	2.7% ▲0.6	2.7% ▲0.6	0.0% ▲10.0	2.7% 2.7	13.5% 0.2	0.0% ▲3.3
性別	男性	38.0% ▲2.6	36.9% 1.9	34.4% 3.0	31.4% ▲3.9	23.8% 3.8	19.7% ▲5.0	21.0% 2.9	12.8% 0.3	12.0% ▲1.1	7.9% 2.1	5.5% ▲2.0	3.6% 0.3	18.9% ▲7.8	2.2% 1.1
	女性	44.1% 3.4	39.6% ▲1.6	33.1% 0.1	29.3% ▲0.8	23.4% 3.9	19.1% ▲0.8	16.5% 4.3	13.0% 0.3	9.6% 0.3	9.3% 0.9	3.9% ▲0.4	3.5% 1.7	22.8% ▲1.0	4.7% 0.6
年齢別	20歳代	19.4% ▲6.6	38.9% 0.9	55.6% 13.6	15.3% ▲2.7	27.8% ▲0.2	25.0% ▲9.0	11.1% 1.1	18.1% 8.1	11.1% 9.1	6.9% 0.9	4.2% 2.2	1.4% 1.4	22.2% ▲5.8	1.4% ▲0.6
	30歳代	39.8% 7.0	31.1% 0.6	47.6% 11.7	22.3% ▲5.8	23.3% 8.5	21.4% 1.1	9.7% 1.9	21.4% ▲1.3	7.8% ▲6.3	8.7% ▲2.2	1.9% ▲4.4	3.9% 1.6	25.2% ▲5.3	1.9% 0.3
	40歳代	41.1% ▲0.2	26.6% ▲2.5	40.6% 2.0	28.6% 7.4	18.8% 3.5	17.7% ▲9.3	10.4% ▲1.8	14.1% ▲5.5	5.7% ▲2.8	8.3% 3.0	4.2% 0.5	2.1% 0.0	30.7% 0.5	3.1% 1.5
	50歳代	44.6% ▲0.3	33.1% ▲3.6	37.6% 4.9	31.8% ▲3.6	26.1% 10.5	22.3% ▲0.8	21.7% 8.8	11.5% 2.7	8.3% ▲3.3	9.6% 0.8	4.5% 0.4	3.8% 2.4	24.8% 0.3	3.8% 2.4
	60歳代	41.8% ▲5.5	46.2% 0.3	20.3% ▲10.8	36.3% ▲6.3	26.9% 0.5	18.1% ▲2.8	25.3% 5.0	9.3% 3.2	13.7% 1.5	10.4% 5.0	6.6% ▲0.8	3.8% ▲0.9	13.7% ▲8.6	4.9% ▲0.5
	70歳代以上	49.7% 9.1	53.6% 0.7	17.9% 0.5	33.8% ▲9.7	19.9% ▲4.7	15.9% 2.9	26.5% 3.3	8.6% 2.8	17.2% 4.2	7.3% 0.1	4.6% ▲4.8	5.3% 2.4	9.9% ▲5.3	5.3% 1.0
	若者	14.6% ▲11.9	34.1% ▲4.7	51.2% 8.3	17.1% ▲1.3	29.3% 0.7	19.5% ▲15.2	4.9% ▲5.3	14.6% 4.4	4.9% 2.9	4.9% ▲1.2	2.4% 0.4	0.0% 0.0	31.7% 5.2	2.4% 0.4
ライフステージ別	夫婦	38.4% ▲5.9	36.0% ▲3.2	30.2% ▲4.9	29.1% ▲6.0	23.3% 2.7	20.9% 0.3	18.6% 0.0	5.8% ▲3.5	5.8% ▲3.5	7.0% ▲3.3	4.7% 0.6	5.8% 2.7	26.7% 0.9	5.8% 1.7
	育児期	38.2% ▲0.8	29.4% ▲1.1	38.2% 10.2	33.8% 5.8	25.0% 10.4	23.5% 0.3	8.8% 5.1	26.5% ▲2.8	4.4% ▲7.8	11.8% 3.3	2.9% 0.5	4.4% 0.7	35.3% ▲2.5	1.5% 0.3
	教育期前期	40.9% 2.0	31.3% 0.1	43.8% 4.3	29.0% 4.8	16.5% 0.6	20.5% ▲3.1	11.4% 2.5	20.5% ▲4.3	8.5% ▲3.0	9.1% 0.2	4.5% ▲0.6	3.4% 0.9	26.1% ▲2.6	1.7% 0.4
	教育期後期	46.1% ▲1.0	28.9% ▲3.5	46.1% ▲3.9	23.7% ▲14.5	15.8% ▲1.8	13.2% ▲7.4	10.5% 4.6	14.5% ▲0.2	11.8% 0.0	10.5% 1.7	6.6% ▲2.2	0.0% 0.0	22.4% 1.8	6.6% 3.7
	単身高齢者	38.6% ▲4.6	36.4% ▲17.7	11.4% 6.0	25.0% ▲29.1	27.3% ▲5.1	15.9% 5.1	27.3% ▲2.4	4.5% ▲0.9	13.6% 5.5	9.1% 1.0	4.5% ▲3.6	2.3% 2.3	13.6% ▲2.6	11.4% 6.0
	高齢者夫婦	52.2% 11.2	54.0% 4.0	16.8% ▲9.2	38.1% ▲3.9	26.5% ▲1.5	16.8% ▲3.2	29.2% 9.2	8.0% 0.0	16.8% 6.8	5.3% 0.3	8.0% 0.0	7.1% 3.1	9.7% ▲9.3	0.9% ▲1.1
	新住民・旧住民	奈良県にずっと住んでいる人 3.6	45.9% 2.8	44.1% ▲1.9	38.7% ▲5.8	29.7% 3.6	23.7% 7.1	10.0% 3.8	20.8% 5.1	11.1% ▲0.2	8.6% 1.8	3.9% ▲5.3	4.3% 1.2	14.0% ▲5.5	3.6% 1.2
奈良での就労別	奈良県に新しくきた人	38.8% ▲0.3	35.2% ▲0.9	30.8% 3.4	30.4% ▲0.6	23.0% 3.9	23.3% ▲1.9	15.8% 4.0	9.1% ▲2.1	10.3% ▲0.7	8.0% 0.5	5.0% 1.3	3.0% 1.0	24.6% ▲4.0	3.9% 0.9
	奈良県内で働いている人	37.4% ▲1.4	34.9% 11.8	38.2% ▲0.6	27.1% ▲0.1	25.2% 6.2	19.4% ▲6.5	17.7% 6.1	15.0% 2.1	6.6% ▲5.0	9.4% 5.3	3.3% ▲0.8	3.3% 1.9	23.3% ▲6.6	5.3% 4.6
	奈良県外で働いている人	36.7% ▲3.4	32.9% ▲2.3	47.5% 12.6	28.5% ▲1.1	22.2% 4.3	19.6% ▲1.9	13.9% 0.9	15.8% ▲1.8	10.1% ▲1.3	7.0% ▲3.7	3.8% ▲1.1	1.9% ▲0.4	19.0% ▲7.4	1.9% ▲0.7

（注）集計結果は「県全体」の平成26年度の結果が多い項目順（「その他」を除く）に並べている。太字は「その他」を除いた平成26年度の結果の各属性区分の上位3項目を示し、下線と付した数値は最多項目を示している。また、網掛けは平成26年度よりも5ポイント以上増えた項目を示している。母数は「苦しくなった」と回答している人数であり、6～8ページの「5 回答者の状況」とは異なる。

■県全体

将来的に奈良県に「住みたくない」または「わからない」と答えた人に対してその理由を尋ねたところ、「医療が充実していない」(41.5%)が最も多く、次いで「買物など日常の生活環境が整っていない」(38.4%)「通勤・通学に不便」(33.7%)が多く挙げられています。平成25年度と比較すると、「身近に文化やスポーツに親しめる場が少ない」(3.8ポイント増)が最も増加している一方で「奈良県や身近な地域に愛着を感じない」(2.7ポイント減)が最も減少しています。

■地域別

『地域1(北部1)』、『地域2(西部)』、『地域3(中部)』は「医療が充実していない」が最も多く、『地域5(南東部)』、『地域6(南西部)』で「買物など日常の生活環境が整っていない」、『地域4(東部)』で「買物など日常の生活環境が整っていない」、「通勤・通学に不便」が同率で最も多く挙げられています。平成25年度と比較すると、『地域5(南東部)』で「身近に文化やスポーツに親しめる場が少ない」(14.1ポイント増)が大幅な増加をしている一方で『地域5(南東部)』では「災害を防ぐための対策が不十分」(10.2ポイント減)が大幅に減少しています。

■性別

『男性』、『女性』ともに「医療が充実していない」が最も多く、次いで「買物など日常の生活環境が整っていないから」「通勤・通学に不便」が多く挙げられています。平成25年度と比較すると、『女性』で「災害を防ぐための対策が不十分」(4.3ポイント増)が最も増加し、『男性』で「奈良県や身近な地域に愛着を感じない」(5.0ポイント減)が最も減少しています。

■年齢別

『20歳代』、『30歳代』は「通勤・通学が不便」、『40歳代』、『50歳代』で「医療が充実していない」、『60歳代』、『70歳代以上』で「買物など日常の生活環境が整っていない」が最も多く挙げられています。平成25年度と比較すると、『20歳代』で「通勤・通学に不便」(13.6ポイント増)が大幅な増加をしている一方で『60歳代』では「通勤・通学に不便」(10.8ポイント減)が大幅に減少しています。

■ライフステージ別

『若者』、『教育期前期』は「通勤・通学に不便」が最も多く、『夫婦』、『単身高齢者』で「医療が充実していない」、『高齢者夫婦』で「買物など日常の生活環境が整っていない」、『育児期』、『教育期後期』で「医療が充実していない」、「通勤・通学に不便」が同率で最も多く挙げられ、ライフステージで違いがみられます。

■旧住民・新住民別

どちらの住民においても「医療が充実していない」が最も多く、次いで「買物など日常の生活環境が整っていない」、「通勤・通学に不便」が多く挙げられています。平成25年度と比較すると、『奈良県にずっと住んでいる人』で「教育環境が充実していない」(5.1ポイント増)が最も増加している一方で「奈良県や身近な地域に愛着を感じない」(7.1ポイント減)が最も減少しています。

■奈良での就労別

どちらの就労状況においても「通勤・通学に不便」が最も多く、次いで「医療が充実していない」、「買物など日常の生活が整っていない」が多く挙げられています。平成25年度と比較すると、『奈良県内で働いている人』で「買物など日常の生活が整っていない」(11.8ポイント増)が大幅な増加をしている一方で、『奈良県外で働いている人』では「家賃など住居費が高い」(3.7ポイント減)が最も減少しています。

(2) 住みにくく移住したいと考えている人の理由 (問6×問7×問8)

図表 住みにくく移住したいと考えている人の理由 (設問間クロス／県全体)

順位	項目 番号	問8 定住しない理由	計
1	1	買物など日常の生活環境が整っていない	40 43.5%
2	2	通勤・通学に不便	19 20.7%
3	6	奈良県や身近な地域に愛着を感じない	9 9.8%
4	5	医療が充実していない	7 7.6%
5	4	災害を防ぐための対策が不十分	5 5.4%
6	3	教育環境が充実していない	4 4.3%
7	9	家賃など住居費が高い	1 1.1%
8	11	福祉サービスが充実していない	1 1.1%
9	7	身近に文化やスポーツに親しめる場が少ない	0 0.0%
10	8	騒音・振動・大気汚染など周辺環境がよくない	0 0.0%
11	10	治安を守るための対策が不十分	0 0.0%
12	12	緑などの自然環境がよくない	0 0.0%
13	13	その他	4 4.3%
14	14	無回答	2 2.2%
県全体			92 100.0%

(注) 上記図表は奈良県が「住みにくい」ため「移住したい」と考えている回答者がどのような理由で移住したいのかを把握するため、問6、問7、問8のクロス集計を行った結果である。なお、順位は少数第2位以下も考慮し決定している。対象者数は、問6「住みにくい」(「どちらかといえば住みにくい」＋「とても住みにくい」)と回答し、なおかつ、問7で「住みたくない」と回答した人の人数である。

奈良県から移住したいと考えている人の理由として、「買物など日常の生活環境が整っていない」(43.5%)が最も多く、次いで「通勤・通学に不便」(20.7%)、「奈良県や身近な地域に愛着を感じない」(9.8%)が多く挙げられています。

2. 県民の身近な生活に関する項目の重要度・満足度について

2-1 県全体の重要度・満足度・ニーズ得点の順位

(1) 重要度の順位

図表 県全体の重要度の順位（平成 26 年度調査の重要度の高い順）

順位	項目番号	項目	重要度				
			H26	H25	H24	H23	H22
1	19	急病時に診てもらえる医療機関があること	4.57	4.63	<u>4.64</u>	4.61	4.61
2	14	住民が犯罪に遭うことがなく、その不安も感じることなく暮らせること	4.50	4.53	<u>4.57</u>	<u>4.53</u>	4.51
3	7	子どもたちが、暴力行為・いじめなどを行わないこと	4.43	<u>4.46</u>	<u>4.44</u>	<u>4.43</u>	4.41
4	11	地震、台風、火災などへの対策がしっかりしていること	4.39	4.39	4.46	<u>4.46</u>	4.36
5	22	高齢者やその家族が住み慣れた地域で適切な介護サービスを受けられること	4.34	<u>4.37</u>	<u>4.37</u>	4.35	4.39
6	20	安心して子どもを出産できる医療体制が整っていること	4.29	4.32	4.37	4.38	4.40
7	12	食品や薬品などの商品・サービスの安全性が確保されていること	4.27	<u>4.31</u>	<u>4.31</u>	4.30	4.33
8	29	失業の不安がなく働けること	4.24	4.28	<u>4.36</u>	4.34	4.36
9	24	地域・家庭・学校が一体となって、子どもが健全に育つ環境づくりを行っていること	<u>4.19</u>	4.19	<u>4.24</u>	4.20	4.23
10	23	高齢者や障害者が安心してまちに出かけられること	<u>4.18</u>	4.18	4.18	4.18	4.22
11	13	家庭や地域において、地震などの自然災害に対する自主的な備えができていること	4.16	4.19	4.21	<u>4.23</u>	4.13
12	21	障害者が住み慣れた地域で自分に合った支援サービスを受けられること	4.10	<u>4.14</u>	<u>4.14</u>	4.13	4.18
13	2	電車、バス、タクシーなどの公共的な交通機関が利用しやすいこと	4.07	<u>4.08</u>	<u>4.08</u>	4.06	<u>4.12</u>
14	32	いろいろな働き方が用意され、自分の生活に合った就業ができること	<u>4.03</u>	4.00	4.08	<u>4.10</u>	4.05
15	25	イライラやストレスなど精神的緊張が少ないこと	<u>4.01</u>	3.98	4.02	<u>4.02</u>	<u>4.01</u>
16	18	市町村の政治に住民の要望や意見が十分採り入れられること	4.00	4.03	4.06	<u>4.08</u>	4.07
17	8	文化遺産や史跡が大事にされること	3.96	3.97	<u>4.00</u>	3.98	<u>4.01</u>
18	5	小・中学校で子どもの能力を伸ばす教育が受けられること	3.95	3.98	<u>4.00</u>	3.96	3.97
19	1	品揃えの豊富な店が近くにあること	<u>3.92</u>	<u>3.90</u>	<u>3.89</u>	3.88	<u>3.91</u>
20	26	自分の住む地域の景観や町並みが美しいこと	3.92	3.92	3.93	<u>3.95</u>	3.94
21	30	保育所の数や定員を増やすことにより、待機児童を解消すること	3.91	3.94	—	—	—
22	28	ゴミのリサイクルのしくみが整っていること	3.90	3.92	3.92	3.93	3.93
23	15	自分が住んでいる地域に活気があり、魅力のある地域になっていること	<u>3.84</u>	3.82	<u>3.89</u>	<u>3.87</u>	<u>3.85</u>
24	6	高校で生徒一人ひとりに適した教育が受けられること	3.82	3.83	<u>3.84</u>	<u>3.83</u>	3.81
25	9	生涯を通じて教養を高め、趣味を広げられること	3.81	3.82	<u>3.83</u>	3.82	3.84
26	31	県内で買いたいものが販売されていること	<u>3.77</u>	3.75	3.80	<u>3.84</u>	3.79
27	27	一人ひとりが普通の生活においてCO ₂ 削減に取り組むこと	3.74	3.76	3.77	<u>3.82</u>	3.80
28	17	男女がそれぞれの個性と能力を十分に発揮できる社会が実現すること	3.70	<u>3.73</u>	<u>3.71</u>	<u>3.69</u>	3.68
29	10	公園や運動施設・グラウンドなどが利用しやすいこと	3.55	<u>3.55</u>	<u>3.55</u>	<u>3.53</u>	3.51
30	3	休日の道路の渋滞が解消され、自動車での外出が快適なこと	<u>3.42</u>	<u>3.40</u>	<u>3.39</u>	3.34	3.34
31	4	平日の道路の渋滞が解消され、自動車での外出が快適なこと	<u>3.41</u>	<u>3.39</u>	<u>3.36</u>	<u>3.35</u>	<u>3.34</u>
32	16	ボランティア・NPO活動に気軽に参加できること	3.06	3.08	3.08	3.09	3.10
項目全体の平均			3.98	3.99	<u>4.02</u>	4.01	4.01

(注) 集計結果は「県全体」の平成 26 年度の結果が大きい項目順に並べている。点数表記は小数第 2 位までだが、順位は小数第 3 位以下も考慮し決定している。下線は前年度より重要度が上昇したこと、網掛けは 3 年間連続で重要度が上昇したことを意味しており、比較の際に小数第 3 位以下も考慮しているため、前年度と点数が同じ場合にも下線を付していることがある。なお、「—」は前年度以前において未調査のため数値がないことを示している。

医療、暮らしの安全にかかわる項目の重要度が高くなっています。平成 25 年度と比較すると、上位 10 項目のうち、「24. 地域・家庭・学校が一体となって、子どもが健全に育つ環境づくりを行っていること」、「23. 高齢者や障害者が安心してまちに出かけられること」の重要度が高くなっています。

(2) 満足度の順位

図表 県全体の満足度の順位（平成 26 年度調査の満足度の高い順）

順位	項目 番号	項目	満足度				
			H26	H25	H24	H23	H22
1	8	文化遺産や史跡が大事にされること	<u>3.53</u>	<u>3.53</u>	3.57	3.55	3.51
2	28	ゴミのリサイクルのしくみが整っていること	3.20	3.19	3.13	<u>3.08</u>	3.11
3	26	自分の住む地域の景観や町並みが美しいこと	3.17	<u>3.17</u>	3.18	<u>3.13</u>	3.16
4	14	住民が犯罪に遭うことがなく、その不安も感じることなく暮らせること	3.13	3.08	3.05	3.05	3.03
5	12	食品や薬品などの商品・サービスの安全性が確保されていること	3.11	3.09	<u>3.20</u>	3.25	3.25
6	4	平日の道路の渋滞が解消され、自動車での外出が快適なこと	3.09	<u>3.06</u>	3.13	<u>3.07</u>	3.09
7	1	品揃えの豊富な店が近くにあること	<u>3.07</u>	<u>3.09</u>	3.03	<u>3.00</u>	3.10
8	9	生涯を通じて教養を高め、趣味を広げられること	3.03	<u>2.99</u>	3.01	3.00	2.99
9	2	電車、バス、タクシーなどの公共的な交通機関が利用しやすいこと	3.02	<u>3.01</u>	3.02	<u>2.92</u>	3.09
10	31	県内で買いたいものが販売されていること	<u>2.98</u>	2.99	<u>2.97</u>	2.98	2.98
11	3	休日の道路の渋滞が解消され、自動車での外出が快適なこと	2.98	<u>2.93</u>	3.02	<u>2.93</u>	<u>2.94</u>
12	25	イライラやストレスなど精神的緊張が少ないこと	2.96	<u>2.95</u>	2.91	<u>2.89</u>	2.94
13	24	地域・家庭・学校が一体となって、子どもが健全に育つ環境づくりを行っていること	2.96	<u>2.94</u>	2.95	2.92	<u>2.92</u>
14	7	子どもたちが、暴力行為・いじめなどを行わないこと	2.95	<u>2.90</u>	<u>2.90</u>	2.94	2.90
15	5	小・中学校で子どもの能力を伸ばす教育が受けられること	2.93	2.89	<u>2.88</u>	2.90	2.89
16	6	高校で生徒一人ひとりに適した教育が受けられること	2.93	2.89	<u>2.86</u>	2.89	2.87
17	10	公園や運動施設・グラウンドなどが利用しやすいこと	<u>2.90</u>	2.93	2.86	<u>2.84</u>	2.88
18	30	保育所の数や定員を増やすことにより、待機児童を解消すること	2.89	2.88	—	—	—
19	22	高齢者やその家族が住み慣れた地域で適切な介護サービスを受けられること	2.89	2.89	2.88	2.84	2.82
20	27	一人ひとりが普段の生活においてCO ₂ 削減に取り組むこと	2.88	2.85	2.83	<u>2.78</u>	2.85
21	16	ボランティア・NPO活動に気軽に参加できること	2.85	2.83	2.82	<u>2.78</u>	2.80
22	21	障害者が住み慣れた地域で自分に合った支援サービスを受けられること	2.84	2.80	2.78	2.77	2.75
23	19	急病時に診てもらえる医療機関があること	2.80	<u>2.73</u>	2.75	<u>2.67</u>	2.70
24	17	男女がそれぞれの個性と能力を十分に発揮できる社会が実現すること	2.79	<u>2.76</u>	<u>2.76</u>	<u>2.77</u>	2.78
25	23	高齢者や障害者が安心してまちに出かけられること	2.77	<u>2.73</u>	2.74	<u>2.67</u>	2.71
26	11	地震、台風、火災などへの対策がしっかりしていること	2.77	2.72	2.67	<u>2.65</u>	2.79
27	20	安心して子どもを出産できる医療体制が整っていること	2.72	2.65	2.61	2.54	2.51
28	13	家庭や地域において、地震などの自然災害に対する自主的な備えができていないこと	2.71	<u>2.65</u>	2.70	<u>2.65</u>	2.76
29	15	自分が住んでいる地域に活気があり、魅力のある地域になっていること	2.70	2.68	2.63	<u>2.62</u>	<u>2.65</u>
30	29	失業の不安がなく働けること	2.68	2.61	2.57	2.53	2.51
31	32	いろいろな働き方が用意され、自分の生活に合った就業ができること	2.59	2.54	2.52	<u>2.47</u>	2.48
32	18	市町村の政治に住民の要望や意見が十分採り入れられること	2.57	<u>2.53</u>	2.53	<u>2.45</u>	2.52
項目全体の平均			2.92	2.89	2.89	<u>2.86</u>	2.88

（注）集計結果は「県全体」の平成 26 年度の結果が大きい項目順に並べている。点数表記は小数第 2 位までだが、順位は小数第 3 位以下も考慮し決定している。下線は前年度より満足度が低下したこと、網掛けは 3 年間連続で満足度が低下したことを意味しており、比較の際に小数第 3 位以下も考慮しているため、前年度と点数が同じ場合にも下線を付していることがある。なお、「—」は前年度以前において未調査のため数値がないことを示している。

政治への住民意向の反映、就業、地域の活性化に関する満足度が低くなっています。平成 25 年度と比較すると、下位 5 項目のうちいずれの項目も満足度が上昇しています。

(3) ニーズ得点の順位

図表 県全体のニーズ得点の順位（平成 26 年度調査のニーズ得点の高い順）

順位	項目番号	項目	ニーズ得点				
			H26	H25	H24	H23	H22
1	19	急病時に診てもらえる医療機関があること	14.61	<u>15.15</u>	15.08	<u>15.34</u>	15.22
2	11	地震、台風、火災などへの対策がしっかりしていること	14.18	14.39	14.83	<u>14.93</u>	14.02
3	20	安心して子どもを出産できる医療体制が整っていること	14.09	14.47	14.82	15.13	15.38
4	29	失業の不安がなく働けること	14.07	14.52	14.97	15.05	15.25
5	32	いろいろな働き方が用意され、自分の生活に合った就業ができること	13.76	13.81	14.23	<u>14.49</u>	14.23
6	18	市町村の政治に住民の要望や意見が十分採り入れられること	13.73	13.98	14.10	<u>14.48</u>	14.16
7	13	家庭や地域において、地震などの自然災害に対する自主的な備えができていること	13.69	<u>14.05</u>	13.89	<u>14.17</u>	13.40
8	7	子どもたちが、暴力行為・いじめなどを行わないこと	13.51	<u>13.83</u>	<u>13.73</u>	13.56	13.69
9	22	高齢者やその家族が住み慣れた地域で適切な介護サービスを受けられること	13.51	13.60	13.63	13.74	13.95
10	23	高齢者や障害者が安心してまちに出かけられること	13.50	<u>13.64</u>	13.62	13.89	13.90
11	21	障害者が住み慣れた地域で自分に合った支援サービスを受けられること	12.96	13.26	13.32	13.34	13.57
12	14	住民が犯罪に遭うことがなく、その不安も感じることなく暮らせること	12.91	13.25	<u>13.49</u>	13.34	13.39
13	24	地域・家庭・学校が一体となって、子どもが健全に育つ環境づくりを行っていること	12.75	12.82	12.94	12.95	13.02
14	15	自分が住んでいる地域に活気があり、魅力のある地域になっていること	12.67	12.69	<u>13.12</u>	<u>13.08</u>	<u>12.89</u>
15	12	食品や薬品などの商品・サービスの安全性が確保されていること	12.37	<u>12.57</u>	<u>12.06</u>	11.82	11.90
16	25	イライラやストレスなど精神的緊張が少ないこと	<u>12.19</u>	12.16	12.39	<u>12.52</u>	12.26
17	30	保育所の数や定員を増やすことにより、待機児童を解消すること	12.17	12.27	—	—	—
18	2	電車、バス、タクシーなどの公共的な交通機関が利用しやすいこと	12.12	<u>12.20</u>	12.15	<u>12.51</u>	12.00
19	5	小・中学校で子どもの能力を伸ばす教育が受けられること	12.10	12.39	<u>12.48</u>	12.27	12.34
20	17	男女がそれぞれの個性と能力を十分に発揮できる社会が実現すること	11.87	<u>12.10</u>	<u>12.00</u>	<u>11.90</u>	11.85
21	6	高校で生徒一人ひとりに適した教育が受けられること	11.75	11.94	<u>12.06</u>	11.89	11.94
22	27	一人ひとりが普段の生活においてＣＯ２削減に取り組むこと	11.69	11.86	11.97	<u>12.29</u>	12.18
23	1	品揃えの豊富な店が近くにあること	<u>11.47</u>	11.33	11.55	<u>11.62</u>	11.37
24	31	県内で買いたいものが販売されていること	<u>11.40</u>	11.28	11.52	<u>11.58</u>	11.44
25	9	生涯を通じて教養を高め、趣味を広げられること	11.34	<u>11.47</u>	11.45	11.48	11.58
26	26	自分の住む地域の景観や町並みが美しいこと	11.09	<u>11.11</u>	11.09	<u>11.35</u>	11.18
27	10	公園や運動施設・グラウンドなどが利用しやすいこと	<u>10.98</u>	10.91	11.14	<u>11.16</u>	10.96
28	28	ゴミのリサイクルのしくみが整っていること	10.90	11.03	11.26	<u>11.49</u>	11.36
29	3	休日の道路の渋滞が解消され、自動車での外出が快適なこと	10.33	<u>10.44</u>	10.10	<u>10.25</u>	10.22
30	4	平日の道路の渋滞が解消され、自動車での外出が快適なこと	9.92	<u>9.95</u>	9.63	<u>9.83</u>	9.72
31	8	文化遺産や史跡が大事にされること	9.78	<u>9.81</u>	9.73	9.73	10.00
32	16	ボランティア・ＮＰＯ活動に気軽に参加できること	9.64	9.78	9.81	<u>9.95</u>	9.76
項目全体の平均			12.28	12.44	12.52	<u>12.62</u>	12.52

(注) 集計結果は「県全体」の平成 26 年度の結果が大きい項目順に並べている。点数表記は小数第 2 位までだが、順位は小数第 3 位以下も考慮し決定している。下線は前年度よりニーズ得点が増加したこと、網掛けは 3 年間連続でニーズ得点が増加したことを意味しており、比較の際に小数第 3 位以下も考慮しているため、前年度と点数が同じ場合にも下線を付していることがある。なお、「—」は前年度以前において未調査のため数値がないことを示している。

医療、暮らしの安全、就業に関するニーズ得点が高くなっています。平成 25 年度と比較すると、上位 5 項目のうちいずれの項目もニーズ得点が低くなっています。

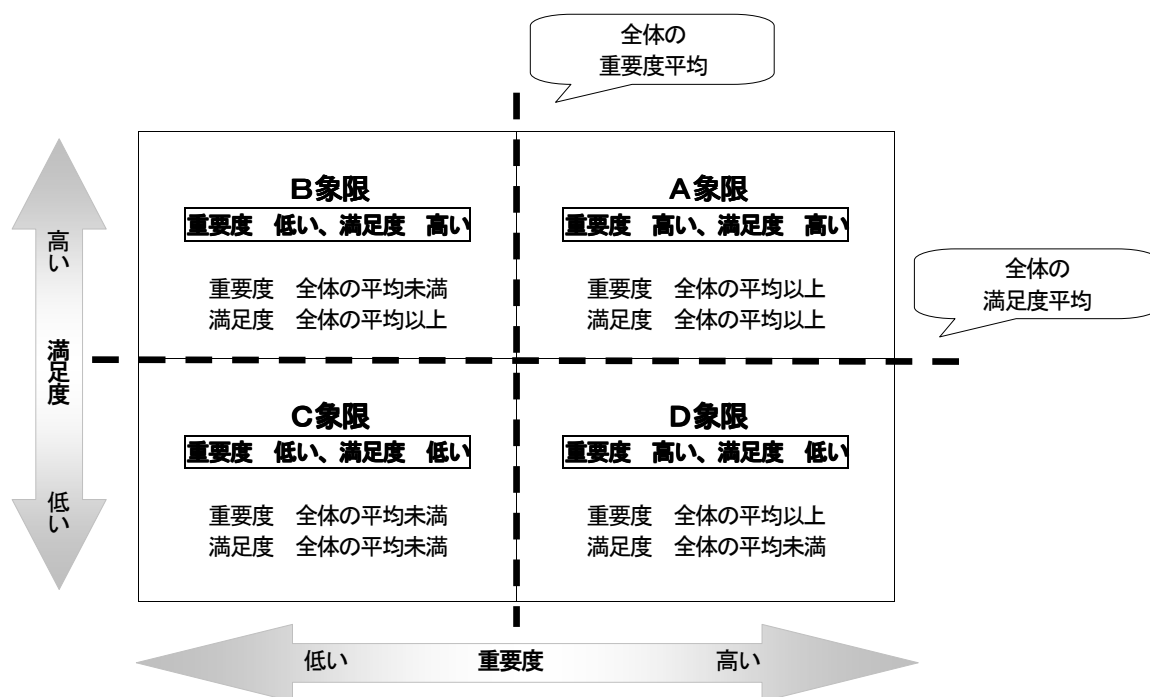
2-2 県全体の重要度と満足度の関係

(1) 重要度と満足度の関係についての考え方

「県民の身近な生活に関する項目」32項目全体での重要度と満足度の平均点を求め、各平均点と32項目それぞれの重要度・満足度の対応を分析します。

32項目それぞれの重要度・満足度の評価は、「重要度が高く、満足度が高い（A象限）」「重要度が低く、満足度が高い（B象限）」「重要度が低く、満足度が低い（C象限）」「重要度が高く、満足度が低い（D象限）」という4つの象限でその関係を整理することができます。

図表 全体の重要度と満足度の平均点及び32項目の重要度と満足度の関係図



32項目それぞれがどの象限に位置し、重要度と満足度の平均点に対して重要度あるいは満足度が高いのか、低いのかを検討する際には、以下の点に留意する必要があります。今回の調査の重要度・満足度それぞれの評価の中間は「どちらともいえない＝3.00」ですが、例えば県全体の32項目全体での重要度の平均点は3.98、満足度の平均点は2.92です。重要度は「かなり重要」、満足度は「あまり満たされていない」という評価だといえます。

このことから、重要度については、全体の重要度の平均点（3.98）が「どちらともいえない」よりも高いことから、全体の重要度の平均点と「どちらともいえない」の間に属する項目は、全体の重要度に比べて低い評価になりますが、今回の調査では32項目すべてが3.01以上であり、すべての項目が「重要である」という評価だということになります。

また、満足度については、全体の満足度の平均点（2.92）が「どちらともいえない＝3.00」よりも低いことから、全体の満足度の平均点と（「どちらともいえない」）の間に属する項目は、全体の満足度に比べて高い評価になりますが、厳密には、「あまり満たされていないが、全体の満足度の平均点からみると満足度は高いほうだ」という解釈ができることになります。

(2) 県民の身近な生活に関する 32 項目の重要度と満足度の関係

項目と項目の略称との対応及び重要度・満足度・ニーズ得点の一覧（ニーズ得点の多い順）

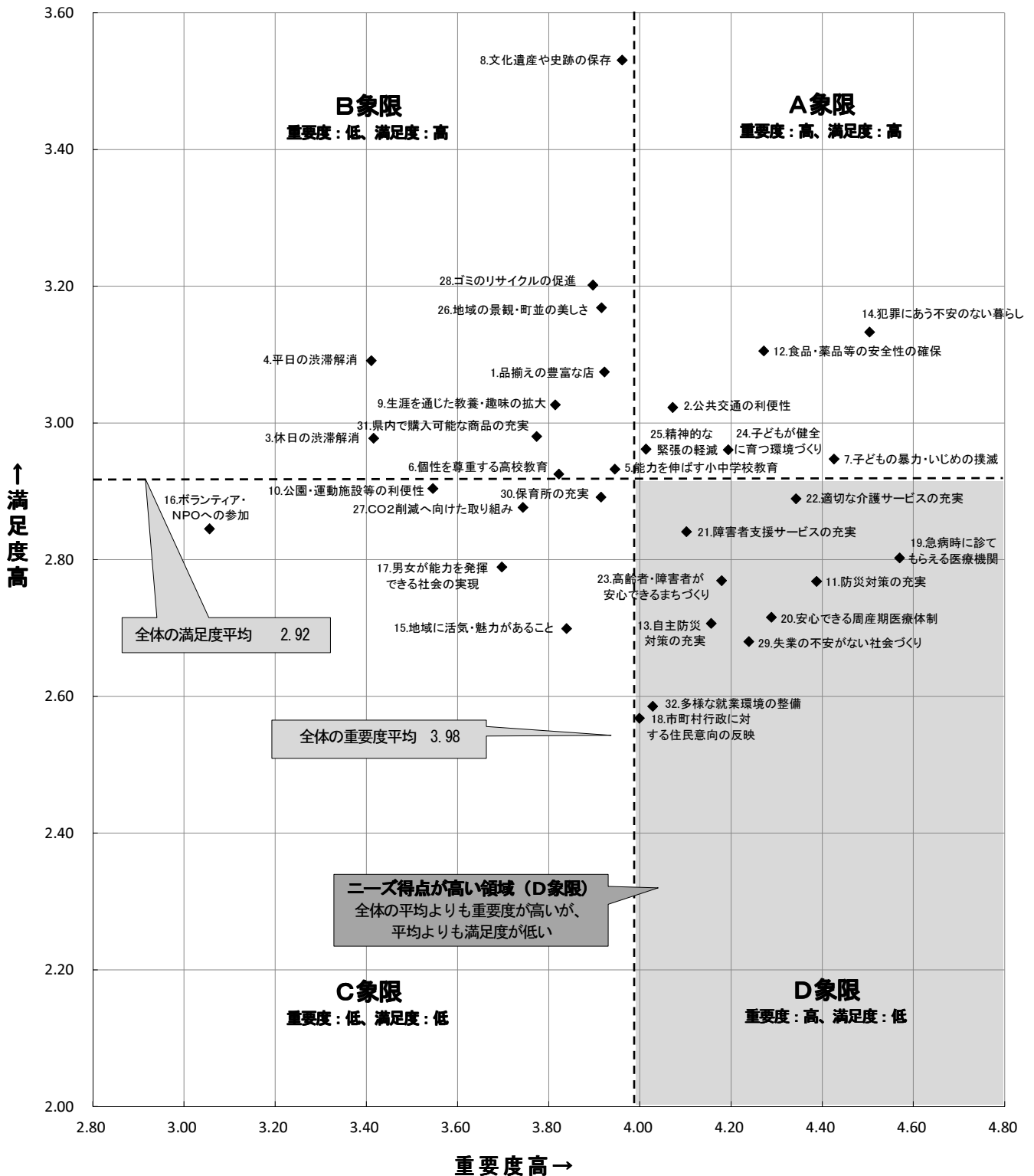
①県全体

順位	項目番号	項目	項目の略称	重要度	満足度	ニーズ得点
1	19	急病時に診てもらえる医療機関があること	急病時に診てもらえる医療機関	4.57	2.80	14.61
2	11	地震、台風、火災などへの対策がしっかりしていること	防災対策の充実	4.39	2.77	14.18
3	20	安心して子どもを出産できる医療体制が整っていること	安心できる周産期医療体制	4.29	2.72	14.09
4	29	失業の不安がなく働けること	失業の不安がない社会づくり	4.24	2.68	14.07
5	32	いろいろな働き方が用意され、自分の生活に合った就業ができること	多様な就業環境の整備	4.03	2.59	13.76
6	18	市町村の政治に住民の要望や意見が十分採り入れられること	市町村行政に対する住民意向の反映	4.00	2.57	13.73
7	13	家庭や地域において、地震などの自然災害に対する自主的な備えができていないこと	自主防災対策の充実	4.16	2.71	13.69
8	7	子どもたちが、暴力行為・いじめなどを行わないこと	子どもの暴力・いじめの撲滅	4.43	2.95	13.51
9	22	高齢者やその家族が住み慣れた地域で適切な介護サービスを受けられること	適切な介護サービスの充実	4.34	2.89	13.51
10	23	高齢者や障害者が安心してまちに出かけられること	高齢者・障害者が安心できるまちづくり	4.18	2.77	13.50
11	21	障害者が住み慣れた地域で自分に合った支援サービスを受けられること	障害者支援サービスの充実	4.10	2.84	12.96
12	14	住民が犯罪に遭うことがなく、その不安も感じることなく暮らせること	犯罪にあう不安のない暮らし	4.50	3.13	12.91
13	24	地域・家庭・学校が一体となって、子どもが健全に育つ環境づくりを行っていること	子どもが健全に育つ環境づくり	4.19	2.96	12.75
14	15	自分が住んでいる地域に活気があり、魅力のある地域になっていること	地域に活気・魅力があること	3.84	2.70	12.67
15	12	食品や薬品などの商品・サービスの安全性が確保されていること	食品・薬品等の安全性の確保	4.27	3.11	12.37
16	25	イライラやストレスなど精神的緊張が少ないこと	精神的な緊張の軽減	4.01	2.96	12.19
17	30	保育所の数や定員を増やすことにより、待機児童を解消すること	保育所の充実	3.91	2.89	12.17
18	2	電車、バス、タクシーなどの公共的な交通機関が利用しやすいこと	公共交通の利便性	4.07	3.02	12.12
19	5	小・中学校で子どもの能力を伸ばす教育が受けられること	能力を伸ばす小中学校教育	3.95	2.93	12.10
20	17	男女がそれぞれの個性と能力を十分に発揮できる社会が実現すること	男女が能力を発揮できる社会の実現	3.70	2.79	11.87
21	6	高校で生徒一人ひとりに適した教育が受けられること	個性を尊重する高校教育	3.82	2.93	11.75
22	27	一人ひとりが普段の生活においてCO ₂ 削減に取り組むこと	CO ₂ 削減へ向けた取り組み	3.74	2.88	11.69
23	1	品揃えの豊富な店が近くにあること	品揃えの豊富な店	3.92	3.07	11.47
24	31	県内で買いたいものが販売されていること	県内で購入可能な商品の充実	3.77	2.98	11.40
25	9	生涯を通じて教養を高め、趣味を広げられること	生涯を通じた教養・趣味の拡大	3.81	3.03	11.34
26	26	自分の住む地域の景観や町並みが美しいこと	地域の景観・町並の美しさ	3.92	3.17	11.09
27	10	公園や運動施設・グラウンドなどが利用しやすいこと	公園・運動施設等の利便性	3.55	2.90	10.98
28	28	ゴミのリサイクルのしくみが整っていること	ゴミのリサイクルの促進	3.90	3.20	10.90
29	3	休日の道路の渋滞が解消され、自動車での外出が快適なこと	休日の渋滞解消	3.42	2.98	10.33
30	4	平日の道路の渋滞が解消され、自動車での外出が快適なこと	平日の渋滞解消	3.41	3.09	9.92
31	8	文化遺産や史跡が大事にされること	文化遺産や史跡の保存	3.96	3.53	9.78
32	16	ボランティア・NPO活動に気軽に参加できること	ボランティア・NPOへの参加	3.06	2.85	9.64
項目全体の平均				3.98	2.92	12.28

(注) 点数表記は小数第2位までだが、順位は小数第3位以下も考慮し決定している。

今回調査の重要度と満足度の関係図

①県全体



「19. 急病時に診てもらえる医療機関」、「11. 防災対策の充実」、「20. 安心できる周産期医療体制」などのニーズ得点が高くなっています。

項目と項目の略称との対応及び重要度・満足度・ニーズ得点の一覧（ニーズ得点の多い順）

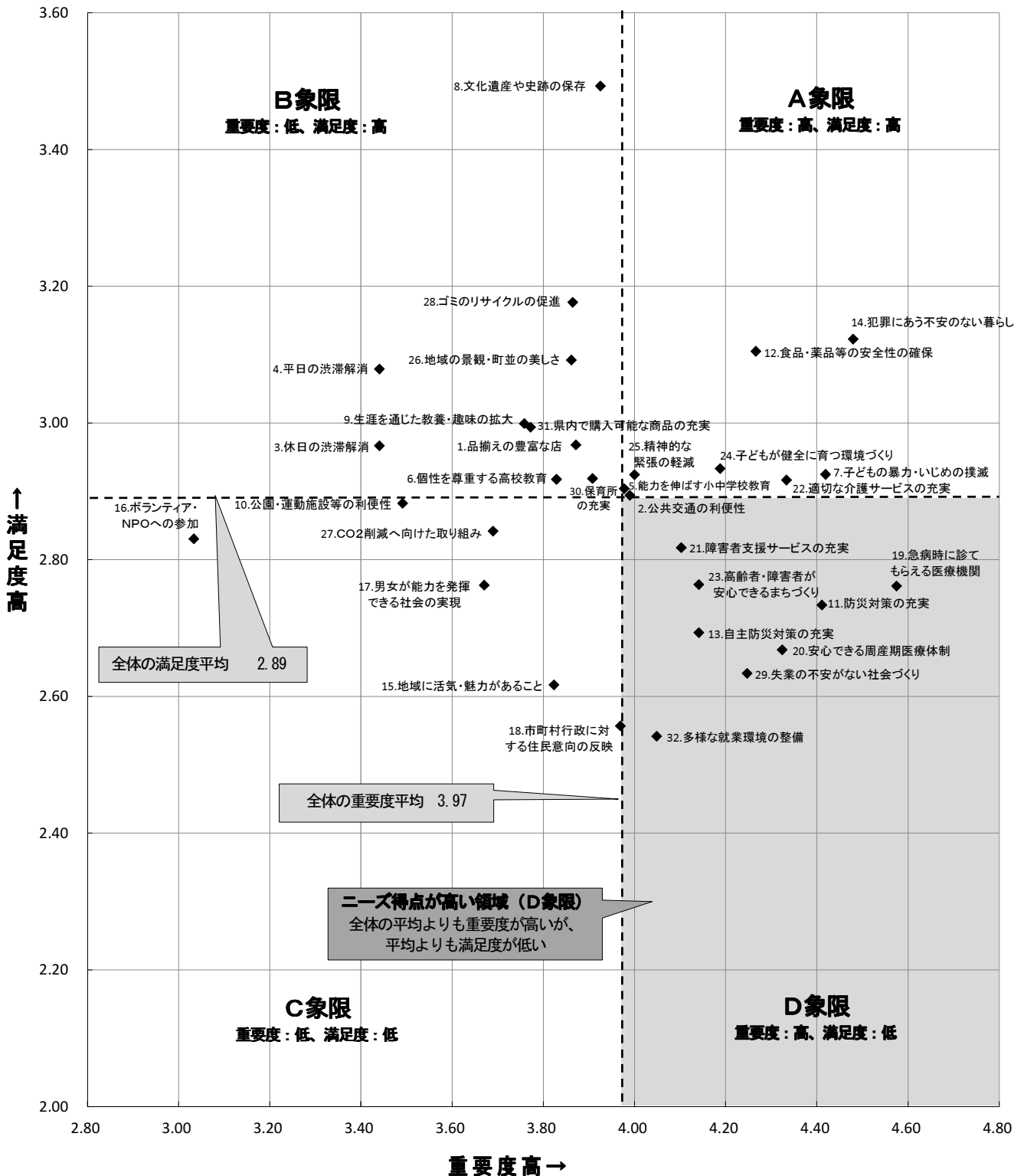
②旧住民・新住別_奈良県にずっと住んでいる人

順位	項目番号	項目	項目の略称	重要度	満足度	ニーズ得点
1	19	急病時に診てもらえる医療機関があること	急病時に診てもらえる医療機関	4.57	2.76	14.82
2	11	地震、台風、火災などへの対策がしっかりしていること	防災対策の充実	4.41	2.73	14.41
3	20	安心して子どもを出産できる医療体制が整っていること	安心できる周産期医療体制	4.32	2.67	14.41
4	29	失業の不安がなく働けること	失業の不安がない社会づくり	4.25	2.63	14.30
5	32	いろいろな働き方が用意され、自分の生活に合った就業ができること	多様な就業環境の整備	4.05	2.54	14.00
6	13	家庭や地域において、地震などの自然災害に対する自主的な備えができていること	自主防災対策の充実	4.14	2.69	13.69
7	18	市町村の政治に住民の要望や意見が十分採り入れられること	市町村行政に対する住民意向の反映	3.97	2.56	13.67
8	7	子どもたちが、暴力行為・いじめなどを行わないこと	子どもの暴力・いじめの撲滅	4.42	2.92	13.59
9	23	高齢者や障害者が安心してまちに出かけられること	高齢者・障害者が安心できるまちづくり	4.14	2.76	13.40
10	22	高齢者やその家族が住み慣れた地域で適切な介護サービスを受けられること	適切な介護サービスの充実	4.33	2.92	13.36
11	21	障害者が犯罪に遭うことがなく、自分に合った支援サービスを受けられること	障害者支援サービスの充実	4.10	2.82	13.06
12	15	自分が住んでいる地域に活気があり、魅力のある地域になっていること	地域に活気・魅力があること	3.82	2.62	12.93
13	14	住民が犯罪に遭うことがなく、その不安も感じることなく暮らせること	犯罪にあう不安のない暮らし	4.48	3.12	12.89
14	24	地域・家庭・学校が一体となって、子どもが健全に育つ環境づくりを行っていること	子どもが健全に育つ環境づくり	4.19	2.93	12.84
15	2	電車、バス、タクシーなどの公共的な交通機関が利用しやすいこと	公共交通の利便性	3.99	2.89	12.39
16	12	食品や薬品などの商品・サービスの安全性が確保されていること	食品・薬品等の安全性の確保	4.27	3.10	12.35
17	5	小・中学校で子どもの能力を伸ばす教育が受けられること	能力を伸ばす小中学校教育	3.98	2.90	12.31
18	25	イライラやストレスなど精神的緊張が少ないこと	精神的な緊張の軽減	4.00	2.92	12.30
19	30	保育所の数や定員を増やすことにより、待機児童を解消すること	保育所の充実	3.91	2.92	12.04
20	17	男女がそれぞれの個性と能力を十分に発揮できる社会が実現すること	男女が能力を発揮できる社会の実現	3.67	2.76	11.88
21	6	高校で生徒一人ひとりに適した教育が受けられること	個性を尊重する高校教育	3.83	2.92	11.80
22	1	品揃えの豊富な店が近くにあること	品揃えの豊富な店	3.87	2.97	11.74
23	27	一人ひとりが普段の生活においてCO ₂ 削減に取り組むこと	CO ₂ 削減へ向けた取り組み	3.69	2.84	11.65
24	31	県内で買いたいものが販売されていること	県内で購入可能な商品の充実	3.77	2.99	11.34
25	9	生涯を通じて教養を高め、趣味を広げられること	生涯を通じた教養・趣味の拡大	3.76	3.00	11.28
26	26	自分の住む地域の景観や町並みが美しいこと	地域の景観・町並の美しさ	3.86	3.09	11.23
27	28	ゴミのリサイクルのしくみが整っていること	ゴミのリサイクルの促進	3.86	3.18	10.91
28	10	公園や運動施設・グラウンドなどが利用しやすいこと	公園・運動施設等の利便性	3.49	2.88	10.88
29	3	休日の道路の渋滞が解消され、自動車での外出が快適なこと	休日の渋滞解消	3.44	2.97	10.44
30	4	平日の道路の渋滞が解消され、自動車での外出が快適なこと	平日の渋滞解消	3.44	3.08	10.05
31	8	文化遺産や史跡が大事にされること	文化遺産や史跡の保存	3.93	3.49	9.84
32	16	ボランティア・NPO活動に気軽に参加できること	ボランティア・NPOへの参加	3.03	2.83	9.61
項目全体の平均				3.97	2.89	12.36

（注）点数表記は小数第2位までだが、順位は小数第3位以下も考慮し決定している。

今回調査の重要度と満足度の関係図

②旧住民・新住別_奈良県にずっと住んでいる人



『奈良県にずっと住んでいる人』においては、「19. 急病時に診てもらえる医療機関」、「11. 防災対策の充実」「20. 安心できる周産期医療体制」などのニーズ得点が高くなっています。

項目と項目の略称との対応及び重要度・満足度・ニーズ得点の一覧（ニーズ得点の多い順）

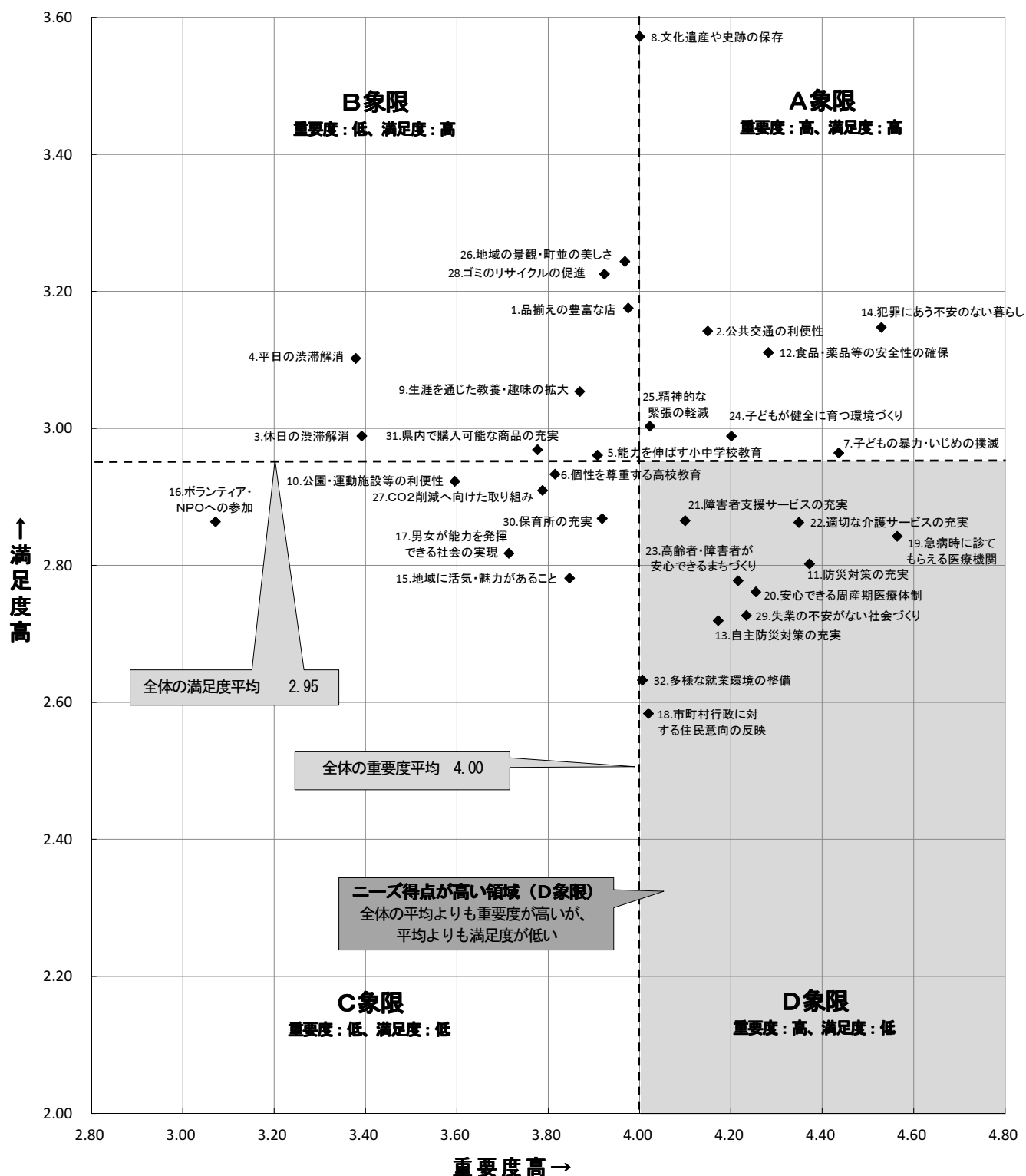
②旧住民・新住別_奈良県に新しくきた人

順位	項目番号	項目	項目の略称	重要度	満足度	ニーズ得点
1	19	急病時に診てもらえる医療機関があること	急病時に診てもらえる医療機関	4.56	2.84	14.41
2	11	地震、台風、火災などへの対策がしっかりしていること	防災対策の充実	4.37	2.80	13.98
3	29	失業の不安がなく働けること	失業の不安がない社会づくり	4.23	2.73	13.86
4	20	安心して子どもを出産できる医療体制が整っていること	安心できる周産期医療体制	4.25	2.76	13.78
5	18	市町村の政治に住民の要望や意見が十分採り入れられること	市町村行政に対する住民意向の反映	4.02	2.58	13.73
6	13	家庭や地域において、地震などの自然災害に対する自主的な備えができていないこと	自主防災対策の充実	4.17	2.72	13.69
7	22	高齢者やその家族が住み慣れた地域で適切な介護サービスを受けられること	適切な介護サービスの充実	4.35	2.86	13.64
8	23	高齢者や障害者が安心してまちに出かけられること	高齢者・障害者が安心できるまちづくり	4.22	2.78	13.58
9	32	いろいろな働き方が用意され、自分の生活に合った就業ができること	多様な就業環境の整備	4.01	2.63	13.49
10	7	子どもたちが、暴力行為・いじめなどを行わないこと	子どもの暴力・いじめの撲滅	4.44	2.96	13.47
11	14	住民が犯罪に遭うことがなく、その不安も感じることなく暮らせること	犯罪にあう不安のない暮らし	4.53	3.15	12.92
12	21	障害者が住み慣れた地域で自分に合った支援サービスを受けられること	障害者支援サービスの充実	4.10	2.87	12.85
13	24	地域・家庭・学校が一体となって、子どもが健全に育つ環境づくりを行っていること	子どもが健全に育つ環境づくり	4.20	2.99	12.65
14	15	自分が住んでいる地域に活気があり、魅力のある地域になっていること	地域に活気・魅力があること	3.85	2.78	12.38
15	12	食品や薬品などの商品・サービスの安全性が確保されていること	食品・薬品等の安全性の確保	4.28	3.11	12.37
16	30	保育所の数や定員を増やすことにより、待機児童を解消すること	保育所の充実	3.92	2.87	12.27
17	25	イライラやストレスなど精神的緊張が少ないこと	精神的な緊張の軽減	4.02	3.00	12.05
18	5	小・中学校で子どもの能力を伸ばす教育が受けられること	能力を伸ばす小中学校教育	3.91	2.96	11.88
19	2	電車、バス、タクシーなどの公共的な交通機関が利用しやすいこと	公共交通の利便性	4.15	3.14	11.86
20	17	男女がそれぞれの個性と能力を十分に発揮できる社会が実現すること	男女が能力を発揮できる社会の実現	3.71	2.82	11.82
21	27	一人ひとりが普段の生活においてCO ₂ 削減に取り組むこと	CO ₂ 削減へ向けた取り組み	3.79	2.91	11.71
22	6	高校で生徒一人ひとりに適した教育が受けられること	個性を尊重する高校教育	3.81	2.93	11.70
23	31	県内で買いたいものが販売されていること	県内で購入可能な商品の充実	3.78	2.97	11.45
24	9	生涯を通じて教養を高め、趣味を広げられること	生涯を通じた教養・趣味の拡大	3.87	3.05	11.40
25	1	品揃えの豊富な店が近くにあること	品揃えの豊富な店	3.98	3.18	11.23
26	10	公園や運動施設・グラウンドなどが利用しやすいこと	公園・運動施設等の利便性	3.60	2.92	11.07
27	26	自分の住む地域の景観や町並みが美しいこと	地域の景観・町並の美しさ	3.97	3.24	10.94
28	28	ゴミのリサイクルのしくみが整っていること	ゴミのリサイクルの促進	3.92	3.23	10.89
29	3	休日の道路の渋滞が解消され、自動車での外出が快適なこと	休日の渋滞解消	3.39	2.99	10.21
30	4	平日の道路の渋滞が解消され、自動車での外出が快適なこと	平日の渋滞解消	3.38	3.10	9.79
31	8	文化遺産や史跡が大事にされること	文化遺産や史跡の保存	4.00	3.57	9.71
32	16	ボランティア・NPO活動に気軽に参加できること	ボランティア・NPOへの参加	3.07	2.86	9.63
項目全体の平均				4.00	2.95	12.20

（注）点数表記は小数第2位までだが、順位は小数第3位以下も考慮し決定している。

今回調査の重要度と満足度の関係図

②旧住民・新住別_奈良県に新しくきた人



『奈良県に新しくきた人』においては、「19. 急病時に診てもらえる医療機関」、「11. 防災対策の充実」、「29. 失業の不安がない社会づくり」などのニーズ得点が高くなっています。

項目と項目の略称との対応及び重要度・満足度・ニーズ得点の一覧（ニーズ得点の多い順）

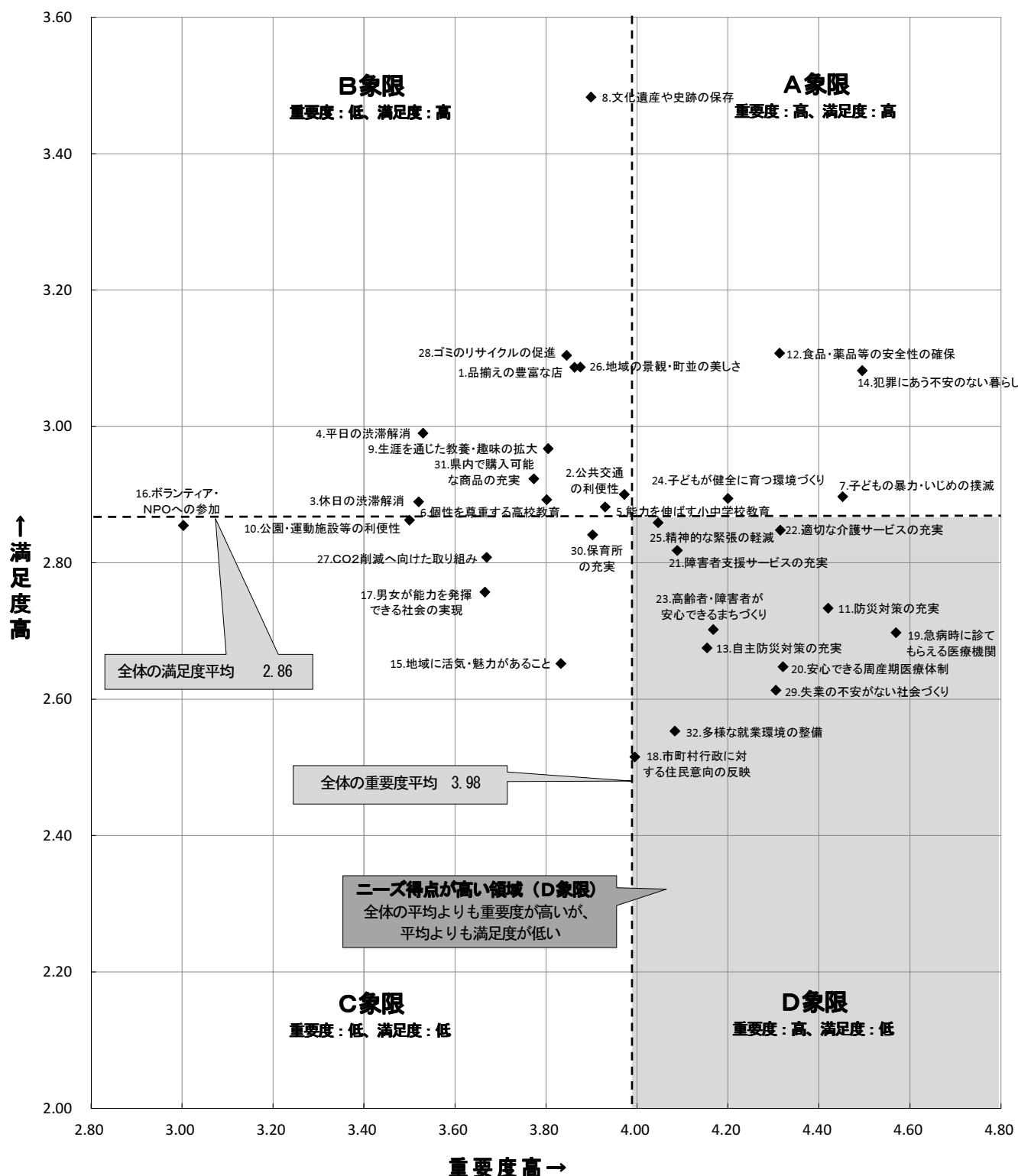
③奈良での就労別_奈良県内で働いている人

順位	項目番号	項目	項目の略称	重要度	満足度	ニーズ得点
1	19	急病時に診てもらえる医療機関があること	急病時に診てもらえる医療機関	4.57	2.70	15.09
2	29	失業の不安がなく働けること	失業の不安がない社会づくり	4.31	2.61	14.58
3	20	安心して子どもを出産できる医療体制が整っていること	安心できる周産期医療体制	4.32	2.65	14.49
4	11	地震、台風、火災などへの対策がしっかりしていること	防災対策の充実	4.42	2.73	14.44
5	32	いろいろな働き方が用意され、自分の生活に合った就業ができること	多様な就業環境の整備	4.08	2.55	14.07
6	18	市町村の政治に住民の要望や意見が十分採り入れられること	市町村行政に対する住民意向の反映	4.00	2.52	13.92
7	7	子どもたちが、暴力行為・いじめなどを行わないこと	子どもの暴力・いじめの撲滅	4.45	2.90	13.81
8	13	家庭や地域において、地震などの自然災害に対する自主的な備えができていないこと	自主防災対策の充実	4.15	2.68	13.81
9	23	高齢者や障害者が安心してまちに出かけられること	高齢者・障害者が安心できるまちづくり	4.17	2.70	13.75
10	22	高齢者やその家族が住み慣れた地域で適切な介護サービスを受けられること	適切な介護サービスの充実	4.31	2.85	13.60
11	14	住民が犯罪に遭うことがなく、その不安も感じることなく暮らせること	犯罪にあう不安のない暮らし	4.50	3.08	13.12
12	24	地域・家庭・学校が一体となって、子どもが健全に育つ環境づくりを行っていること	子どもが健全に育つ環境づくり	4.20	2.89	13.04
13	21	障害者が住み慣れた地域で自分に合った支援サービスを受けられること	障害者支援サービスの充実	4.09	2.82	13.01
14	15	自分が住んでいる地域に活気があり、魅力のある地域になっていること	地域に活気・魅力があること	3.83	2.65	12.83
15	25	イライラやストレスなど精神的緊張が少ないこと	精神的な緊張の軽減	4.05	2.86	12.71
16	12	食品や薬品などの商品・サービスの安全性が確保されていること	食品・薬品等の安全性の確保	4.31	3.11	12.48
17	30	保育所の数や定員を増やすことにより、待機児童を解消すること	保育所の充実	3.90	2.84	12.33
18	2	電車、バス、タクシーなどの公共的な交通機関が利用しやすいこと	公共交通の利便性	3.97	2.90	12.31
19	5	小・中学校で子どもの能力を伸ばす教育が受けられること	能力を伸ばす小中学校教育	3.93	2.88	12.25
20	17	男女がそれぞれの個性と能力を十分に発揮できる社会が実現すること	男女が能力を発揮できる社会の実現	3.67	2.76	11.89
21	6	高校で生徒一人ひとりに適した教育が受けられること	個性を尊重する高校教育	3.80	2.89	11.81
22	27	一人ひとりが普段の生活においてCO ₂ 削減に取り組むこと	CO ₂ 削減へ向けた取り組み	3.67	2.81	11.71
23	31	県内で買いたいものが販売されていること	県内で購入可能な商品の充実	3.77	2.92	11.61
24	9	生涯を通じて教養を高め、趣味を広げられること	生涯を通じた教養・趣味の拡大	3.80	2.97	11.54
25	26	自分の住む地域の景観や町並みが美しいこと	地域の景観・町並の美しさ	3.88	3.09	11.29
26	1	品揃えの豊富な店が近くにあること	品揃えの豊富な店	3.86	3.09	11.25
27	28	ゴミのリサイクルのしくみが整っていること	ゴミのリサイクルの促進	3.85	3.10	11.14
28	10	公園や運動施設・グラウンドなどが利用しやすいこと	公園・運動施設等の利便性	3.50	2.86	10.98
29	3	休日の道路の渋滞が解消され、自動車での外出が快適なこと	休日の渋滞解消	3.52	2.89	10.95
30	4	平日の道路の渋滞が解消され、自動車での外出が快適なこと	平日の渋滞解消	3.53	2.99	10.62
31	8	文化遺産や史跡が大事にされること	文化遺産や史跡の保存	3.90	3.48	9.81
32	16	ボランティア・NPO活動に気軽に参加できること	ボランティア・NPOへの参加	3.00	2.85	9.44
項目全体の平均				3.98	2.86	12.49

（注）点数表記は小数第2位までだが、順位は小数第3位以下も考慮し決定している。

今回調査の重要度と満足度の関係図

③奈良での就労別_奈良県内で働いている人



『奈良県内で働いている人』においては、「19. 急病時に診てもらえる医療機関」、「29. 失業の不安がない社会づくり」、「20. 安心できる周産期医療体制」などのニーズ得点が高くなっています。

項目と項目の略称との対応及び重要度・満足度・ニーズ得点の一覧（ニーズ得点の多い順）

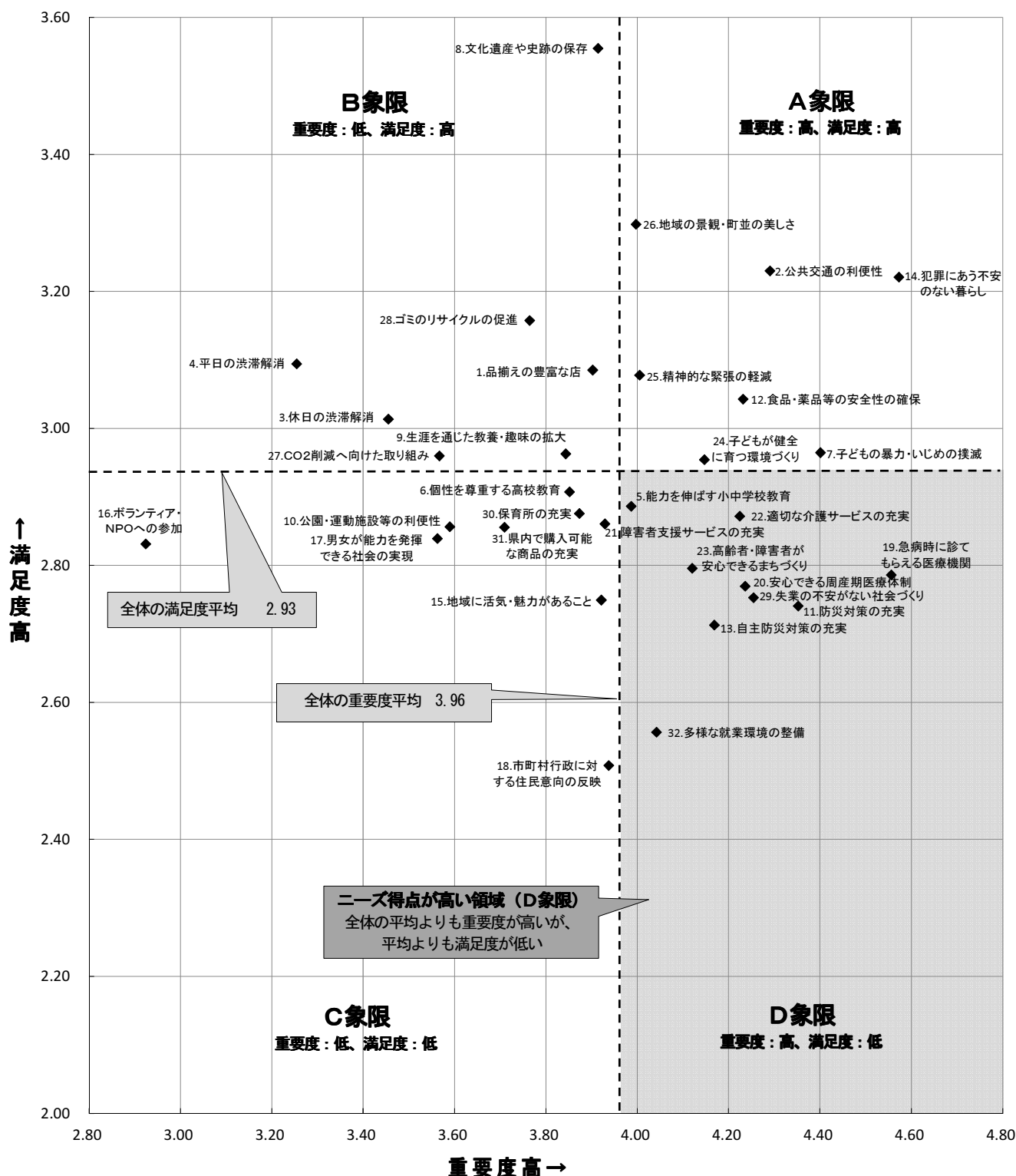
③奈良での就労別_奈良県外で働いている人

順位	項目番号	項目	項目の略称	重要度	満足度	ニーズ得点
1	19	急病時に診てもらえる医療機関があること	急病時に診てもらえる医療機関	4.56	2.79	14.64
2	11	地震、台風、火災などへの対策がしっかりしていること	防災対策の充実	4.35	2.74	14.19
3	32	いろいろな働き方が用意され、自分の生活に合った就業ができること	多様な就業環境の整備	4.04	2.56	13.92
4	29	失業の不安がなく働けること	失業の不安がない社会づくり	4.25	2.75	13.82
5	18	市町村の政治に住民の要望や意見が十分採り入れられること	市町村行政に対する住民意向の反映	3.94	2.51	13.75
6	13	家庭や地域において、地震などの自然災害に対する自主的な備えができていないこと	自主防災対策の充実	4.17	2.71	13.70
7	20	安心して子どもを出産できる医療体制が整っていること	安心できる周産期医療体制	4.24	2.77	13.69
8	7	子どもたちが、暴力行為・いじめなどを行わないこと	子どもの暴力・いじめの撲滅	4.40	2.96	13.36
9	22	高齢者やその家族が住み慣れた地域で適切な介護サービスを受けられること	適切な介護サービスの充実	4.22	2.87	13.22
10	23	高齢者や障害者が安心してまちに出かけられること	高齢者・障害者が安心できるまちづくり	4.12	2.80	13.20
11	15	自分が住んでいる地域に活気があり、魅力のある地域になっていること	地域に活気・魅力があること	3.92	2.75	12.75
12	14	住民が犯罪に遭うことがなく、その不安も感じることなく暮らせること	犯罪にあう不安のない暮らし	4.57	3.22	12.71
13	24	地域・家庭・学校が一体となって、子どもが健全に育つ環境づくりを行っていること	子どもが健全に育つ環境づくり	4.15	2.95	12.63
14	12	食品や薬品などの商品・サービスの安全性が確保されていること	食品・薬品等の安全性の確保	4.23	3.04	12.51
15	5	小・中学校で子どもの能力を伸ばす教育が受けられること	能力を伸ばす小中学校教育	3.99	2.89	12.41
16	21	障害者が住み慣れた地域で自分に合った支援サービスを受けられること	障害者支援サービスの充実	3.93	2.86	12.34
17	30	保育所の数や定員を増やすことにより、待機児童を解消すること	保育所の充実	3.87	2.88	12.10
18	6	高校で生徒一人ひとりに適した教育が受けられること	個性を尊重する高校教育	3.85	2.91	11.91
19	2	電車、バス、タクシーなどの公共的な交通機関が利用しやすいこと	公共交通の利便性	4.29	3.23	11.89
20	25	イライラやストレスなど精神的緊張が少ないこと	精神的な緊張の軽減	4.01	3.08	11.70
21	9	生涯を通じて教養を高め、趣味を広げられること	生涯を通じた教養・趣味の拡大	3.84	2.96	11.67
22	31	県内で買いたいものが販売されていること	県内で購入可能な商品の充実	3.71	2.86	11.66
23	1	品揃えの豊富な店が近くにあること	品揃えの豊富な店	3.90	3.09	11.38
24	10	公園や運動施設・グラウンドなどが利用しやすいこと	公園・運動施設等の利便性	3.59	2.86	11.28
25	17	男女がそれぞれの個性と能力を十分に発揮できる社会が実現すること	男女が能力を発揮できる社会の実現	3.56	2.84	11.26
26	27	一人ひとりが普段の生活においてCO ₂ 削減に取り組むこと	CO ₂ 削減へ向けた取り組み	3.57	2.96	10.84
27	26	自分の住む地域の景観や町並みが美しいこと	地域の景観・町並の美しさ	4.00	3.30	10.80
28	28	ゴミのリサイクルのしくみが整っていること	ゴミのリサイクルの促進	3.76	3.16	10.70
29	3	休日の道路の渋滞が解消され、自動車での外出が快適なこと	休日の渋滞解消	3.46	3.01	10.32
30	8	文化遺産や史跡が大事にされること	文化遺産や史跡の保存	3.91	3.55	9.57
31	4	平日の道路の渋滞が解消され、自動車での外出が快適なこと	平日の渋滞解消	3.25	3.09	9.46
32	16	ボランティア・NPO活動に気軽に参加できること	ボランティア・NPOへの参加	2.92	2.83	9.27
項目全体の平均				3.96	2.93	12.15

（注）点数表記は小数第2位までだが、順位は小数第3位以下も考慮し決定している。

今回調査の重要度と満足度の関係図

③奈良での就労別_奈良県外で働いている人



『奈良県外で働いている人』においては、「19. 急病時に診てもらえる医療機関」、「11. 防災対策の充実」、「32. 多様な就業環境の整備」などのニーズ得点が高くなっています。

(3) 県民の身近な生活に関する 32 項目の重要度と満足度の前回調査との比較

重要度と満足度の関係の前回調査との比較

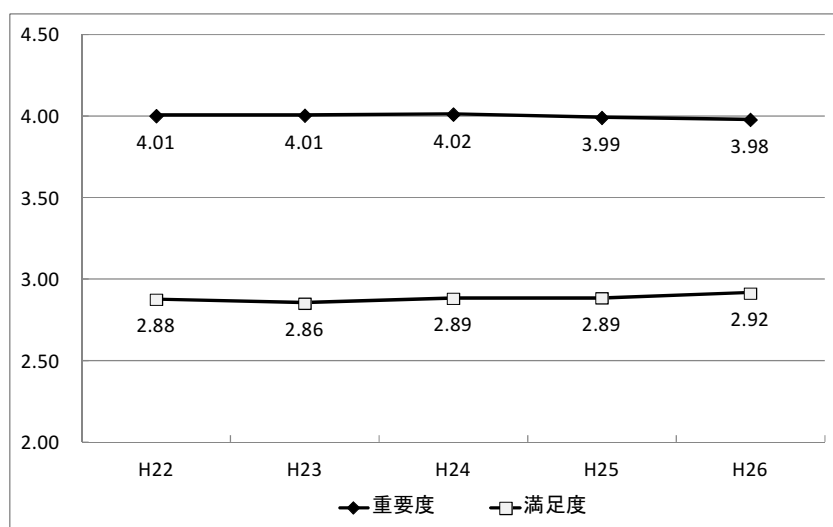
項目 番号	項目	重要度					満足度					ニーズ得点					重要度と満足度の関係				
		H26	H25	H24	H23	H22	H26	H25	H24	H23	H22	H26	H25	H24	H23	H22	H26	H25	H24	H23	H22
1	品揃えの豊富な店が近くにあること	3.92	3.90	3.89	3.88	3.91	3.07	3.09	3.03	3.00	3.10	11.47	11.33	11.55	11.62	11.37	B	B	B	B	B
2	電車、バス、タクシーなどの公共交通機関が利用しやすいこと	4.07	4.08	4.08	4.06	4.12	3.02	3.01	3.02	2.92	3.09	12.12	12.20	12.15	12.51	12.00	A	A	A	A	A
3	休日の道路の渋滞が解消され、自動車での外出が快適なこと	3.42	3.40	3.39	3.34	3.34	2.98	2.93	3.02	2.93	2.94	10.33	10.44	10.10	10.25	10.22	B	B	B	B	B
4	平日の道路の渋滞が解消され、自動車での外出が快適なこと	3.41	3.39	3.36	3.35	3.34	3.09	3.06	3.13	3.07	3.09	9.92	9.95	9.63	9.83	9.72	B	B	B	B	B
5	小・中学校で子どもの能力を伸ばす教育が受けられること	3.95	3.98	4.00	3.96	3.97	2.93	2.89	2.88	2.90	2.89	12.10	12.39	12.48	12.27	12.34	B	C	C	B	B
6	高校で生徒一人ひとりに適した教育が受けられること	3.82	3.83	3.84	3.83	3.81	2.93	2.89	2.86	2.89	2.87	11.75	11.94	12.06	11.89	11.94	B	C	C	B	C
7	子どもたちが、暴力行為・いじめなどを行わないこと	4.43	4.46	4.44	4.43	4.41	2.95	2.90	2.90	2.94	2.90	13.51	13.83	13.73	13.56	13.69	A	A	A	A	A
8	文化遺産や史跡が大事にされること	3.96	3.97	4.00	3.98	4.01	3.53	3.53	3.57	3.55	3.51	9.78	9.81	9.73	9.73	10.00	B	B	B	B	A
9	生涯を通じて教養を高め、趣味を広げられること	3.81	3.82	3.83	3.82	3.84	3.03	2.99	3.01	3.00	2.99	11.34	11.47	11.45	11.48	11.58	B	B	B	B	B
10	公園や運動施設・グラウンドなどが利用しやすいこと	3.55	3.55	3.55	3.53	3.51	2.90	2.93	2.86	2.84	2.88	10.98	10.91	11.14	11.16	10.96	C	B	C	B	B
11	地震、台風、火災などへの対策がしっかりしていること	4.39	4.39	4.46	4.46	4.36	2.77	2.72	2.67	2.65	2.79	14.18	14.39	14.83	14.93	14.02	D	D	D	D	D
12	食品や薬品などの商品・サービスの安全性が確保されていること	4.27	4.31	4.31	4.30	4.33	3.11	3.09	3.20	3.25	3.25	12.37	12.57	12.06	11.82	11.90	A	A	A	A	A
13	家庭や地域において、地震などの自然災害に対する自主的な備えができていないこと	4.16	4.19	4.21	4.23	4.13	2.71	2.65	2.70	2.65	2.76	13.69	14.05	13.89	14.17	13.40	D	D	D	D	D
14	住民が犯罪に遭うことがなく、その不安も感じることなく暮らせること	4.50	4.53	4.57	4.53	4.51	3.13	3.08	3.05	3.05	3.03	12.91	13.25	13.49	13.34	13.39	A	A	A	A	A
15	自分が住んでいる地域に活気があり、魅力のある地域になっていること	3.84	3.82	3.89	3.87	3.85	2.70	2.68	2.63	2.62	2.65	12.67	12.69	13.12	13.08	12.89	C	C	C	C	C
16	ボランティア・NPO 活動に気軽に参加できること	3.06	3.08	3.08	3.09	3.10	2.85	2.83	2.82	2.78	2.80	9.64	9.78	9.81	9.95	9.76	C	C	C	C	C
17	男女がそれぞれの個性と能力を十分に発揮できる社会が実現すること	3.70	3.73	3.71	3.69	3.68	2.79	2.76	2.76	2.77	2.78	11.87	12.10	12.00	11.90	11.85	C	C	C	C	C
18	市町村の政治に住民の要望や意見が十分採り入れられること	4.00	4.03	4.06	4.08	4.07	2.57	2.53	2.53	2.45	2.52	13.73	13.98	14.10	14.48	14.16	D	D	D	D	D
19	急病時に診てもらえる医療機関があること	4.57	4.63	4.64	4.61	4.61	2.80	2.73	2.75	2.67	2.70	14.61	15.15	15.08	15.34	15.22	D	D	D	D	D
20	安心して子どもを出産できる医療体制が整っていること	4.29	4.32	4.37	4.38	4.40	2.72	2.65	2.61	2.54	2.51	14.09	14.47	14.82	15.13	15.38	D	D	D	D	D
21	障害者が住み慣れた地域で自分に合った支援サービスを受けられること	4.10	4.14	4.14	4.13	4.18	2.84	2.80	2.78	2.77	2.75	12.96	13.26	13.32	13.34	13.57	D	D	D	D	D
22	高齢者やその家族が住み慣れた地域で適切な介護サービスを受けられること	4.34	4.37	4.37	4.35	4.39	2.89	2.89	2.88	2.84	2.82	13.51	13.60	13.63	13.74	13.95	D	D	D	D	D
23	高齢者や障害者が安心してまちに出かけられること	4.18	4.18	4.18	4.18	4.22	2.77	2.73	2.74	2.67	2.71	13.50	13.64	13.62	13.89	13.90	D	D	D	D	D
24	地域・家庭・学校が一体となって、子どもが健全に育つ環境づくりを行っていること	4.19	4.19	4.24	4.20	4.23	2.96	2.94	2.95	2.92	2.92	12.75	12.82	12.94	12.95	13.03	A	A	A	A	A
25	イライラやストレスなど精神的緊張が少ないこと	4.01	3.98	4.02	4.02	4.01	2.96	2.95	2.91	2.89	2.94	12.19	12.16	12.39	12.52	12.26	A	B	B	A	A
26	自分の住む地域の景観や町並みが美しいこと	3.92	3.92	3.93	3.95	3.94	3.17	3.17	3.18	3.13	3.16	11.09	11.11	11.09	11.35	11.18	B	B	B	B	B
27	一人ひとりが普段の生活においてCO ₂ 削減に取り組むこと	3.74	3.76	3.77	3.82	3.80	2.88	2.85	2.83	2.78	2.85	11.69	11.86	11.97	12.29	12.18	C	C	C	C	C
28	ゴミのリサイクルのしくみが整っていること	3.90	3.92	3.92	3.93	3.93	3.20	3.19	3.13	3.08	3.11	10.90	11.03	11.26	11.49	11.36	B	B	B	B	B
29	失業の不安がなく働けること	4.24	4.28	4.36	4.34	4.36	2.68	2.61	2.57	2.53	2.51	14.07	14.52	14.97	15.05	15.25	D	D	D	D	D
30	保育所の数や定員を増やすことにより、待機児童を解消すること	3.91	3.94	-	-	-	2.89	2.88	-	-	-	12.17	12.27	-	-	-	C	C	-	-	-
31	県内で買いたいものが販売されていること	3.77	3.75	3.80	3.84	3.79	2.98	2.99	2.97	2.98	2.98	11.40	11.28	11.52	11.58	11.44	B	B	B	B	B
32	いろいろな働き方が用意され、自分の生活に合った就業ができること	4.03	4.00	4.08	4.10	4.05	2.59	2.54	2.52	2.47	2.48	13.76	13.81	14.23	14.49	14.23	D	D	D	D	D

(注)「重要度と満足度の関係」の各年度のA～Dの記号の対応については、49 ページ「図表 全体の重要度と満足度の平均点及び 32 項目の重要度と満足度の関係図」のA～Dの象限に対応している。網掛けした項目は満足度が 32 項目の平均値を下回るものであり、濃い網掛けはそのうち重要度が平均値を上回るもの、すなわち重要度が高いにもかかわらず満足度が低い項目である。なお、「－」は前年度以前において未調査のため数値がないことを示している。

県民の身近な生活に関する 32 項目の重要度と満足度の関係を平成 22 年度から平成 26 年度の 5 年間についてみると、5 年間を通じて、重要度が平均値以上であるにもかかわらず、満足度が平均値を下回っていた（D 象限にある）ものが 10 項目ありました。

項目番号	項目
11	地震、台風、火災などへの対策がしっかりしていること
13	家庭や地域において、地震などの自然災害に対する自主的な備えができていること
18	市町村の政治に住民の要望や意見が十分採り入れられること
19	急病時に診てもらえる医療機関があること
20	安心して子どもを出産できる医療体制が整っていること
21	障害者が住み慣れた地域で自分に合った支援サービスを受けられること
22	高齢者やその家族が住み慣れた地域で適切な介護サービスを受けられること
23	高齢者や障害者が安心してまちに出かけられること
29	失業の不安がなく働けること
32	いろいろな働き方が用意され、自分の生活に合った就業ができること

（４）県民の身近な生活に関する 32 項目の重要度と満足度の平均値の推移（県全体）



県民の身近な生活に関する 32 項目の重要度と満足度の平均値の推移をみると、平成 22 年度と比べて重要度の平均値は概ね年々低下しており、一方で満足度の平均値は上昇しています。県民の身近な生活に関わる状況は僅かに改善傾向にあります。

2-3 地域別の重要度と満足度の関係および経年比較

(1) 地域1 (北部)

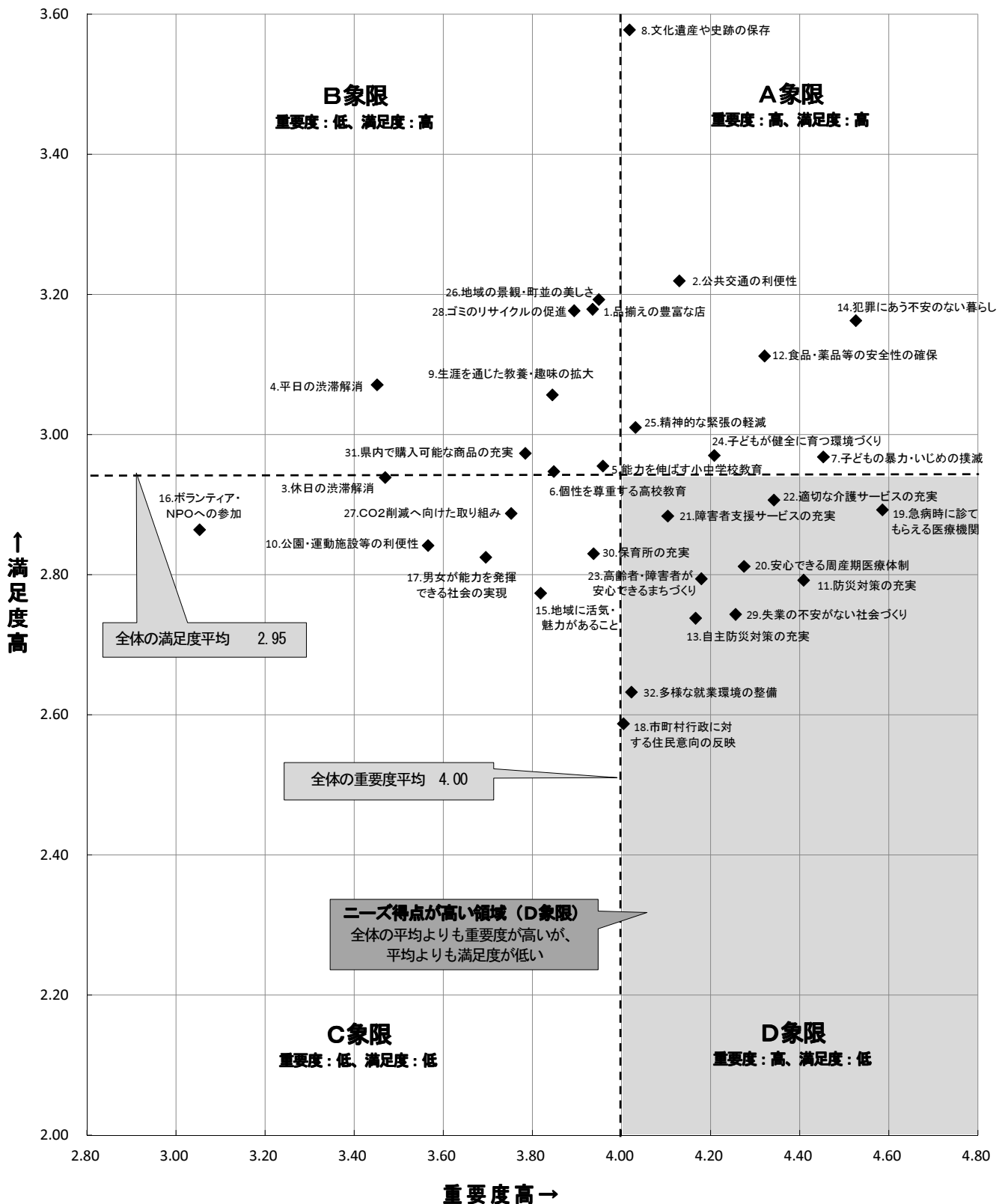
図表 重要度と満足度の経年比較（平成26年度調査の重要度の高い順）

順位	項目番号	項目の略称	重要度			満足度			ニーズ得点 H26
			H26(1)	H25(2)	(1)-(2)	H26(1)	H25(2)	(1)-(2)	
1	19	急病時に診てもらえる医療機関	4.59	4.63	▲ 0.04	2.89	2.81	0.08	14.25
2	14	犯罪にあう不安のない暮らし	4.53	4.55	▲ 0.02	3.16	3.11	0.05	12.84
3	7	子どもの暴力・いじめの撲滅	4.45	4.47	▲ 0.02	2.97	2.92	0.05	13.50
4	11	防災対策の充実	4.41	4.38	0.03	2.79	2.76	0.03	14.14
5	22	適切な介護サービスの充実	4.34	4.38	▲ 0.04	2.91	2.90	0.01	13.43
6	12	食品・薬品等の安全性の確保	4.32	4.34	▲ 0.02	3.11	3.11	0.00	12.48
7	20	安心できる周産期医療体制	4.28	4.32	▲ 0.04	2.81	2.76	0.05	13.63
8	29	失業の不安がない社会づくり	4.26	4.27	▲ 0.01	2.74	2.65	0.09	13.88
9	24	子どもが健全に育つ環境づくり	4.21	4.21	▲ 0.00	2.97	2.99	▲ 0.02	12.75
10	23	高齢者・障害者が安心できるまちづくり	4.18	4.19	▲ 0.01	2.79	2.80	▲ 0.01	13.40
11	13	自主防災対策の充実	4.17	4.19	▲ 0.02	2.74	2.71	0.03	13.59
12	2	公共交通の利便性	4.13	4.13	▲ 0.00	3.22	3.23	▲ 0.01	11.48
13	21	障害者支援サービスの充実	4.10	4.14	▲ 0.04	2.88	2.86	0.02	12.79
14	25	精神的な緊張の軽減	4.03	4.02	0.01	3.01	2.97	0.04	12.05
15	32	多様な就業環境の整備	4.02	3.99	0.03	2.63	2.58	0.05	13.55
16	8	文化遺産や史跡の保存	4.02	4.02	▲ 0.00	3.58	3.57	0.01	9.73
17	18	市町村行政に対する住民意向の反映	4.00	4.03	▲ 0.03	2.59	2.59	▲ 0.00	13.67
18	5	能力を伸ばす小中学校教育	3.96	3.99	▲ 0.03	2.96	2.92	0.04	12.05
19	26	地域の景観・町並の美しさ	3.95	3.98	▲ 0.03	3.19	3.24	▲ 0.05	11.09
20	30	保育所の充実	3.94	3.97	▲ 0.03	2.83	2.83	▲ 0.00	12.48
21	1	品揃えの豊富な店	3.94	3.90	0.04	3.18	3.18	▲ 0.00	11.10
22	28	ゴミのリサイクルの促進	3.89	3.91	▲ 0.02	3.18	3.20	▲ 0.02	10.99
23	6	個性を尊重する高校教育	3.85	3.84	0.01	2.95	2.91	0.04	11.75
24	9	生涯を通じた教養・趣味の拡大	3.84	3.85	▲ 0.01	3.06	3.05	0.01	11.32
25	15	地域に活気・魅力があること	3.82	3.81	0.01	2.77	2.80	▲ 0.03	12.32
26	31	県内で購入可能な商品の充実	3.78	3.75	0.03	2.97	2.99	▲ 0.02	11.45
27	27	CO ₂ 削減へ向けた取り組み	3.75	3.76	▲ 0.01	2.89	2.88	0.01	11.68
28	17	男女が能力を発揮できる社会の実現	3.70	3.73	▲ 0.03	2.82	2.80	0.02	11.73
29	10	公園・運動施設等の利便性	3.57	3.56	0.01	2.84	2.90	▲ 0.06	11.26
30	3	休日の渋滞解消	3.47	3.41	0.06	2.94	2.88	0.06	10.62
31	4	平日の渋滞解消	3.45	3.39	0.06	3.07	3.02	0.05	10.11
32	16	ボランティア・NPOへの参加	3.05	3.09	▲ 0.04	2.86	2.87	▲ 0.01	9.57
項目全体の平均			4.00	4.01	▲ 0.01	2.95	2.93	0.02	12.21

(注) 網掛けは、重要度では平成26年度の点数が25年度に比べて上昇したことを示し、満足度では平成26年度の点数が平成25年度に比べて低下したことを示している。なお、点数の比較の際には、小数第3位以下も考慮している。ニーズ得点の太字は、ニーズ得点が高い上位3項目を示している。

重要度が上昇したにも関わらず「満足度」が低下した項目は、「15. 地域に活気・魅力があること」、「31. 県内で購入可能な商品の充実」、「10. 公園・運動施設等の利便性」となっています。

今回調査の重要度と満足度の関係図



『地域1（北部）』においては、「19. 急病時に診てもらえる医療機関」、「11. 防災対策の充実」、「29. 失業の不安がない社会づくり」などのニーズ得点が高くなっています。

(2) 地域2 (西部)

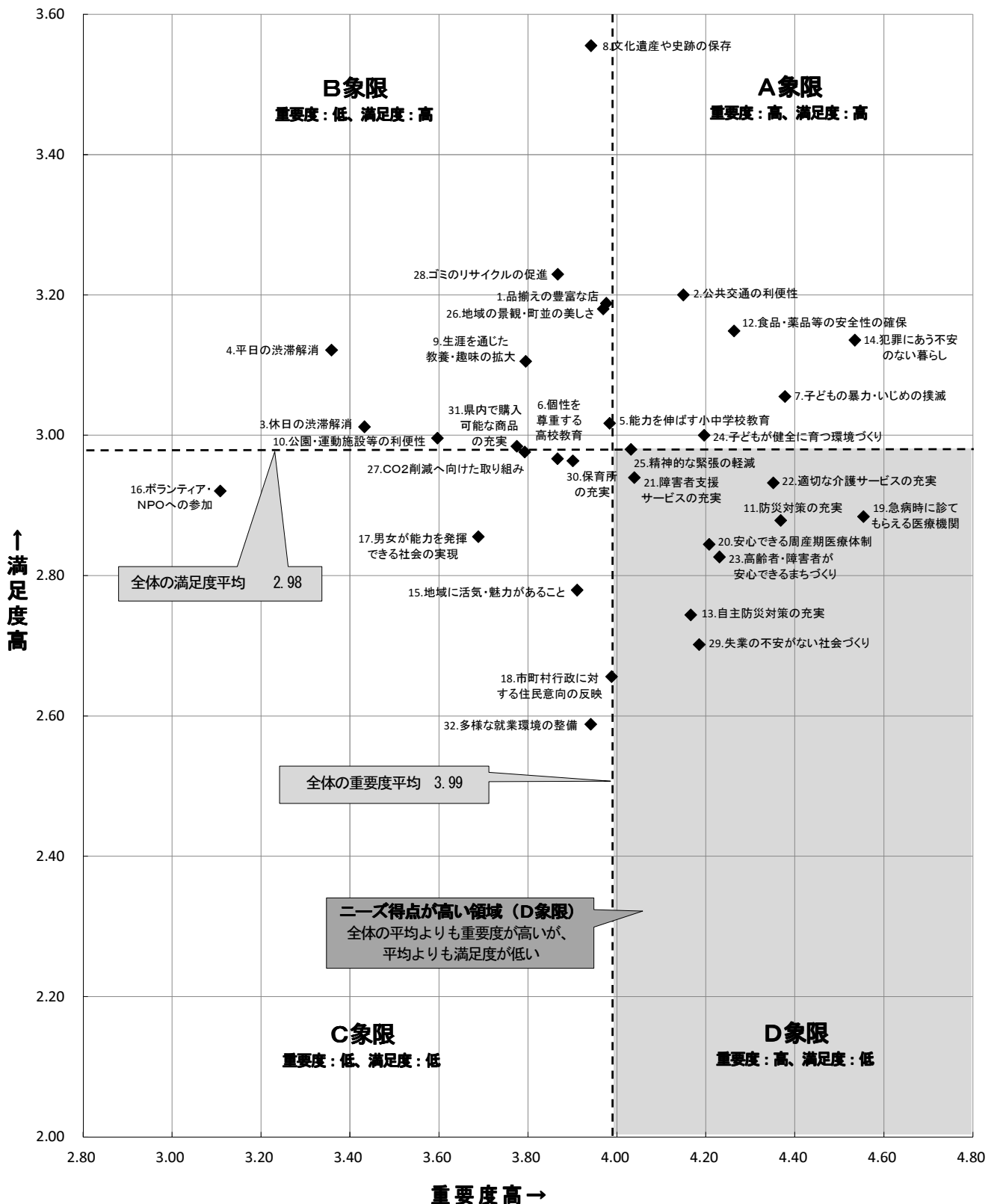
図表 重要度と満足度の経年比較 (平成 26 年度調査の重要度の高い順)

順位	項目番号	項目の略称	重要度			満足度			ニーズ得点 H26
			H26①	H25②	①－②	H26①	H25②	①－②	
1	19	急病時に診てもらえる医療機関	4.55	4.61	▲ 0.06	2.88	2.81	0.07	14.19
2	14	犯罪にあう不安のない暮らし	4.53	4.56	▲ 0.03	3.14	3.04	0.10	12.99
3	7	子どもの暴力・いじめの撲滅	4.38	4.49	▲ 0.11	3.06	2.91	0.15	12.89
4	11	防災対策の充実	4.37	4.42	▲ 0.05	2.88	2.81	0.07	13.64
5	22	適切な介護サービスの充実	4.35	4.34	0.01	2.93	2.89	0.04	13.35
6	12	食品・薬品等の安全性の確保	4.26	4.35	▲ 0.09	3.15	3.12	0.03	12.16
7	23	高齢者・障害者が安心できるまちづくり	4.23	4.17	0.06	2.83	2.73	0.10	13.42
8	20	安心できる周産期医療体制	4.21	4.20	0.01	2.84	2.70	0.14	13.28
9	24	子どもが健全に育つ環境づくり	4.20	4.19	0.01	3.00	2.92	0.08	12.59
10	29	失業の不安がない社会づくり	4.19	4.22	▲ 0.03	2.70	2.67	0.03	13.80
11	13	自主防災対策の充実	4.17	4.16	0.01	2.74	2.68	0.06	13.56
12	2	公共交通の利便性	4.15	4.05	0.10	3.20	2.96	0.24	11.62
13	21	障害者支援サービスの充実	4.04	4.13	▲ 0.09	2.94	2.82	0.12	12.36
14	25	精神的な緊張の軽減	4.03	4.04	▲ 0.01	2.98	3.00	▲ 0.02	12.18
15	18	市町村行政に対する住民意向の反映	3.99	4.02	▲ 0.03	2.66	2.55	0.11	13.34
16	5	能力を伸ばす小中学校教育	3.98	3.88	0.10	3.02	2.88	0.14	11.88
17	1	品揃えの豊富な店	3.98	3.86	0.12	3.19	2.99	0.20	11.18
18	26	地域の景観・町並の美しさ	3.97	3.96	0.01	3.18	3.07	0.11	11.19
19	8	文化遺産や史跡の保存	3.94	3.95	▲ 0.01	3.56	3.52	0.04	9.64
20	32	多様な就業環境の整備	3.94	3.93	0.01	2.59	2.60	▲ 0.01	13.45
21	15	地域に活気・魅力があること	3.91	3.91	0.00	2.78	2.74	0.04	12.60
22	30	保育所の充実	3.90	3.95	▲ 0.05	2.96	2.96	0.00	11.85
23	28	ゴミのリサイクルの促進	3.87	3.90	▲ 0.03	3.23	3.16	0.07	10.72
24	6	個性を尊重する高校教育	3.87	3.79	0.08	2.97	2.84	0.13	11.73
25	9	生涯を通じた教養・趣味の拡大	3.80	3.80	▲ 0.00	3.11	3.00	0.11	10.99
26	27	CO ₂ 削減へ向けた取り組み	3.79	3.78	0.01	2.98	2.81	0.17	11.47
27	31	県内で購入可能な商品の充実	3.78	3.74	0.04	2.98	2.97	0.01	11.39
28	17	男女が能力を発揮できる社会の実現	3.69	3.69	▲ 0.00	2.86	2.79	0.07	11.60
29	10	公園・運動施設等の利便性	3.60	3.60	▲ 0.00	3.00	3.06	▲ 0.06	10.81
30	3	休日の渋滞解消	3.43	3.44	▲ 0.01	3.01	2.82	0.19	10.26
31	4	平日の渋滞解消	3.36	3.38	▲ 0.02	3.12	2.91	0.21	9.67
32	16	ボランティア・NPOへの参加	3.11	3.12	▲ 0.01	2.92	2.90	0.02	9.57
項目全体の平均			3.99	3.99	▲ 0.00	2.98	2.89	0.09	12.04

(注) 網掛けは、重要度では平成 26 年度の点数が 25 年度に比べて上昇したことを示し、満足度では平成 26 年度の点数が平成 25 年度に比べて低下したことを示している。なお、点数の比較の際には、小数第 3 位以下も考慮している。
ニーズ得点の太字は、ニーズ得点が高い上位 3 項目を示している。

重要度が上昇したにも関わらず「満足度」が低下した項目は、「32. 多様な就業環境の整備」となっています。

今回調査の重要度と満足度の関係図



『地域2（西部）』においては、「19. 急病時に診てもらえる医療機関」、「29. 失業の不安がない社会づくり」、「11. 防災対策の充実」などのニーズ得点が高くなっています。

(3) 地域3 (中部)

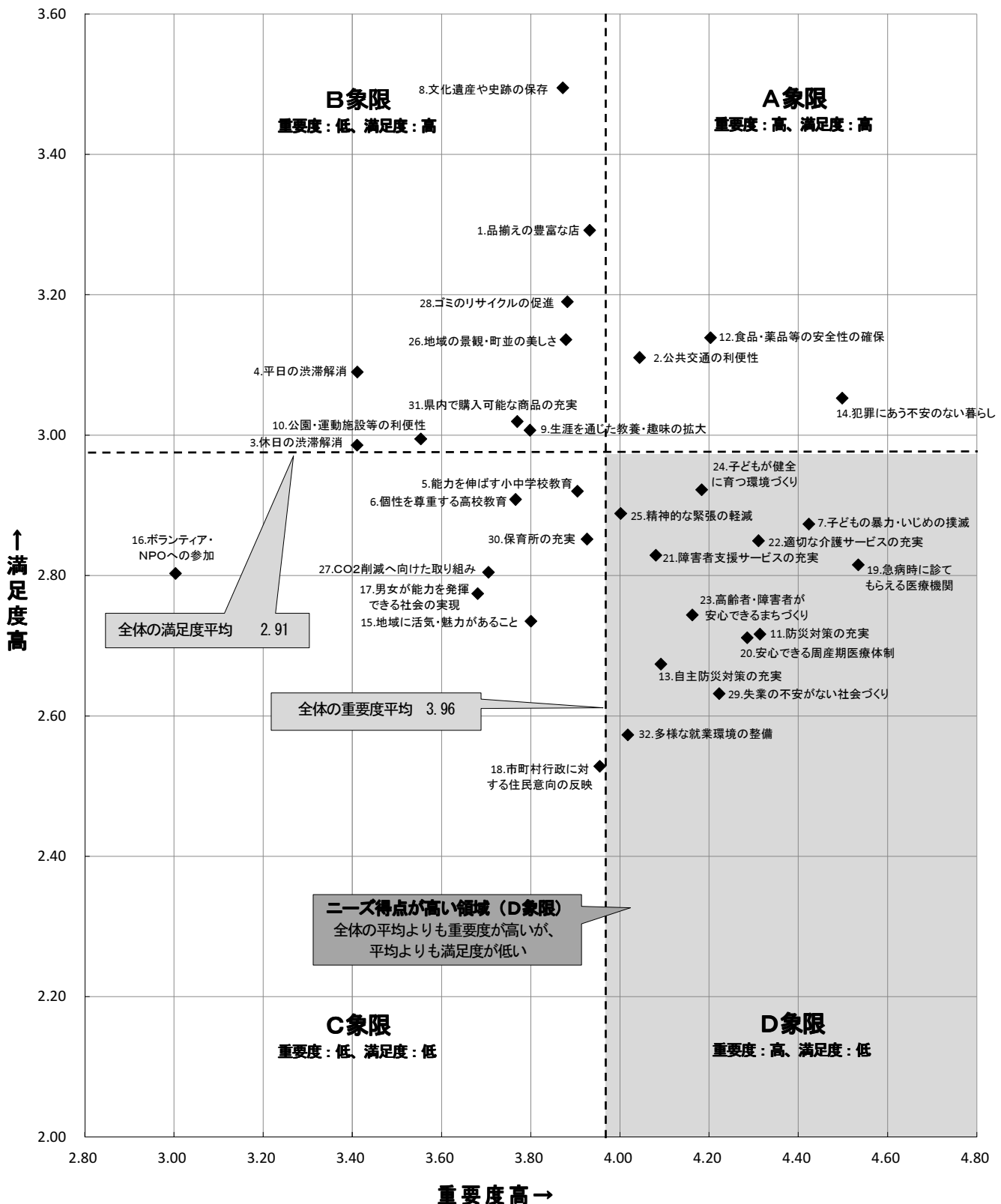
図表 重要度と満足度の経年比較 (平成 26 年度調査の重要度の高い順)

順位	項目番号	項目の略称	重要度			満足度			ニーズ得点 H26
			H26(①)	H25(②)	①－②	H26(①)	H25(②)	①－②	
1	19	急病時に診てもらえる医療機関	4.53	4.63	▲ 0.10	2.82	2.79	0.03	14.44
2	14	犯罪にあう不安のない暮らし	4.50	4.52	▲ 0.02	3.05	3.03	0.02	13.26
3	7	子どもの暴力・いじめの撲滅	4.42	4.43	▲ 0.01	2.87	2.84	0.03	13.83
4	11	防災対策の充実	4.31	4.39	▲ 0.08	2.72	2.77	▲ 0.05	14.16
5	22	適切な介護サービスの充実	4.31	4.36	▲ 0.05	2.85	2.91	▲ 0.06	13.58
6	20	安心できる周産期医療体制	4.29	4.33	▲ 0.04	2.71	2.74	▲ 0.03	14.09
7	29	失業の不安がない社会づくり	4.22	4.32	▲ 0.10	2.63	2.65	▲ 0.02	14.22
8	12	食品・薬品等の安全性の確保	4.20	4.30	▲ 0.10	3.14	3.14	▲ 0.00	12.03
9	24	子どもが健全に育つ環境づくり	4.18	4.18	0.00	2.92	2.92	0.00	12.87
10	23	高齢者・障害者が安心できるまちづくり	4.16	4.19	▲ 0.03	2.74	2.75	▲ 0.01	13.55
11	13	自主防災対策の充実	4.09	4.19	▲ 0.10	2.67	2.66	0.01	13.61
12	21	障害者支援サービスの充実	4.08	4.13	▲ 0.05	2.83	2.82	0.01	12.94
13	2	公共交通の利便性	4.04	4.04	0.00	3.11	3.11	0.00	11.69
14	32	多様な就業環境の整備	4.02	3.99	0.03	2.57	2.58	▲ 0.01	13.77
15	25	精神的な緊張の軽減	4.00	3.96	0.04	2.89	2.94	▲ 0.05	12.45
16	18	市町村行政に対する住民意向の反映	3.95	3.97	▲ 0.02	2.53	2.50	0.03	13.73
17	1	品揃えの豊富な店	3.93	3.92	0.01	3.29	3.37	▲ 0.08	10.65
18	30	保育所の充実	3.93	3.92	0.01	2.85	2.92	▲ 0.07	12.36
19	5	能力を伸ばす小中学校教育	3.90	3.95	▲ 0.05	2.92	2.92	0.00	12.03
20	28	ゴミのリサイクルの促進	3.88	3.95	▲ 0.07	3.19	3.17	0.02	10.91
21	26	地域の景観・町並の美しさ	3.88	3.85	0.03	3.14	3.11	0.03	11.11
22	8	文化遺産や史跡の保存	3.87	3.97	▲ 0.10	3.49	3.54	▲ 0.05	9.70
23	15	地域に活気・魅力があること	3.80	3.77	0.03	2.73	2.68	0.05	12.41
24	9	生涯を通じた教養・趣味の拡大	3.80	3.81	▲ 0.01	3.01	2.97	0.04	11.37
25	31	県内で購入可能な商品の充実	3.77	3.76	0.01	3.02	3.10	▲ 0.08	11.24
26	6	個性を尊重する高校教育	3.77	3.79	▲ 0.02	2.91	2.94	▲ 0.03	11.64
27	27	CO ₂ 削減へ向けた取り組み	3.71	3.77	▲ 0.06	2.80	2.81	▲ 0.01	11.84
28	17	男女が能力を発揮できる社会の実現	3.68	3.75	▲ 0.07	2.77	2.73	0.04	11.87
29	10	公園・運動施設等の利便性	3.55	3.61	▲ 0.06	2.99	2.97	0.02	10.68
30	4	平日の渋滞解消	3.41	3.43	▲ 0.02	3.09	3.14	▲ 0.05	9.93
31	3	休日の渋滞解消	3.41	3.45	▲ 0.04	2.99	2.98	0.01	10.28
32	16	ボランティア・NPOへの参加	3.00	3.05	▲ 0.05	2.80	2.80	0.00	9.60
項目全体の平均			3.96	3.99	▲ 0.03	2.91	2.92	▲ 0.01	12.25

(注) 網掛けは、重要度では平成 26 年度の点数が 25 年度に比べて上昇したことを示し、満足度では平成 26 年度の点数が平成 25 年度に比べて低下したことを示している。なお、点数の比較の際には、小数第 3 位以下も考慮している。
ニーズ得点の太字は、ニーズ得点が高い上位 3 項目を示している。

重要度が上昇したにも関わらず「満足度」が低下した項目は、「32. 多様な就業環境の整備」、「25. 精神的な緊張の軽減」、「1. 品揃えの豊富な店」、「30. 保育所の充実」、「31. 県内で購入可能な商品の充実」となっています。

今回調査の重要度と満足度の関係図



『地域3 (中部)』においては、「19. 急病時に診てもらえる医療機関」、「29. 失業の不安がない社会づくり」、「11. 防災対策の充実」などのニーズ得点が高くなっています。

(4) 地域4 (東部)

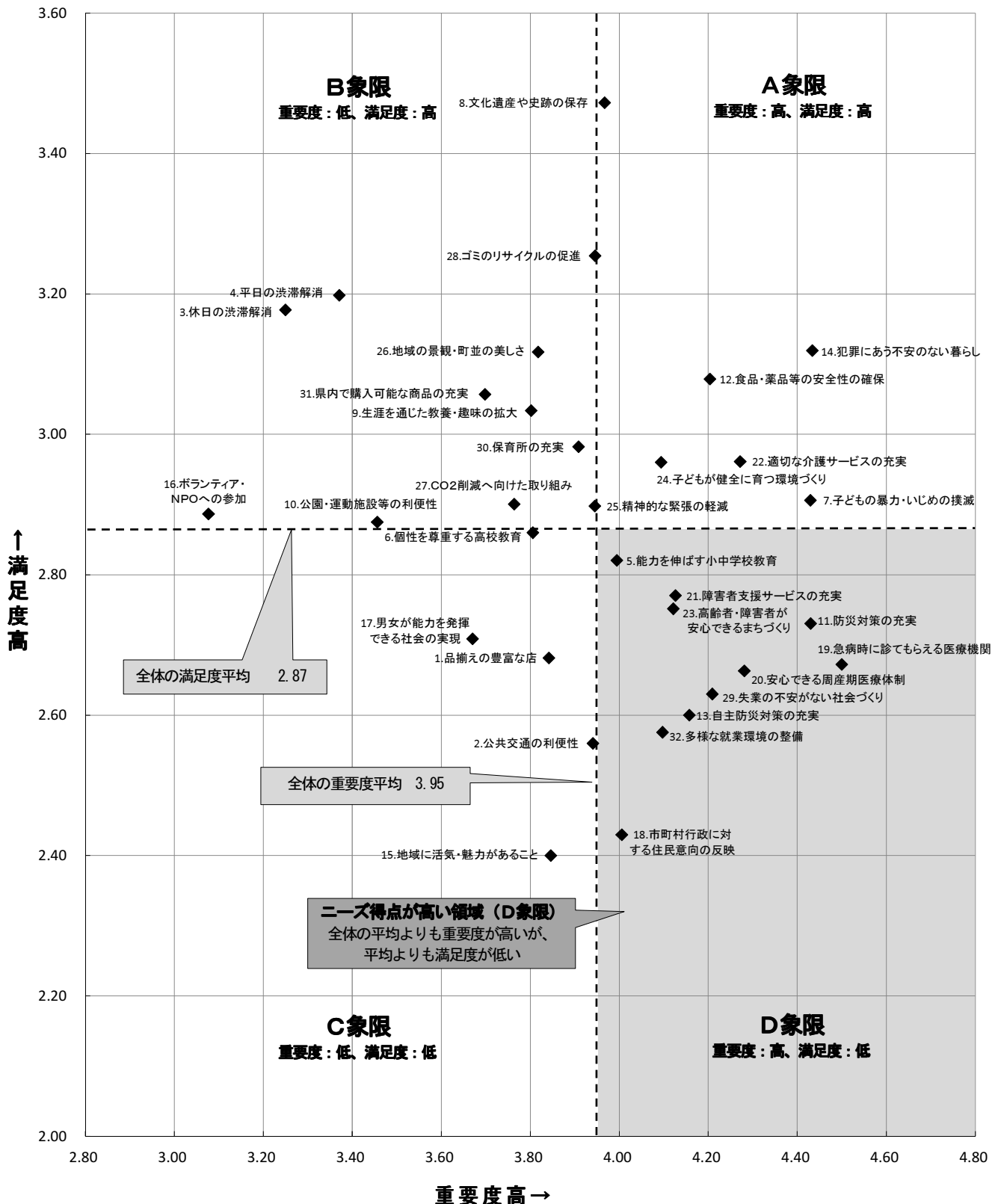
図表 重要度と満足度の経年比較 (平成 26 年度調査の重要度の高い順)

順位	項目番号	項目の略称	重要度			満足度			ニーズ得点 H26
			H26(①)	H25(②)	①－②	H26(①)	H25(②)	①－②	
1	19	急病時に診てもらえる医療機関	4.50	4.61	▲ 0.11	2.67	2.44	0.23	14.98
2	14	犯罪にあう不安のない暮らし	4.43	4.43	0.00	3.12	3.01	0.11	12.77
3	11	防災対策の充実	4.43	4.35	0.08	2.73	2.51	0.22	14.48
4	7	子どもの暴力・いじめの撲滅	4.43	4.52	▲ 0.09	2.91	2.89	0.02	13.71
5	20	安心できる周産期医療体制	4.28	4.32	▲ 0.04	2.66	2.54	0.12	14.29
6	22	適切な介護サービスの充実	4.27	4.38	▲ 0.11	2.96	2.75	0.21	12.98
7	29	失業の不安がない社会づくり	4.21	4.28	▲ 0.07	2.63	2.36	0.27	14.18
8	12	食品・薬品等の安全性の確保	4.20	4.25	▲ 0.05	3.08	2.95	0.13	12.28
9	13	自主防災対策の充実	4.16	4.16	▲ 0.00	2.60	2.29	0.31	14.14
10	21	障害者支援サービスの充実	4.13	4.13	▲ 0.00	2.77	2.63	0.14	13.33
11	23	高齢者・障害者が安心できるまちづくり	4.12	4.10	0.02	2.75	2.49	0.26	13.39
12	32	多様な就業環境の整備	4.10	4.13	▲ 0.03	2.58	2.34	0.24	14.03
13	24	子どもが健全に育つ環境づくり	4.09	4.13	▲ 0.04	2.96	2.76	0.20	12.45
14	18	市町村行政に対する住民意向の反映	4.01	4.03	▲ 0.02	2.43	2.35	0.08	14.30
15	5	能力を伸ばす小中学校教育	3.99	4.07	▲ 0.08	2.82	2.71	0.11	12.70
16	8	文化遺産や史跡の保存	3.97	3.81	0.16	3.47	3.39	0.08	10.03
17	28	ゴミのリサイクルの促進	3.95	3.81	0.14	3.25	3.01	0.24	10.83
18	25	精神的な緊張の軽減	3.94	3.90	0.04	2.90	2.87	0.03	12.24
19	2	公共交通の利便性	3.94	3.98	▲ 0.04	2.56	2.34	0.22	13.56
20	30	保育所の充実	3.91	3.88	0.03	2.98	2.84	0.14	11.80
21	15	地域に活気・魅力があること	3.85	3.81	0.04	2.40	2.38	0.02	13.85
22	1	品揃えの豊富な店	3.84	3.84	0.00	2.68	2.70	▲ 0.02	12.75
23	26	地域の景観・町並の美しさ	3.82	3.84	▲ 0.02	3.12	2.99	0.13	11.01
24	6	個性を尊重する高校教育	3.81	3.89	▲ 0.08	2.86	2.73	0.13	11.95
25	9	生涯を通じた教養・趣味の拡大	3.80	3.72	0.08	3.03	2.84	0.19	11.28
26	27	CO ₂ 削減へ向けた取り組み	3.76	3.67	0.09	2.90	2.77	0.13	11.67
27	31	県内で購入可能な商品の充実	3.70	3.73	▲ 0.03	3.06	2.85	0.21	10.88
28	17	男女が能力を発揮できる社会の実現	3.67	3.70	▲ 0.03	2.71	2.70	0.01	12.08
29	10	公園・運動施設等の利便性	3.46	3.35	0.11	2.88	2.72	0.16	10.80
30	4	平日の渋滞解消	3.37	3.34	0.03	3.20	3.10	0.10	9.45
31	3	休日の渋滞解消	3.25	3.28	▲ 0.03	3.18	3.01	0.17	9.17
32	16	ボランティア・NPOへの参加	3.08	3.01	0.07	2.89	2.70	0.19	9.58
項目全体の平均			3.95	3.95	0.00	2.87	2.72	0.15	12.40

(注) 網掛けは、重要度では平成 26 年度の点数が 25 年度に比べて上昇したことを示し、満足度では平成 26 年度の点数が平成 25 年度に比べて低下したことを示している。なお、点数の比較の際には、小数第 3 位以下も考慮している。
ニーズ得点の太字は、ニーズ得点が高い上位 3 項目を示している。

重要度が上昇したにも関わらず「満足度」が低下した項目が 1 項目もない結果となっています。

今回調査の重要度と満足度の関係図



『地域4（東部）』においては、「19. 急病時に診てもらえる医療機関」、「11. 防災対策の充実」、「18. 市町村行政に対する住民意向の反映」などのニーズ得点が高くなっています。

(5) 地域5（南東部）

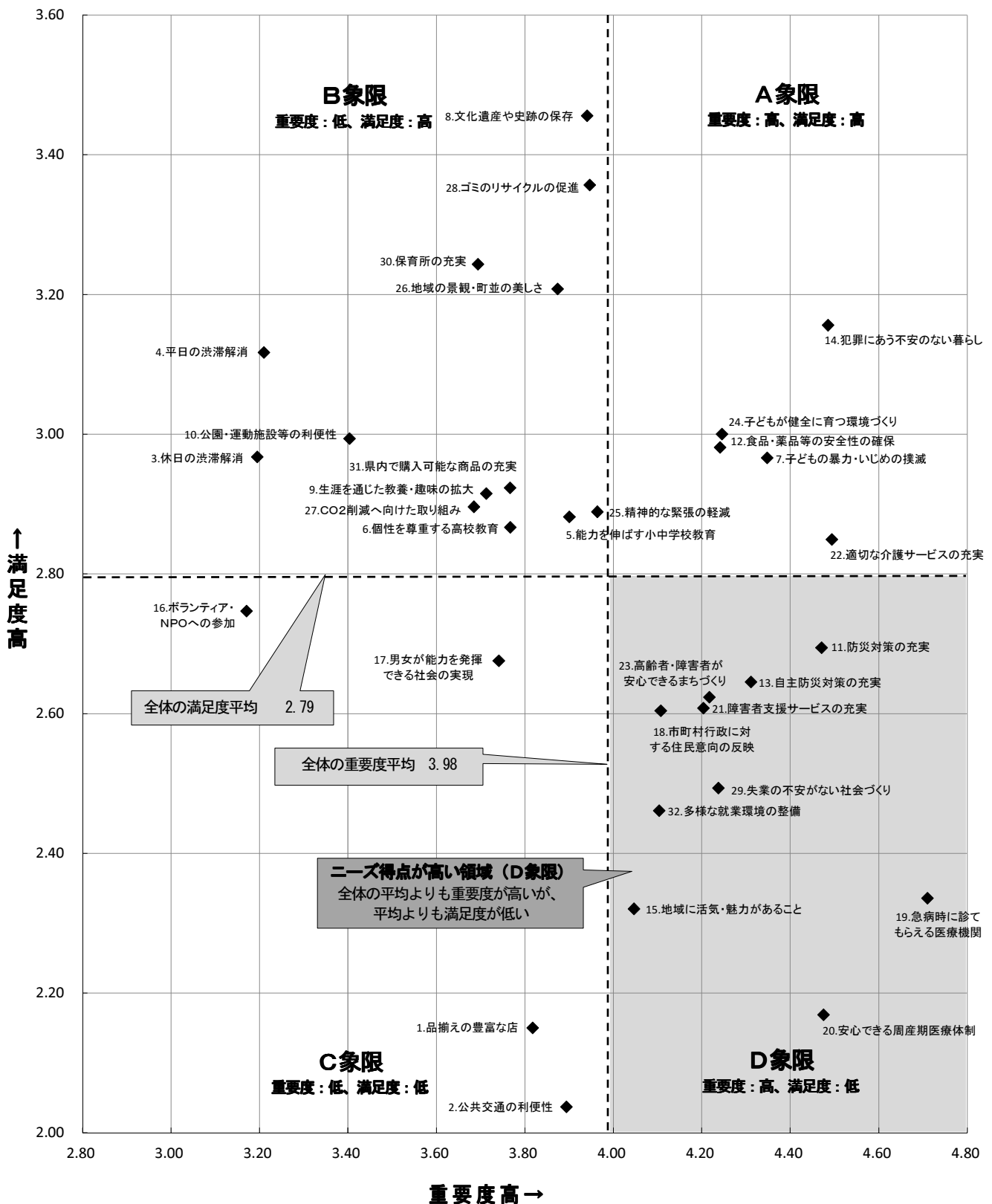
図表 重要度と満足度の経年比較（平成26年度調査の重要度の高い順）

順位	項目番号	項目の略称	重要度			満足度			ニーズ得点 H26
			H26(①)	H25(②)	①－②	H26(①)	H25(②)	①－②	
1	19	急病時に診てもらえる医療機関	4.71	4.60	0.11	2.34	2.20	0.14	17.26
2	22	適切な介護サービスの充実	4.49	4.42	0.07	2.85	2.92	▲ 0.07	14.16
3	14	犯罪にあう不安のない暮らし	4.49	4.40	0.09	3.16	3.11	0.05	12.76
4	20	安心できる周産期医療体制	4.48	4.47	0.01	2.17	1.76	0.41	17.15
5	11	防災対策の充実	4.47	4.41	0.06	2.69	2.46	0.23	14.78
6	7	子どもの暴力・いじめの撲滅	4.35	4.37	▲ 0.02	2.97	3.09	▲ 0.12	13.19
7	13	自主防災対策の充実	4.31	4.24	0.07	2.65	2.45	0.20	14.46
8	24	子どもが健全に育つ環境づくり	4.25	4.13	0.12	3.00	2.95	0.05	12.74
9	12	食品・薬品等の安全性の確保	4.24	4.16	0.08	2.98	2.74	0.24	12.80
10	29	失業の不安がない社会づくり	4.24	4.27	▲ 0.03	2.49	2.27	0.22	14.86
11	23	高齢者・障害者が安心できるまちづくり	4.22	4.06	0.16	2.62	2.51	0.11	14.24
12	21	障害者支援サービスの充実	4.20	4.21	▲ 0.01	2.61	2.50	0.11	14.26
13	18	市町村行政に対する住民意向の反映	4.11	4.13	▲ 0.02	2.60	2.38	0.22	13.95
14	32	多様な就業環境の整備	4.10	3.99	0.11	2.46	2.25	0.21	14.52
15	15	地域に活気・魅力があること	4.05	3.88	0.17	2.32	2.16	0.16	14.89
16	25	精神的な緊張の軽減	3.96	3.80	0.16	2.89	2.87	0.02	12.33
17	28	ゴミのリサイクルの促進	3.95	3.96	▲ 0.01	3.36	3.46	▲ 0.10	10.43
18	8	文化遺産や史跡の保存	3.94	3.79	0.15	3.46	3.38	0.08	10.03
19	5	能力を伸ばす小中学校教育	3.90	3.98	▲ 0.08	2.88	2.80	0.08	12.16
20	2	公共交通の利便性	3.89	4.03	▲ 0.14	2.04	2.17	▲ 0.13	15.43
21	26	地域の景観・町並の美しさ	3.87	3.81	0.06	3.21	3.16	0.05	10.82
22	1	品揃えの豊富な店	3.82	3.90	▲ 0.08	2.15	2.14	0.01	14.70
23	6	個性を尊重する高校教育	3.77	3.87	▲ 0.10	2.87	2.80	0.07	11.80
24	31	県内で購入可能な商品の充実	3.77	3.72	0.05	2.92	2.89	0.03	11.59
25	17	男女が能力を発揮できる社会の実現	3.74	3.76	▲ 0.02	2.68	2.60	0.08	12.44
26	9	生涯を通じた教養・趣味の拡大	3.71	3.65	0.06	2.92	2.90	0.02	11.45
27	30	保育所の充実	3.69	3.84	▲ 0.15	3.24	3.01	0.23	10.18
28	27	CO ₂ 削減へ向けた取り組み	3.68	3.76	▲ 0.08	2.90	2.87	0.03	11.44
29	10	公園・運動施設等の利便性	3.40	3.34	0.06	2.99	2.99	0.00	10.23
30	4	平日の渋滞解消	3.21	3.30	▲ 0.09	3.12	3.28	▲ 0.16	9.25
31	3	休日の渋滞解消	3.20	3.28	▲ 0.08	2.97	3.21	▲ 0.24	9.69
32	16	ボランティア・NPOへの参加	3.17	3.21	▲ 0.04	2.75	2.61	0.14	10.32
項目全体の平均			3.98	3.96	0.02	2.79	2.72	0.07	12.82

（注）網掛けは、重要度では平成26年度の点数が25年度に比べて上昇したことを示し、満足度では平成26年度の点数が平成25年度に比べて低下したことを示している。なお、点数の比較の際には、小数第3位以下も考慮している。
ニーズ得点の太字は、ニーズ得点が高い上位3項目を示している。

重要度が上昇したにも関わらず「満足度」が低下した項目は、「22. 適切な介護サービスの充実」となっています。

今回調査の重要度と満足度の関係図



『地域5（南東部）』においては、「19. 急病時に診てもらえる医療機関」、「20. 安心できる周産期医療体制」、「2. 公共交通の利便性」などのニーズ得点が高くなっています。

(6) 地域6 (南西部)

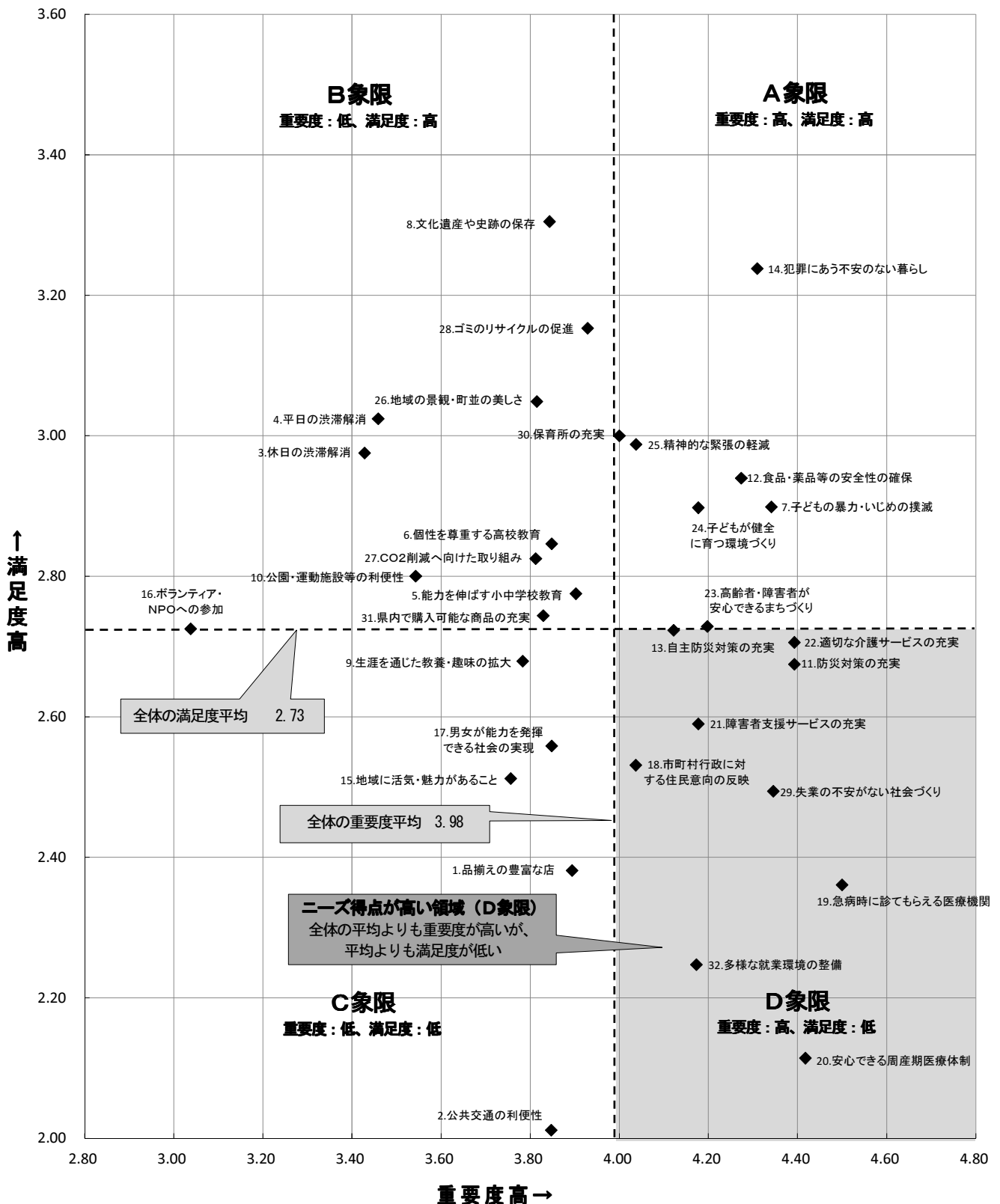
図表 重要度と満足度の経年比較 (平成 26 年度調査の重要度の高い順)

順位	項目番号	項目の略称	重要度			満足度			ニーズ得点 H26
			H26(①)	H25(②)	①－②	H26(①)	H25(②)	①－②	
1	19	急病時に診てもらえる医療機関	4.50	4.69	▲ 0.19	2.36	2.29	0.07	16.38
2	20	安心できる周産期医療体制	4.42	4.46	▲ 0.04	2.11	1.97	0.14	17.17
3	11	防災対策の充実	4.39	4.47	▲ 0.08	2.67	2.45	0.22	14.61
4	22	適切な介護サービスの充実	4.39	4.41	▲ 0.02	2.71	2.81	▲ 0.10	14.47
5	29	失業の不安がない社会づくり	4.35	4.31	0.04	2.49	2.54	▲ 0.05	15.24
6	7	子どもの暴力・いじめの撲滅	4.34	4.49	▲ 0.15	2.90	2.82	0.08	13.46
7	14	犯罪にあう不安のない暮らし	4.31	4.53	▲ 0.22	3.24	3.09	0.15	11.90
8	12	食品・薬品等の安全性の確保	4.27	4.28	▲ 0.01	2.94	2.95	▲ 0.01	13.08
9	23	高齢者・障害者が安心できるまちづくり	4.20	4.19	0.01	2.73	2.50	0.23	13.73
10	21	障害者支援サービスの充実	4.18	4.15	0.03	2.59	2.50	0.09	14.25
11	24	子どもが健全に育つ環境づくり	4.18	4.19	▲ 0.01	2.90	2.78	0.12	12.96
12	32	多様な就業環境の整備	4.17	3.98	0.19	2.25	2.42	▲ 0.17	15.66
13	13	自主防災対策の充実	4.12	4.24	▲ 0.12	2.72	2.53	0.19	13.51
14	25	精神的な緊張の軽減	4.04	3.94	0.10	2.99	2.81	0.18	12.16
15	18	市町村行政に対する住民意向の反映	4.04	4.18	▲ 0.14	2.53	2.39	0.14	14.01
16	30	保育所の充実	4.00	3.72	0.28	3.00	3.01	▲ 0.01	12.00
17	28	ゴミのリサイクルの促進	3.93	4.01	▲ 0.08	3.15	3.06	0.09	11.18
18	5	能力を伸ばす小中学校教育	3.90	4.10	▲ 0.20	2.78	2.65	0.13	12.59
19	1	品揃えの豊富な店	3.89	3.99	▲ 0.10	2.38	2.44	▲ 0.06	14.09
20	6	個性を尊重する高校教育	3.85	3.95	▲ 0.10	2.85	2.67	0.18	12.14
21	17	男女が能力を発揮できる社会の実現	3.85	3.79	0.06	2.56	2.61	▲ 0.05	13.24
22	2	公共交通の利便性	3.85	4.07	▲ 0.22	2.01	1.95	0.06	15.34
23	8	文化遺産や史跡の保存	3.84	3.91	▲ 0.07	3.30	3.38	▲ 0.08	10.36
24	31	県内で購入可能な商品の充実	3.83	3.85	▲ 0.02	2.74	2.84	▲ 0.10	12.47
25	26	地域の景観・町並の美しさ	3.81	3.88	▲ 0.07	3.05	3.19	▲ 0.14	11.26
26	27	CO ₂ 削減へ向けた取り組み	3.81	3.85	▲ 0.04	2.83	2.78	0.05	12.10
27	9	生涯を通じた教養・趣味の拡大	3.78	3.81	▲ 0.03	2.68	2.86	▲ 0.18	12.56
28	15	地域に活気・魅力があること	3.76	4.06	▲ 0.30	2.51	2.18	0.33	13.10
29	10	公園・運動施設等の利便性	3.54	3.43	0.11	2.80	2.83	▲ 0.03	11.34
30	4	平日の渋滞解消	3.46	3.29	0.17	3.02	3.00	0.02	10.29
31	3	休日の渋滞解消	3.43	3.26	0.17	2.98	3.05	▲ 0.07	10.37
32	16	ボランティア・NPOへの参加	3.04	3.00	0.04	2.73	2.72	0.00	9.95
項目全体の平均			3.98	4.02	▲ 0.03	2.73	2.69	0.04	13.03

(注) 網掛けは、重要度では平成 26 年度の点数が 25 年度に比べて上昇したことを示し、満足度では平成 26 年度の点数が平成 25 年度に比べて低下したことを示している。なお、点数の比較の際には、小数第 3 位以下も考慮している。
ニーズ得点の太字は、ニーズ得点が高い上位 3 項目を示している。

重要度が上昇したにも関わらず「満足度」が低下した項目は、「29. 失業の不安がない社会づくり」、「32. 多様な就業環境の整備」、「30. 保育所の充実」、「17. 男女が能力を発揮できる社会の実現」、「10. 公園・運動施設等の利便性」、「3. 休日の渋滞解消」となっています。

今回調査の重要度と満足度の関係図



『地域6（南西部）』においては、「20. 安心できる周産期医療体制」、「19. 急病時に診てもらえる医療機関」、「32. 多様な就業環境の整備」などのニーズ得点が高くなっています。

2-4 県全体と属性別の重要度・満足度の傾向の比較

(1) 地域別の重要度・満足度の比較

①県全体の重要度上位10項目及び地域別での比較

順位	項目番号	項目の略称	県全体	地域1 (北部)	地域2 (西部)	地域3 (中部)	地域4 (東部)	地域5 (南東部)	地域6 (南西部)
1	19	急病時に診てもらえる医療機関	4.57	4.59	4.55	4.53	4.50	4.71	4.50
2	14	犯罪にあう不安のない暮らし	4.50	4.53	4.53	4.50	4.43	4.49	4.31
3	7	子どもの暴力・いじめの撲滅	4.43	4.45	4.38	4.42	4.43	4.35	4.34
4	11	防災対策の充実	4.39	4.41	4.37	4.31	4.43	4.47	4.39
5	22	適切な介護サービスの充実	4.34	4.34	4.35	4.31	4.27	4.49	4.39
6	20	安心できる周産期医療体制	4.29	4.28	4.21	4.29	4.28	4.48	4.42
7	12	食品・薬品等の安全性の確保	4.27	4.32	4.26	4.20	4.20	4.24	4.27
8	29	失業の不安がない社会づくり	4.24	4.26	4.19	4.22	4.21	4.24	4.35
9	24	子どもが健全に育つ環境づくり	4.19	4.21	4.20	4.18	4.09	4.25	4.18
10	23	高齢者・障害者が安心できるまちづくり	4.18	4.18	4.23	4.16	4.12	4.22	4.20

(注) 網掛けは、地域での重要度が「県全体」よりも高いことを意味する。ただし、「県全体」と地域との比較の際に小数第3位以下も考慮しているため、点数が同じ場合に網掛けしていることがある。

『県全体』の重要度上位10項目を地域別にみると、『地域1（北部）』では『県全体』と比べ重要度が高い項目が多く、『地域3（中部）』、『地域4（東部）』では少なくなっています。

②地域別の重要度上位5項目の傾向

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
県全体	急病時に診てもらえる医療機関 4.57	犯罪にあう不安のない暮らし 4.50	子どもの暴力・いじめの撲滅 4.43	防災対策の充実 4.39	適切な介護サービスの充実 4.34
地域1 (北部)	急病時に診てもらえる医療機関 4.59	犯罪にあう不安のない暮らし 4.53	子どもの暴力・いじめの撲滅 4.45	防災対策の充実 4.41	適切な介護サービスの充実 4.34
地域2 (西部)	急病時に診てもらえる医療機関 4.55	犯罪にあう不安のない暮らし 4.53	子どもの暴力・いじめの撲滅 4.38	防災対策の充実 4.37	適切な介護サービスの充実 4.35
地域3 (中部)	急病時に診てもらえる医療機関 4.53	犯罪にあう不安のない暮らし 4.50	子どもの暴力・いじめの撲滅 4.42	防災対策の充実 4.31	適切な介護サービスの充実 4.31
地域4 (東部)	急病時に診てもらえる医療機関 4.50	犯罪にあう不安のない暮らし 4.43	防災対策の充実 4.43	子どもの暴力・いじめの撲滅 4.43	安心できる周産期医療体制 4.28
地域5 (南東部)	急病時に診てもらえる医療機関 4.71	適切な介護サービスの充実 4.49	犯罪にあう不安のない暮らし 4.49	安心できる周産期医療体制 4.48	防災対策の充実 4.47
地域6 (南西部)	急病時に診てもらえる医療機関 4.50	安心できる周産期医療体制 4.42	防災対策の充実 適切な介護サービスの充実 4.39	失業の不安がない社会づくり 4.35	子どもの暴力・いじめの撲滅 4.34

(注) 網掛けは、地域にはあるが「県全体」の上位5項目にはない項目。点数表記は小数第2位までだが、順位の決定に小数第3位以下も考慮している。

地域別の重要度上位5項目で、個別の地域にあるが『県全体』にはない項目は、「安心できる周産期医療体制」、「失業の不安がない社会づくり」となっています。

③県全体の満足度上位 10 項目と下位 10 項目及び地域別での比較

順位	項目 番号	項目の略称	県全体	地域 1 (北部)	地域 2 (西部)	地域 3 (中部)	地域 4 (東部)	地域 5 (南東部)	地域 6 (南西部)
1	8	文化遺産や史跡の保存	3.53	3.58	3.56	3.49	3.47	3.46	3.30
2	28	ゴミのリサイクルの促進	3.20	3.18	3.23	3.19	3.25	3.36	3.15
3	26	地域の景観・町並の美しさ	3.17	3.19	3.18	3.14	3.12	3.21	3.05
4	14	犯罪にあう不安のない暮らし	3.13	3.16	3.14	3.05	3.12	3.16	3.24
5	12	食品・薬品等の安全性の確保	3.11	3.11	3.15	3.14	3.08	2.98	2.94
6	4	平日の渋滞解消	3.09	3.07	3.12	3.09	3.20	3.12	3.02
7	1	品揃えの豊富な店	3.07	3.18	3.19	3.29	2.68	2.15	2.38
8	9	生涯を通じた教養・趣味の拡大	3.03	3.06	3.11	3.01	3.03	2.92	2.68
9	2	公共交通の利便性	3.02	3.22	3.20	3.11	2.56	2.04	2.01
10	31	県内で購入可能な商品の充実	2.98	2.97	2.98	3.02	3.06	2.92	2.74
⋮	⋮	⋮							
23	19	急病時に診てもらえる医療機関	2.80	2.89	2.88	2.82	2.67	2.34	2.36
24	17	男女が能力を発揮できる社会の実現	2.79	2.82	2.86	2.77	2.71	2.68	2.56
25	23	高齢者・障害者が安心できるまちづくり	2.77	2.79	2.83	2.74	2.75	2.62	2.73
26	11	防災対策の充実	2.77	2.79	2.88	2.72	2.73	2.69	2.67
27	20	安心できる周産期医療体制	2.72	2.81	2.84	2.71	2.66	2.17	2.11
28	13	自主防災対策の充実	2.71	2.74	2.74	2.67	2.60	2.65	2.72
29	15	地域に活気・魅力があること	2.70	2.77	2.78	2.73	2.40	2.32	2.51
30	29	失業の不安がない社会づくり	2.68	2.74	2.70	2.63	2.63	2.49	2.49
31	32	多様な就業環境の整備	2.59	2.63	2.59	2.57	2.58	2.46	2.25
32	18	市町村行政に対する住民意向の反映	2.57	2.59	2.66	2.53	2.43	2.60	2.53

(注) 網掛け・白抜きは、地域での満足度が「県全体」よりも低いことを意味する。ただし、「県全体」と地域との比較の際に小数第 3 位以下も考慮しているため、点数が同じ場合に網掛けしていることがある。

『県全体』の満足度の上位・下位 10 項目について地域別でみると、『地域 1 (北部)』、『地域 2 (西部)』では『県全体』を下回る項目が少ないのに比べ、他の地域では『県全体』を下回る項目が多くなっています。

④地域別の満足度上位5項目の傾向

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
県全体	文化遺産や史跡の保存	ゴミのリサイクルの促進	地域の景観・町並の美しさ	犯罪にあう不安のない暮らし	食品・薬品等の安全性の確保
	3.53	3.20	3.17	3.13	3.11
地域1 (北部)	文化遺産や史跡の保存	公共交通の利便性	地域の景観・町並の美しさ	品揃えの豊富な店	ゴミのリサイクルの促進
	3.58	3.22	3.19	3.18	3.18
地域2 (西部)	文化遺産や史跡の保存	ゴミのリサイクルの促進	公共交通の利便性	品揃えの豊富な店	地域の景観・町並の美しさ
	3.56	3.23	3.20	3.19	3.18
地域3 (中部)	文化遺産や史跡の保存	品揃えの豊富な店	ゴミのリサイクルの促進	食品・薬品等の安全性の確保	地域の景観・町並の美しさ
	3.49	3.29	3.19	3.14	3.14
地域4 (東部)	文化遺産や史跡の保存	ゴミのリサイクルの促進	平日の渋滞解消	休日の渋滞解消	犯罪にあう不安のない暮らし
	3.47	3.25	3.20	3.18	3.12
地域5 (南東部)	文化遺産や史跡の保存	ゴミのリサイクルの促進	保育所の充実	地域の景観・町並の美しさ	犯罪にあう不安のない暮らし
	3.46	3.36	3.24	3.21	3.16
地域6 (南西部)	文化遺産や史跡の保存	犯罪にあう不安のない暮らし	ゴミのリサイクルの促進	地域の景観・町並の美しさ	平日の渋滞解消
	3.30	3.24	3.15	3.05	3.02

(注) 網掛けは、地域にはあるが「県全体」の上位5項目にはない項目。点数表記は小数第2位までだが、順位の決定に小数第3位以下も考慮している。

地域別の満足度上位5項目で、個別の地域にあるが『県全体』にはない項目は、「品揃えの豊富な店」、「公共交通の利便性」、「平日の渋滞解消」、「休日の渋滞解消」、「保育所の充実」となっています。

⑤地域別の満足度下位5項目の傾向

	第32位	第31位	第30位	第29位	第28位
県全体	市町村行政に対する住民意向の反映	多様な就業環境の整備	失業の不安がない社会づくり	地域に活気・魅力があること	自主防災対策の充実
	2.57	2.59	2.68	2.70	2.71
地域1 (北部)	市町村行政に対する住民意向の反映	多様な就業環境の整備	自主防災対策の充実	失業の不安がない社会づくり	地域に活気・魅力があること
	2.59	2.63	2.74	2.74	2.77
地域2 (西部)	多様な就業環境の整備	市町村行政に対する住民意向の反映	失業の不安がない社会づくり	自主防災対策の充実	地域に活気・魅力があること
	2.59	2.66	2.70	2.74	2.78
地域3 (中部)	市町村行政に対する住民意向の反映	多様な就業環境の整備	失業の不安がない社会づくり	自主防災対策の充実	安心できる周産期医療体制
	2.53	2.57	2.63	2.67	2.71
地域4 (東部)	地域に活気・魅力があること	市町村行政に対する住民意向の反映	公共交通の利便性	多様な就業環境の整備	自主防災対策の充実
	2.40	2.43	2.56	2.58	2.60
地域5 (南東部)	公共交通の利便性	品揃えの豊富な店	安心できる周産期医療体制	地域に活気・魅力があること	急病時に診てもらえる医療機関
	2.04	2.15	2.17	2.32	2.34
地域6 (南西部)	公共交通の利便性	安心できる周産期医療体制	多様な就業環境の整備	急病時に診てもらえる医療機関	品揃えの豊富な店
	2.01	2.11	2.25	2.36	2.38

(注) 網掛けは、地域にはあるが「県全体」の下位5項目にはない項目。点数表記は小数第2位までだが、順位の決定に小数第3位以下も考慮している。

地域別の満足度下位5項目で、個別の地域にあるが『県全体』にはない項目は、「安心できる周産期医療体制」、「公共交通の利便性」、「品揃えの豊富な店」、「急病時に診てもらえる医療機関」となっています。

(2) ライフステージ別の重要度・満足度の比較

①県全体の重要度上位10項目及びライフステージ別での比較

順位	項目番号	項目の略称	県全体	若者	夫婦	育児期	教育期前期	教育期後期	単身高齢者	高齢者夫婦
1	19	急病時に診てもらえる医療機関	4.57	4.55	4.59	4.66	4.60	4.66	4.25	4.25
2	14	犯罪にあう不安のない暮らし	4.50	4.58	4.57	4.62	4.58	4.62	4.11	4.12
3	7	子どもの暴力・いじめの撲滅	4.43	4.41	4.37	4.69	4.61	4.52	3.99	4.01
4	11	防災対策の充実	4.39	4.45	4.38	4.44	4.40	4.49	3.96	4.02
5	22	適切な介護サービスの充実	4.34	4.11	4.35	4.29	4.26	4.36	4.11	4.04
6	20	安心できる周産期医療体制	4.29	4.45	4.22	4.51	4.31	4.38	3.89	3.94
7	12	食品・薬品等の安全性の確保	4.27	4.37	4.35	4.33	4.31	4.35	3.90	3.92
8	29	失業の不安がない社会づくり	4.24	4.23	4.18	4.30	4.29	4.29	3.83	3.87
9	24	子どもが健全に育つ環境づくり	4.19	4.18	4.07	4.42	4.31	4.21	3.94	3.88
10	23	高齢者・障害者が安心できるまちづくり	4.18	4.17	4.20	4.21	4.17	4.16	3.96	3.88

(注) 網掛けは、ライフステージ別の重要度が「県全体」よりも高いことを意味する。ただし、「県全体」とライフステージ別との比較の際に小数第3位以下も考慮しているため、点数が同じ場合に網掛けしていることがある。

『県全体』の重要度上位10項目をライフステージ別にみると、『単身高齢者』、『高齢者夫婦』で『県全体』と比べ重要度が高い項目が1項目もなく、他のライフステージでは重要度の高い項目が多くなっています。

②ライフステージ別の重要度上位5項目の傾向

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
県全体	急病時に診てもらえる医療機関 4.57	犯罪にあう不安のない暮らし 4.50	子どもの暴力・いじめの撲滅 4.43	防災対策の充実 4.39	適切な介護サービスの充実 4.34
若者	犯罪にあう不安のない暮らし 4.58	急病時に診てもらえる医療機関 4.55	防災対策の充実 4.45	安心できる周産期医療体制 4.45	子どもの暴力・いじめの撲滅 4.41
夫婦	急病時に診てもらえる医療機関 4.59	犯罪にあう不安のない暮らし 4.57	防災対策の充実 4.38	子どもの暴力・いじめの撲滅 4.37	食品・薬品等の安全性の確保 4.35
育児期	子どもの暴力・いじめの撲滅 4.69	急病時に診てもらえる医療機関 4.66	犯罪にあう不安のない暮らし 4.62	安心できる周産期医療体制 4.51	能力を伸ばす小中学校教育 4.45
教育期前期	子どもの暴力・いじめの撲滅 4.61	急病時に診てもらえる医療機関 4.60	犯罪にあう不安のない暮らし 4.58	防災対策の充実 4.40	子どもが健全に育つ環境づくり 4.31
教育期後期	急病時に診てもらえる医療機関 4.66	犯罪にあう不安のない暮らし 4.62	子どもの暴力・いじめの撲滅 4.52	防災対策の充実 4.49	安心できる周産期医療体制 4.38
単身高齢者	急病時に診てもらえる医療機関 4.25	犯罪にあう不安のない暮らし 4.11	適切な介護サービスの充実 4.11	子どもの暴力・いじめの撲滅 3.99	防災対策の充実 3.96
高齢者夫婦	急病時に診てもらえる医療機関 4.25	犯罪にあう不安のない暮らし 4.12	適切な介護サービスの充実 4.04	防災対策の充実 4.02	子どもの暴力・いじめの撲滅 4.01

(注) 網掛けは、ライフステージ別にはあるが「県全体」の上位5項目にはない項目。点数表記は小数第2位までだが、順位の決定に小数第3位以下も考慮している。

ライフステージ別の重要度上位5項目で、個別のライフステージにあるが『県全体』にはない項目は、「安心できる周産期医療体制」、「食品・薬品等の安全性の確保」、「能力を伸ばす小中学校教育」、「子どもが健全に育つ環境づくり」となっています。

③県全体の満足度上位 10 項目と下位 10 項目及びライフステージ別での比較

順位	項目 番号	項目の略称	県全体	若者	夫婦	育児期	教育期 前期	教育期 後期	単身 高齢者	高齢者 夫婦
1	8	文化遺産や史跡の保存	3.53	3.70	3.48	3.44	3.54	3.50	3.55	3.41
2	28	ゴミのリサイクルの促進	3.20	3.02	3.10	3.01	3.19	3.22	3.30	3.11
3	26	地域の景観・町並の美しさ	3.17	3.27	3.15	3.14	3.20	3.18	3.16	3.03
4	14	犯罪にあう不安のない暮らし	3.13	3.20	3.16	3.05	3.12	3.13	3.13	3.08
5	12	食品・薬品等の安全性の確保	3.11	3.24	3.03	3.07	3.11	3.14	3.14	3.06
6	4	平日の渋滞解消	3.09	2.98	3.11	3.04	3.12	3.10	3.11	3.02
7	1	品揃えの豊富な店	3.07	2.96	2.98	3.03	3.09	3.14	2.95	2.87
8	9	生涯を通じた教養・趣味の拡大	3.03	2.94	2.90	2.87	2.99	3.07	3.11	2.98
9	2	公共交通の利便性	3.02	2.71	3.03	2.88	2.99	2.99	3.04	2.77
10	31	県内で購入可能な商品の充実	2.98	2.72	2.85	2.83	3.00	3.01	3.14	2.91
：	：	：								
23	19	急病時に診てもらえる医療機関	2.80	2.87	2.67	2.79	2.83	2.83	2.91	2.72
24	17	男女が能力を発揮できる社会の実現	2.79	2.84	2.74	2.75	2.80	2.79	2.80	2.74
25	23	高齢者・障害者が安心できるまちづくり	2.77	2.90	2.71	2.78	2.80	2.82	2.84	2.74
26	11	防災対策の充実	2.77	2.81	2.69	2.78	2.80	2.87	2.80	2.71
27	20	安心できる周産期医療体制	2.72	2.83	2.59	2.74	2.78	2.74	2.78	2.63
28	13	自主防災対策の充実	2.71	2.69	2.69	2.71	2.68	2.73	2.77	2.67
29	15	地域に活気・魅力があること	2.70	2.66	2.70	2.75	2.74	2.72	2.73	2.59
30	29	失業の不安がない社会づくり	2.68	2.77	2.68	2.64	2.70	2.76	2.71	2.59
31	32	多様な就業環境の整備	2.59	2.53	2.59	2.51	2.57	2.63	2.70	2.50
32	18	市町村行政に対する住民意向の反映	2.57	2.65	2.50	2.45	2.54	2.65	2.64	2.54

(注) 網掛け・白抜きは、ライフステージ別での満足度が「県全体」よりも低いことを意味する。ただし、「県全体」とライフステージ別との比較の際に小数第3位以下も考慮しているため、点数が同じ場合に網掛けしていることがある。

『県全体』の満足度の上位・下位 10 項目についてライフステージ別でみると、『教育期後期』、『単身高齢者』では『県全体』を下回る項目が少ないのに比べ、他の地域では『県全体』を下回る項目が多くなっています。

④ライフステージ別の満足度上位5項目の傾向

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
県全体	文化遺産や史跡の保存	ゴミのリサイクルの促進	地域の景観・町並の美しさ	犯罪にあう不安のない暮らし	食品・薬品等の安全性の確保
	3.53	3.20	3.17	3.13	3.11
若者	文化遺産や史跡の保存	地域の景観・町並の美しさ	食品・薬品等の安全性の確保	犯罪にあう不安のない暮らし	精神的な緊張の軽減
	3.70	3.27	3.24	3.20	3.16
夫婦	文化遺産や史跡の保存	犯罪にあう不安のない暮らし	地域の景観・町並の美しさ	平日の渋滞解消	ゴミのリサイクルの促進
	3.48	3.16	3.15	3.11	3.10
育児期	文化遺産や史跡の保存	地域の景観・町並の美しさ	食品・薬品等の安全性の確保	犯罪にあう不安のない暮らし	平日の渋滞解消
	3.44	3.14	3.07	3.05	3.04
教育期前期	文化遺産や史跡の保存	地域の景観・町並の美しさ	ゴミのリサイクルの促進	平日の渋滞解消	犯罪にあう不安のない暮らし
	3.54	3.20	3.19	3.12	3.12
教育期後期	文化遺産や史跡の保存	ゴミのリサイクルの促進	地域の景観・町並の美しさ	品揃えの豊富な店	食品・薬品等の安全性の確保
	3.50	3.22	3.18	3.14	3.14
単身高齢者	文化遺産や史跡の保存	ゴミのリサイクルの促進	地域の景観・町並の美しさ	県内で購入可能な商品の充実	食品・薬品等の安全性の確保
	3.55	3.30	3.16	3.14	3.14
高齢者夫婦	文化遺産や史跡の保存	ゴミのリサイクルの促進	犯罪にあう不安のない暮らし	食品・薬品等の安全性の確保	地域の景観・町並の美しさ
	3.41	3.11	3.08	3.06	3.03

(注) 網掛けは、ライフステージ別にはあるが「県全体」の上位5項目にはない項目。点数表記は小数第2位までだが、順位の決定に小数第3位以下も考慮している。

ライフステージ別の満足度上位5項目で、個別のライフステージにあるが『県全体』にはない項目は、「精神的な緊張の軽減」、「平日の渋滞解消」、「品揃えの豊富な店」、「県内で購入可能な商品の充実」となっています。

⑤ライフステージ別の満足度下位5項目の傾向

	第32位	第31位	第30位	第29位	第28位
県全体	市町村行政に対する住民意向の反映	多様な就業環境の整備	失業の不安がない社会づくり	地域に活気・魅力があること	自主防災対策の充実
	2.57	2.59	2.68	2.70	2.71
若者	多様な就業環境の整備	市町村行政に対する住民意向の反映	地域に活気・魅力があること	自主防災対策の充実	公共交通の利便性
	2.53	2.65	2.66	2.69	2.71
夫婦	市町村行政に対する住民意向の反映	安心できる周産期医療体制	多様な就業環境の整備	急病時に診てもらえる医療機関	失業の不安がない社会づくり
	2.50	2.59	2.59	2.67	2.68
育児期	市町村行政に対する住民意向の反映	多様な就業環境の整備	失業の不安がない社会づくり	自主防災対策の充実	保育所の充実
	2.45	2.51	2.64	2.71	2.73
教育期前期	市町村行政に対する住民意向の反映	多様な就業環境の整備	自主防災対策の充実	失業の不安がない社会づくり	地域に活気・魅力があること
	2.54	2.57	2.68	2.70	2.74
教育期後期	多様な就業環境の整備	市町村行政に対する住民意向の反映	地域に活気・魅力があること	自主防災対策の充実	安心できる周産期医療体制
	2.63	2.65	2.72	2.73	2.74
単身高齢者	市町村行政に対する住民意向の反映	多様な就業環境の整備	失業の不安がない社会づくり	地域に活気・魅力があること	自主防災対策の充実
	2.64	2.70	2.71	2.73	2.77
高齢者夫婦	多様な就業環境の整備	市町村行政に対する住民意向の反映	地域に活気・魅力があること	失業の不安がない社会づくり	安心できる周産期医療体制
	2.50	2.54	2.59	2.59	2.63

(注) 網掛けは、ライフステージ別にはあるが「県全体」の下位5項目にはない項目。点数表記は小数第2位までだが、順位の決定に小数第3位以下も考慮している。

ライフステージ別の満足度下位5項目で、個別のライフステージにあるが『県全体』にはない項目は、「公共交通の利便性」、「安心できる周産期医療体制」、「急病時に診てもらえる医療機関」、「保育所の充実」となっています。

(3) 性別の重要度・満足度の比較

①県全体の重要度上位 10 項目及び性別での比較

順位	項目番号	項目の略称	県全体	男性	女性
1	19	急病時に診てもらえる医療機関	4.57	4.52	4.61
2	14	犯罪にあう不安のない暮らし	4.50	4.42	4.57
3	7	子どもの暴力・いじめの撲滅	4.43	4.35	4.49
4	11	防災対策の充実	4.39	4.31	4.45
5	22	適切な介護サービスの充実	4.34	4.23	4.43
6	20	安心できる周産期医療体制	4.29	4.24	4.32
7	12	食品・薬品等の安全性の確保	4.27	4.19	4.34
8	29	失業の不安がない社会づくり	4.24	4.14	4.32
9	24	子どもが健全に育つ環境づくり	4.19	4.12	4.26
10	23	高齢者・障害者が安心できるまちづくり	4.18	4.06	4.27

(注) 網掛けは、性別での重要度が「県全体」よりも高いことを意味する。ただし、「県全体」と性別との比較の際に小数第3位以下も考慮しているため、点数が同じ場合に網掛けしていることがある。

『県全体』の重要度上位 10 項目を性別にみると、『女性』では 10 項目すべての重要度が『男性』と比べて高くなっています。

②性別の重要度上位 5 項目の傾向

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
県全体	急病時に診てもらえる医療機関	犯罪にあう不安のない暮らし	子どもの暴力・いじめの撲滅	防災対策の充実	適切な介護サービスの充実
	4.57	4.50	4.43	4.39	4.34
男性	急病時に診てもらえる医療機関	犯罪にあう不安のない暮らし	子どもの暴力・いじめの撲滅	防災対策の充実	安心できる周産期医療体制
	4.52	4.42	4.35	4.31	4.24
女性	急病時に診てもらえる医療機関	犯罪にあう不安のない暮らし	子どもの暴力・いじめの撲滅	防災対策の充実	適切な介護サービスの充実
	4.61	4.57	4.49	4.45	4.43

(注) 網掛けは、性別にはあるが「県全体」の上位 5 項目にはない項目。点数表記は小数第2位までだが、順位の決定に小数第3位以下も考慮している。

性別の重要度上位 5 項目で、性別にあるが『県全体』にはない項目は、「安心できる周産期医療体制」となっています。

③県全体の満足度上位 10 項目と下位 10 項目及び性別での比較

順位	項目番号	項目の略称	県全体	男性	女性
1	8	文化遺産や史跡の保存	3.53	3.50	3.56
2	28	ゴミのリサイクルの促進	3.20	3.18	3.22
3	26	地域の景観・町並の美しさ	3.17	3.15	3.19
4	14	犯罪にあう不安のない暮らし	3.13	3.14	3.12
5	12	食品・薬品等の安全性の確保	3.11	3.11	3.11
6	4	平日の渋滞解消	3.09	2.99	3.17
7	1	品揃えの豊富な店	3.07	3.12	3.04
8	9	生涯を通じた教養・趣味の拡大	3.03	3.03	3.02
9	2	公共交通の利便性	3.02	3.06	2.99
10	31	県内で購入可能な商品の充実	2.98	2.98	2.98
⋮	⋮	⋮			
23	19	急病時に診てもらえる医療機関	2.80	2.85	2.76
24	17	男女が能力を発揮できる社会の実現	2.79	2.80	2.78
25	23	高齢者・障害者が安心できるまちづくり	2.77	2.78	2.76
26	11	防災対策の充実	2.77	2.75	2.78
27	20	安心できる周産期医療体制	2.72	2.74	2.70
28	13	自主防災対策の充実	2.71	2.74	2.68
29	15	地域に活気・魅力があること	2.70	2.66	2.73
30	29	失業の不安がない社会づくり	2.68	2.64	2.71
31	32	多様な就業環境の整備	2.59	2.60	2.58
32	18	市町村行政に対する住民意向の反映	2.57	2.53	2.60

(注) 網掛け・白抜きは、性別での満足度が「県全体」よりも低いことを意味する。ただし、「県全体」と性別との比較の際に小数第3位以下も考慮しているため、点数が同じ場合に網掛けしていることがある。

『県全体』の満足度の上位・下位 10 項目について性別でみると、『男性』では『県全体』を下回る項目が 8 項目に比べ、『女性』では『県全体』を下回る項目が 11 項目と多くなっています。

④性別の満足度上位5項目の傾向

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
県全体	文化遺産や史跡の保存	ゴミのリサイクルの促進	地域の景観・町並の美しさ	犯罪にあう不安のない暮らし	食品・薬品等の安全性の確保
	3.53	3.20	3.17	3.13	3.11
男性	文化遺産や史跡の保存	ゴミのリサイクルの促進	地域の景観・町並の美しさ	犯罪にあう不安のない暮らし	品揃えの豊富な店
	3.50	3.18	3.15	3.14	3.12
女性	文化遺産や史跡の保存	ゴミのリサイクルの促進	地域の景観・町並の美しさ	平日の渋滞解消	犯罪にあう不安のない暮らし
	3.56	3.22	3.19	3.17	3.12

(注) 網掛けは、性別にはあるが「県全体」の上位5項目にはない項目。点数表記は小数第2位までだが、順位の決定に小数第3位以下も考慮している。

性別の満足度上位5項目で、性別にはあるが『県全体』にはない項目は、「平日の渋滞解消」となっています。

⑤性別の満足度下位5項目の傾向

	第32位	第31位	第30位	第29位	第28位
県全体	市町村行政に対する住民意向の反映	多様な就業環境の整備	失業の不安がない社会づくり	地域に活気・魅力があること	自主防災対策の充実
	2.57	2.59	2.68	2.70	2.71
男性	市町村行政に対する住民意向の反映	多様な就業環境の整備	失業の不安がない社会づくり	地域に活気・魅力があること	安心できる周産期医療体制
	2.53	2.60	2.64	2.66	2.74
女性	多様な就業環境の整備	市町村行政に対する住民意向の反映	自主防災対策の充実	安心できる周産期医療体制	失業の不安がない社会づくり
	2.58	2.60	2.68	2.70	2.71

(注) 網掛けは、性別にはあるが「県全体」の下位5項目にはない項目。点数表記は小数第2位までだが、順位の決定に小数第3位以下も考慮している。

性別の満足度下位5項目で、性別にはあるが『県全体』にはない項目は、「安心できる周産期医療体制」となっています。

（４）年齢別の重要度・満足度の比較

①県全体の重要度上位 10 項目及び年齢別での比較

順位	項目番号	項目の略称	県全体	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代以上
1	19	急病時に診てもらえる医療機関	4.57	4.63	4.60	4.57	4.61	4.52	4.56
2	14	犯罪にあう不安のない暮らし	4.50	4.62	4.64	4.61	4.58	4.41	4.36
3	7	子どもの暴力・いじめの撲滅	4.43	4.40	4.53	4.52	4.42	4.40	4.34
4	11	防災対策の充実	4.39	4.50	4.47	4.44	4.46	4.33	4.26
5	22	適切な介護サービスの充実	4.34	4.17	4.28	4.31	4.39	4.37	4.39
6	20	安心できる周産期医療体制	4.29	4.51	4.39	4.22	4.30	4.28	4.22
7	12	食品・薬品等の安全性の確保	4.27	4.38	4.36	4.33	4.33	4.23	4.15
8	29	失業の不安がない社会づくり	4.24	4.36	4.36	4.30	4.33	4.14	4.14
9	24	子どもが健全に育つ環境づくり	4.19	4.20	4.32	4.22	4.17	4.14	4.19
10	23	高齢者・障害者が安心できるまちづくり	4.18	4.11	4.13	4.21	4.22	4.15	4.20

（注）網掛けは、年齢別での重要度が「県全体」よりも高いことを意味する。ただし、「県全体」と年齢別との比較の際に小数第3位以下も考慮しているため、点数が同じ場合に網掛けしていることがある。

『県全体』の重要度上位 10 項目を年齢別にみると、『60 歳代』以上で『県全体』と比べ重要度が高い項目が少なく、他の年齢層で高くなっています。

②年齢別の重要度上位 5 項目の傾向

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
県全体	急病時に診てもらえる医療機関 4.57	犯罪にあう不安のない暮らし 4.50	子どもの暴力・いじめの撲滅 4.43	防災対策の充実 4.39	適切な介護サービスの充実 4.34
20歳代	急病時に診てもらえる医療機関 4.63	犯罪にあう不安のない暮らし 4.62	安心できる周産期医療体制 4.51	防災対策の充実 4.50	子どもの暴力・いじめの撲滅 4.40
30歳代	犯罪にあう不安のない暮らし 4.64	急病時に診てもらえる医療機関 4.60	子どもの暴力・いじめの撲滅 4.53	防災対策の充実 4.47	安心できる周産期医療体制 4.39
40歳代	犯罪にあう不安のない暮らし 4.61	急病時に診てもらえる医療機関 4.57	子どもの暴力・いじめの撲滅 4.52	防災対策の充実 4.44	食品・薬品等の安全性の確保 4.33
50歳代	急病時に診てもらえる医療機関 4.61	犯罪にあう不安のない暮らし 4.58	防災対策の充実 4.46	子どもの暴力・いじめの撲滅 4.42	適切な介護サービスの充実 4.39
60歳代	急病時に診てもらえる医療機関 4.52	犯罪にあう不安のない暮らし 4.41	子どもの暴力・いじめの撲滅 4.40	適切な介護サービスの充実 4.37	防災対策の充実 4.33
70歳代以上	急病時に診てもらえる医療機関 4.56	適切な介護サービスの充実 4.39	犯罪にあう不安のない暮らし 4.36	子どもの暴力・いじめの撲滅 4.34	防災対策の充実 4.26

（注）網掛けは、年齢別にはあるが「県全体」の上位 5 項目にはない項目。点数表記は小数第 2 位までだが、順位の決定に小数第 3 位以下も考慮している。

年齢別の重要度上位 5 項目で、個別の年齢にあるが『県全体』にはない項目は、「安心できる周産期医療体制」、「食品・薬品等の安全性の確保」となっています。

③県全体の満足度上位 10 項目と下位 10 項目及び年齢別での比較

順位	項目 番号	項目の略称	県全体	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代 以上
1	8	文化遺産や史跡の保存	3.53	3.67	3.48	3.51	3.45	3.50	3.64
2	28	ゴミのリサイクルの促進	3.20	3.09	3.01	3.07	3.11	3.23	3.49
3	26	地域の景観・町並の美しさ	3.17	3.24	3.19	3.09	3.11	3.09	3.34
4	14	犯罪にあう不安のない暮らし	3.13	3.18	3.14	3.10	3.06	3.12	3.22
5	12	食品・薬品等の安全性の確保	3.11	3.25	3.12	3.10	3.00	3.07	3.19
6	4	平日の渋滞解消	3.09	3.08	3.03	3.07	3.02	3.09	3.21
7	1	品揃えの豊富な店	3.07	2.92	2.99	3.18	3.08	3.08	3.08
8	9	生涯を通じた教養・趣味の拡大	3.03	2.98	2.91	2.94	2.93	3.05	3.24
9	2	公共交通の利便性	3.02	2.82	2.88	3.05	2.96	3.07	3.13
10	31	県内で購入可能な商品の充実	2.98	2.67	2.80	2.89	2.97	3.02	3.21
⋮	⋮	⋮							
23	19	急病時に診てもらえる医療機関	2.80	2.82	2.73	2.72	2.66	2.79	3.03
24	17	男女が能力を発揮できる社会の実現	2.79	2.87	2.79	2.80	2.73	2.74	2.86
25	23	高齢者・障害者が安心できるまちづくり	2.77	2.79	2.78	2.76	2.63	2.74	2.91
26	11	防災対策の充実	2.77	2.75	2.74	2.79	2.67	2.74	2.89
27	20	安心できる周産期医療体制	2.72	2.76	2.72	2.73	2.57	2.68	2.86
28	13	自主防災対策の充実	2.71	2.69	2.67	2.67	2.62	2.70	2.85
29	15	地域に活気・魅力があること	2.70	2.68	2.77	2.70	2.59	2.66	2.81
30	29	失業の不安がない社会づくり	2.68	2.68	2.74	2.63	2.64	2.67	2.74
31	32	多様な就業環境の整備	2.59	2.54	2.58	2.48	2.53	2.58	2.76
32	18	市町村行政に対する住民意向の反映	2.57	2.59	2.50	2.50	2.50	2.56	2.73

(注) 網掛け・白抜きは、年齢別での満足度が「県全体」よりも低いことを意味する。ただし、「県全体」と年齢別との比較の際に小数第3位以下も考慮しているため、点数が同じ場合に網掛けしていることがある。

『県全体』の満足度の上位・下位 10 項目について年齢別でみると、『70 歳代以上』では『県全体』を下回る項目が 1 項目もないのに比べ、『60 歳代』以下では『県全体』を下回る項目が多くなっています。

④年齢別の満足度上位5項目の傾向

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
県全体	文化遺産や史跡の保存	ゴミのリサイクルの促進	地域の景観・町並の美しさ	犯罪にあう不安のない暮らし	食品・薬品等の安全性の確保
	3.53	3.20	3.17	3.13	3.11
20歳代	文化遺産や史跡の保存	食品・薬品等の安全性の確保	地域の景観・町並の美しさ	犯罪にあう不安のない暮らし	ゴミのリサイクルの促進
	3.67	3.25	3.24	3.18	3.09
30歳代	文化遺産や史跡の保存	地域の景観・町並の美しさ	犯罪にあう不安のない暮らし	食品・薬品等の安全性の確保	平日の渋滞解消
	3.48	3.19	3.14	3.12	3.03
40歳代	文化遺産や史跡の保存	品揃えの豊富な店	犯罪にあう不安のない暮らし 食品・薬品等の安全性の確保	地域の景観・町並の美しさ	平日の渋滞解消
	3.51	3.18	3.10	3.09	3.07
50歳代	文化遺産や史跡の保存	地域の景観・町並の美しさ	ゴミのリサイクルの促進	品揃えの豊富な店	犯罪にあう不安のない暮らし
	3.45	3.11	3.11	3.08	3.06
60歳代	文化遺産や史跡の保存	ゴミのリサイクルの促進	犯罪にあう不安のない暮らし	平日の渋滞解消	地域の景観・町並の美しさ
	3.50	3.23	3.12	3.09	3.09
70歳代以上	文化遺産や史跡の保存	ゴミのリサイクルの促進	地域の景観・町並の美しさ	生涯を通じて教養・趣味の拡大	犯罪にあう不安のない暮らし
	3.64	3.49	3.34	3.24	3.22

(注) 網掛けは、年齢別にはあるが「県全体」の上位5項目にはない項目。点数表記は小数第2位までだが、順位の決定に小数第3位以下も考慮している。

年齢別の満足度上位5項目で、個別の年齢にあるが『県全体』にはない項目は、「平日の渋滞解消」、「品揃えの豊富な店」、「生涯を通じて教養・趣味の拡大」となっています。

⑤年齢別の満足度下位5項目の傾向

	第32位	第31位	第30位	第29位	第28位
県全体	市町村行政に対する住民意向の反映	多様な就業環境の整備	失業の不安がない社会づくり	地域に活気・魅力があること	自主防災対策の充実
	2.57	2.59	2.68	2.70	2.71
20歳代	多様な就業環境の整備	市町村行政に対する住民意向の反映	県内で購入可能な商品の充実	失業の不安がない社会づくり	地域に活気・魅力があること
	2.54	2.59	2.67	2.68	2.68
30歳代	市町村行政に対する住民意向の反映	多様な就業環境の整備	自主防災対策の充実	安心できる周産期医療体制	急病時に診てもらえる医療機関
	2.50	2.58	2.67	2.72	2.73
40歳代	多様な就業環境の整備	市町村行政に対する住民意向の反映	失業の不安がない社会づくり	自主防災対策の充実	地域に活気・魅力があること
	2.48	2.50	2.63	2.67	2.70
50歳代	市町村行政に対する住民意向の反映	多様な就業環境の整備	安心できる周産期医療体制	地域に活気・魅力があること	自主防災対策の充実
	2.50	2.53	2.57	2.59	2.62
60歳代	市町村行政に対する住民意向の反映	多様な就業環境の整備	地域に活気・魅力があること	失業の不安がない社会づくり	安心できる周産期医療体制
	2.56	2.58	2.66	2.67	2.68
70歳代以上	市町村行政に対する住民意向の反映	失業の不安がない社会づくり	多様な就業環境の整備	地域に活気・魅力があること	自主防災対策の充実
	2.73	2.74	2.76	2.81	2.85

(注) 網掛けは、年齢別にはあるが「県全体」の下位5項目にはない項目。点数表記は小数第2位までだが、順位の決定に小数第3位以下も考慮している。

年齢別の満足度下位5項目で、個別の年齢にあるが『県全体』にはない項目は、「県内で購入可能な商品の充実」、「安心できる周産期医療体制」、「急病時に診てもらえる医療機関」となっています。

（５）旧住民・新住民別の重要度・満足度の比較

①県全体の重要度上位 10 項目及び旧住民・新住民別での比較

順位	項目番号	項目の略称	県全体	奈良県にずっと住んでいる人	奈良県に新しくきた人
1	19	急病時に診てもらえる医療機関	4.57	4.57	4.56
2	14	犯罪にあう不安のない暮らし	4.50	4.48	4.53
3	7	子どもの暴力・いじめの撲滅	4.43	4.42	4.44
4	11	防災対策の充実	4.39	4.41	4.37
5	22	適切な介護サービスの充実	4.34	4.33	4.35
6	20	安心できる周産期医療体制	4.29	4.32	4.25
7	12	食品・薬品等の安全性の確保	4.27	4.27	4.28
8	29	失業の不安がない社会づくり	4.24	4.25	4.23
9	24	子どもが健全に育つ環境づくり	4.19	4.19	4.20
10	23	高齢者・障害者が安心できるまちづくり	4.18	4.14	4.22

（注）網掛けは、旧住民・新住民別での重要度が「県全体」よりも高いことを意味する。ただし、「県全体」と、旧住民・新住民別との比較の際に小数第3位以下も考慮しているため、点数が同じ場合に網掛けしていることがある。

『県全体』の重要度上位 10 項目を旧住民・新住民別にみると、『奈良県にずっと住んでいる人』では『県全体』と比べ重要度が高い項目が少なく、『奈良県に新しくきた人』では多くなっています。

②旧住民・新住民別の重要度上位 5 項目の傾向

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
県全体	急病時に診てもらえる医療機関 4.57	犯罪にあう不安のない暮らし 4.50	子どもの暴力・いじめの撲滅 4.43	防災対策の充実 4.39	適切な介護サービスの充実 4.34
奈良県にずっと住んでいる人	急病時に診てもらえる医療機関 4.57	犯罪にあう不安のない暮らし 4.48	子どもの暴力・いじめの撲滅 4.42	防災対策の充実 4.41	適切な介護サービスの充実 4.33
奈良県に新しくきた人	急病時に診てもらえる医療機関 4.56	犯罪にあう不安のない暮らし 4.53	子どもの暴力・いじめの撲滅 4.44	防災対策の充実 4.37	適切な介護サービスの充実 4.35

（注）網掛けは、旧住民・新住民別にはあるが「県全体」の上位5項目にはない項目。点数表記は小数第2位までだが、順位の決定に小数第3位以下も考慮している。

旧住民・新住民別の重要度上位 5 項目で、旧住民・新住民別にあるが『県全体』にはない項目は、1 項目もない結果となっています。

③県全体の満足度上位 10 項目と下位 10 項目及び旧住民・新住民別での比較

順位	項目 番号	項目の略称	県全体	奈良県に ずっとす んでいる 人	奈良県に 新しくき た人
1	8	文化遺産や史跡の保存	3.53	3.49	3.57
2	28	ゴミのリサイクルの促進	3.20	3.18	3.23
3	26	地域の景観・町並の美しさ	3.17	3.09	3.24
4	14	犯罪にあう不安のない暮らし	3.13	3.12	3.15
5	12	食品・薬品等の安全性の確保	3.11	3.10	3.11
6	4	平日の渋滞解消	3.09	3.08	3.10
7	1	品揃えの豊富な店	3.07	2.97	3.18
8	9	生涯を通じた教養・趣味の拡大	3.03	3.00	3.05
9	2	公共交通の利便性	3.02	2.89	3.14
10	31	県内で購入可能な商品の充実	2.98	2.99	2.97
⋮	⋮	⋮			
23	19	急病時に診てもらえる医療機関	2.80	2.76	2.84
24	17	男女が能力を発揮できる社会の実現	2.79	2.76	2.82
25	23	高齢者・障害者が安心できるまちづくり	2.77	2.76	2.78
26	11	防災対策の充実	2.77	2.73	2.80
27	20	安心できる周産期医療体制	2.72	2.67	2.76
28	13	自主防災対策の充実	2.71	2.69	2.72
29	15	地域に活気・魅力があること	2.70	2.62	2.78
30	29	失業の不安がない社会づくり	2.68	2.63	2.73
31	32	多様な就業環境の整備	2.59	2.54	2.63
32	18	市町村行政に対する住民意向の反映	2.57	2.56	2.58

(注) 網掛け・白抜きは、旧住民・新住民別での満足度が「県全体」よりも低いことを意味する。ただし、「県全体」と、旧住民・新住民別との比較の際に小数第3位以下も考慮しているため、点数が同じ場合に網掛けしていることがある。

『県全体』の満足度の上位・下位 10 項目について旧住民・新住民別でみると、『奈良県に新しくきた人』では「県内で購入可能な商品の充実」をのぞいて『県全体』を下回る項目がない結果となっています。

④旧住民・新住民別の満足度上位5項目の傾向

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
県全体	文化遺産や史跡の保存	ゴミのリサイクルの促進	地域の景観・町並の美しさ	犯罪にあう不安のない暮らし	食品・薬品等の安全性の確保
	3.53	3.20	3.17	3.13	3.11
奈良県にずっと住んでいる人	文化遺産や史跡の保存	ゴミのリサイクルの促進	犯罪にあう不安のない暮らし	食品・薬品等の安全性の確保	地域の景観・町並の美しさ
	3.49	3.18	3.12	3.10	3.09
奈良県に新しくきた人	文化遺産や史跡の保存	地域の景観・町並の美しさ	ゴミのリサイクルの促進	品揃えの豊富な店	犯罪にあう不安のない暮らし
	3.57	3.24	3.23	3.18	3.15

(注) 網掛けは、旧住民・新住民別にはあるが「県全体」の上位5項目にはない項目。点数表記は小数第2位までだが、順位の決定に小数第3位以下も考慮している。

旧住民・新住民別の満足度上位5項目で、旧住民・新住民別にあるが『県全体』にはない項目は、「品揃えの豊富な店」となっています。

⑤旧住民・新住民別の満足度下位5項目の傾向

	第32位	第31位	第30位	第29位	第28位
県全体	市町村行政に対する住民意向の反映	多様な就業環境の整備	失業の不安がない社会づくり	地域に活気・魅力があること	自主防災対策の充実
	2.57	2.59	2.68	2.70	2.71
奈良県にずっと住んでいる人	多様な就業環境の整備	市町村行政に対する住民意向の反映	地域に活気・魅力があること	失業の不安がない社会づくり	安心できる周産期医療体制
	2.54	2.56	2.62	2.63	2.67
奈良県に新しくきた人	市町村行政に対する住民意向の反映	多様な就業環境の整備	自主防災対策の充実	失業の不安がない社会づくり	安心できる周産期医療体制
	2.58	2.63	2.72	2.73	2.76

(注) 網掛けは、旧住民・新住民別にはあるが「県全体」の下位5項目にはない項目。点数表記は小数第2位までだが、順位の決定に小数第3位以下も考慮している。

旧住民・新住民別の満足度下位5項目で、旧住民・新住民別にあるが『県全体』にはない項目は、「安心できる周産期医療体制」となっています。

（６）奈良での就労別の重要度・満足度の比較

①県全体の重要度上位 10 項目及び奈良での就労別での比較

順位	項目番号	項目の略称	県全体	奈良県内で働いている人	奈良県外で働いている人
1	19	急病時に診てもらえる医療機関	4.57	4.57	4.56
2	14	犯罪にあう不安のない暮らし	4.50	4.50	4.57
3	7	子どもの暴力・いじめの撲滅	4.43	4.45	4.40
4	11	防災対策の充実	4.39	4.42	4.35
5	22	適切な介護サービスの充実	4.34	4.31	4.22
6	20	安心できる周産期医療体制	4.29	4.32	4.24
7	12	食品・薬品等の安全性の確保	4.27	4.31	4.23
8	29	失業の不安がない社会づくり	4.24	4.31	4.25
9	24	子どもが健全に育つ環境づくり	4.19	4.20	4.15
10	23	高齢者・障害者が安心できるまちづくり	4.18	4.17	4.12

（注）網掛けは、奈良での就労別での重要度が「県全体」よりも高いことを意味する。ただし、「県全体」と、奈良での就労別との比較の際に小数第3位以下も考慮しているため、点数が同じ場合に網掛けしていることがある。

『県全体』の重要度上位 10 項目を奈良での就労別にみると、『奈良県内で働いている人』では『県全体』と比べて 2 項目が重要度が高く、『奈良県に新しくきた人』では 6 項目で重要度が高くなっています。

②奈良での就労別の重要度上位 5 項目の傾向

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
県全体	急病時に診てもらえる医療機関 4.57	犯罪にあう不安のない暮らし 4.50	子どもの暴力・いじめの撲滅 4.43	防災対策の充実 4.39	適切な介護サービスの充実 4.34
奈良県内で働いている人	急病時に診てもらえる医療機関 4.57	犯罪にあう不安のない暮らし 4.50	子どもの暴力・いじめの撲滅 4.45	防災対策の充実 4.42	安心できる周産期医療体制 4.32
奈良県外で働いている人	犯罪にあう不安のない暮らし 4.57	急病時に診てもらえる医療機関 4.56	子どもの暴力・いじめの撲滅 4.40	防災対策の充実 4.35	公共交通の利便性 4.29

（注）網掛けは、奈良での就労別にはあるが「県全体」の上位 5 項目にはない項目。点数表記は小数第2位までだが、順位の決定に小数第3位以下も考慮している。

奈良での就労別の重要度上位 5 項目で、個別の奈良での就労にあるが『県全体』にはない項目は、「安心できる周産期医療体制」、「公共交通の利便性」となっています。

③県全体の満足度上位 10 項目と下位 10 項目及び奈良での就労別での比較

順位	項目番号	項目の略称	県全体	奈良県内で働いている人	奈良県外で働いている人
1	8	文化遺産や史跡の保存	3.53	3.48	3.55
2	28	ゴミのリサイクルの促進	3.20	3.10	3.16
3	26	地域の景観・町並の美しさ	3.17	3.09	3.30
4	14	犯罪にあう不安のない暮らし	3.13	3.08	3.22
5	12	食品・薬品等の安全性の確保	3.11	3.11	3.04
6	4	平日の渋滞解消	3.09	2.99	3.09
7	1	品揃えの豊富な店	3.07	3.09	3.09
8	9	生涯を通じた教養・趣味の拡大	3.03	2.97	2.96
9	2	公共交通の利便性	3.02	2.90	3.23
10	31	県内で購入可能な商品の充実	2.98	2.92	2.86
⋮	⋮	⋮			
23	19	急病時に診てもらえる医療機関	2.80	2.70	2.79
24	17	男女が能力を発揮できる社会の実現	2.79	2.76	2.84
25	23	高齢者・障害者が安心できるまちづくり	2.77	2.70	2.80
26	11	防災対策の充実	2.77	2.73	2.74
27	20	安心できる周産期医療体制	2.72	2.65	2.77
28	13	自主防災対策の充実	2.71	2.68	2.71
29	15	地域に活気・魅力があること	2.70	2.65	2.75
30	29	失業の不安がない社会づくり	2.68	2.61	2.75
31	32	多様な就業環境の整備	2.59	2.55	2.56
32	18	市町村行政に対する住民意向の反映	2.57	2.52	2.51

(注) 網掛け・白抜きは、奈良での就労別での満足度が「県全体」よりも低いことを意味する。ただし、「県全体」と、奈良での就労別との比較の際に小数第3位以下も考慮しているため、点数が同じ場合に網掛けしていることがある。

『県全体』の満足度の上位・下位 10 項目について奈良での就労別でみると、『奈良県内で働いている人』では『県全体』を下回る項目が 18 項目と多く、一方で『奈良県外で働いている人』では『県全体』を下回る項目が 8 項目と少なくなっています。

④奈良での就労別の満足度上位5項目の傾向

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
県全体	文化遺産や史跡の保存	ゴミのリサイクルの促進	地域の景観・町並の美しさ	犯罪にあう不安のない暮らし	食品・薬品等の安全性の確保
	3.53	3.20	3.17	3.13	3.11
奈良県内で働いている人	文化遺産や史跡の保存	食品・薬品等の安全性の確保	ゴミのリサイクルの促進	地域の景観・町並の美しさ	品揃えの豊富な店
	3.48	3.11	3.10	3.09	3.09
奈良県外で働いている人	文化遺産や史跡の保存	地域の景観・町並の美しさ	公共交通の利便性	犯罪にあう不安のない暮らし	ゴミのリサイクルの促進
	3.55	3.30	3.23	3.22	3.16

(注) 網掛けは、奈良での就労別にはあるが「県全体」の上位5項目にはない項目。点数表記は小数第2位までだが、順位の決定に小数第3位以下も考慮している。

奈良での就労別の満足度上位5項目で、個別の奈良での就労にあるが『県全体』にはない項目は、「品揃えの豊富な店」、「公共交通の利便性」となっています。

⑤奈良での就労別の満足度下位5項目の傾向

	第32位	第31位	第30位	第29位	第28位
県全体	市町村行政に対する住民意向の反映	多様な就業環境の整備	失業の不安がない社会づくり	地域に活気・魅力があること	自主防災対策の充実
	2.57	2.59	2.68	2.70	2.71
奈良県内で働いている人	市町村行政に対する住民意向の反映	多様な就業環境の整備	失業の不安がない社会づくり	安心できる周産期医療体制	地域に活気・魅力があること
	2.52	2.55	2.61	2.65	2.65
奈良県外で働いている人	市町村行政に対する住民意向の反映	多様な就業環境の整備	自主防災対策の充実	防災対策の充実	地域に活気・魅力があること
	2.51	2.56	2.71	2.74	2.75

(注) 網掛けは、奈良での就労別にはあるが「県全体」の下位5項目にはない項目。点数表記は小数第2位までだが、順位の決定に小数第3位以下も考慮している。

奈良での就労別の満足度下位5項目で、個別の奈良での就労にあるが『県全体』にはない項目は、「安心できる周産期医療体制」、「防災対策の充実」となっています。